

ごん が い せき ぐん  
恒 川 遺 跡 群

あらやしき やくしがいと あみだがいとちせき  
(新屋敷・薬師垣外・阿弥陀垣外地籍)

— 遺構編 —

2003年3月

長野県飯田市教育委員

ごん が い せき ぐん  
恒 川 遺 跡 群

(あらやしき やくしがいと あみだがいとちせき  
新屋敷・薬師垣外・阿弥陀垣外地籍)

— 遺構編 —

2003年3月

長野県飯田市教育委員会

## 序

飯田市は豊かな自然に恵まれ、古来より交通の要衝に位置してきました。そのため、当市内には建造物・美術工芸品といった文化財のほか、先人たちの足跡を生きしく伝える埋蔵文化財など、貴重なものがたくさん伝えられています。これら文化財は、先人の知恵や思いを知ることのできる大切な宝であり、すべての人々の共有財産です。私たちは、これらをできる限り、現状の姿で後世に伝えられるよう努めていかなければなりません。

恒川遺跡群は、一般国道153号座光寺バイパス工事に先立つ発掘調査において、他の集落址では類を見ないほど大掛かりな掘立柱建物址が多数確認されるとともに、多数の硯片や和同開珎銀錢・富寿神宝など特殊な遺物が出土し、古代伊那郡衙の所在地として飯田市を代表する遺跡の一つとなっています。恒川遺跡群は遺構の残りが良く、郡衙研究の上で全国的にも貴重な遺跡といわれています。これを受けて、郡衙の実態解明のための重要遺跡範囲確認調査を昭和57年度以降、国・県の補助事業として実施するとともに、バイパス開通以後、沿線の開発が進むなかで、地権者や地元の皆様の多大なるご協力を得まして、隨時発掘調査を実施してまいりました。現在、長年にわたって蓄積されてきた調査の成果をあらためて検討する時期にきております。

一方、農業後継者不足や住宅事情の変化から農業用地の宅地化が進んでおり、市内各遺跡を取り巻く環境の変化は深刻です。恒川遺跡群においても例外ではありません。国道バイパス沿線には店舗が進出し、国道から外れた農地では宅地化が進むなど遺跡の景観は大きく変わろうしております。しかし、誰もが安全でより便利な暮らしを求める権利を有しており、開発に際して私たちはその対応にいつも苦慮いたしております。

幸い今日、地域による社会教育事業の取り組みの中で発掘調査により得られた資料が一般に公開される機会も増え、埋蔵文化財に対する関心や理解が深まってきております。そこで、私たちは恒川遺跡群を広く市民学習の教材として利用していただくために、早急に政庁の位置を確認して古代伊那郡衙の様相を明らかにするとともに、その保護策について地域と一体となった取り組みを進めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、文化財保護に深いご理解をいただき、ご協力いただきました地権者をはじめとする関係者の皆様に深く感謝し、刊行の辞とさせていただきます。

平成15年3月

長野県飯田市教育委員会

教育長　富田泰啓

## 例　　言

1. 本書は、国・県の補助を受け、恒川遺跡群内において昭和57年度から平成13年度まで実施した古代伊那郡衙址の内容解明とその保護を進めるための範囲確認調査及び個人住宅建設等のための発掘調査・試掘調査の報告書である。
2. 調査は、飯田市教育委員会の直営事業として、地権者をはじめ地元座光寺地区ほか多くの方々の協力を得て実施した。
3. 本書は、昭和57年度から平成13年度までの調査のうち、新屋敷・薬師垣外・阿弥陀垣外地籍の遺構についての報告書である。
4. 調査実施にあたっての調査区グリットは、昭和57年度から平成4年度までは調査ごとに任意に設定したグリットを用いているが、平成5年度以降は飯田市埋蔵文化財基準メッシュ図に基づいて行っている。そのため、グリット設定が異なる調査区間での図面の付け合せは、方位及び重複する遺構を基に基準メッシュ図に置き換えている。遺構の記述における検出位置は基準メッシュ図によるグリットである。

なお、基準メッシュ図に基づく基準点測量は株式会社ジャステックに委託した。
5. 発掘作業及び整理作業にあたり、作業の簡略化を図るために略号を用いている。恒川遺跡群の場合、遺跡が広範囲にわたるため、地籍ごとの略号に地番を付し、遺構の番号は各地籍ごとに連番を付している。本書においては、新屋敷地籍はA R Y、薬師垣外地籍はY K S、阿弥陀垣外地籍はAMDとなる。
6. 本書では、遺構には以下の略号(堅穴住居址—S B、掘立柱建物址—S T、溝址—S D、土坑—S K、集石—S I、柵列—S A)を使用している。
7. 本書の記述は地籍ごとに行い、遺構図版及び写真図版は巻末に一括した。また、地籍ごとの全体図は附図としている。
8. 本書の内容は、報告書として報告されていないものについては、全体図及び各遺構の記述・実測図・写真を載せ、報告書刊行済のものについては、全体図及び各遺構の記述のみである。

なお、阿弥陀垣外地籍については、遺構検出のみであることから、全体図に一括して載せてある。
9. 土層の色調については、『新版標準土色帖』1998年度版の表示に基づいて示した。
10. 本書の遺構図の中に記した数字は、遺構については検出面から、住居址内については床面からの深さ(単位cm)を示す。遺構図のアミ掛けは焼土の範囲を示す。
11. 本書に関わる図面の整理は、調査員・整理作業員の協力により、伊藤尚志・瀧谷恵美子が行った。
12. 本書の執筆は、佐々木嘉和・伊藤・瀧谷が行い、伊藤・瀧谷が編集した。全体の総括を小林正春が行った。
13. 本書に関連した出土遺物及び図面写真類は飯田市教育委員会が管理し、飯田市考古資料館に保管している。

# 目 次

序	⑧ 方形周溝墓 (SM) .....	38
例 言	⑨ 溝址 (SD)・溝状址 .....	39
目 次	2) 薬師垣外地籍 (YKS) .....	43
<b>第 I 章 経 過</b>	① 積穴住居址 (SB) .....	43
第 1 節 調査に至るまでの経過 .....	② 掘立柱建物址 (ST) .....	52
第 2 節 調査の経過 .....	③ 棚列 (SA) .....	52
第 3 節 調査組織 .....	④ 土坑 (SK) .....	53
<b>第 II 章 遺跡の環境</b>	⑤ 集石 (SI)・集石土坑 .....	54
第 1 節 自然環境 .....	⑥ 小積穴 .....	54
第 2 節 歴史環境 .....	⑦ 方形周溝墓 (SM) .....	55
<b>第 III 章 調査結果</b>	⑧ 溝址 (SD) .....	55
第 1 節 基本層序 .....	⑨ 不明 (SX) .....	56
第 2 節 遺 構 .....	3) 阿弥陀垣外地籍 (AMD) .....	57
1) 新屋敷地籍 (ARY) .....	① 積穴住居址 (SB) .....	57
① 積穴住居址 (SB) .....	② 掘立柱建物址 (ST) .....	63
② 掘立柱建物址 (ST) .....	③ 火葬墓 .....	63
③ 棚列 (SA)・柱列址 .....	④ 集石 (SI) .....	63
④ 土坑 (SK) .....	⑤ 小積穴 .....	63
⑤ 火葬墓 .....	⑥ 方形周溝墓 (SM) .....	63
⑥ 集石 (SI) .....	⑦ 溝址 (SD) .....	64
⑦ 小積穴 .....	抄 錄 .....	163

## 附 図

附図 1 新屋敷・阿弥陀垣外地籍調査位置全体図

附図 2 薬師垣外地籍調査位置全体図

## 挿図目次

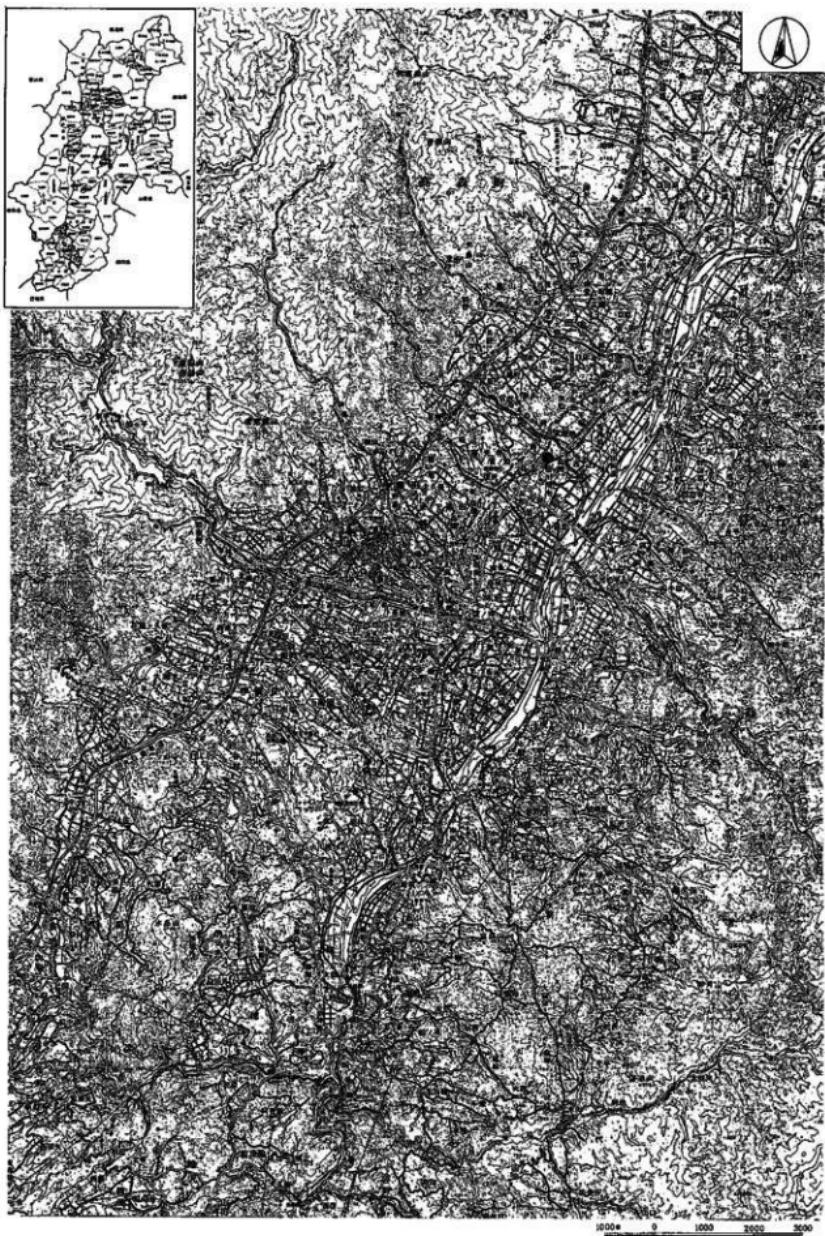
挿図 1 恒川遺跡群位置図	挿図 4 恒川遺跡群基本層序 .....	10
挿図 2 恒川遺跡群地籍図 .....	新屋敷地籍 (ARY)	
挿図 3 ARY・YKS・	第 1 図 SB61~64・168 .....	66
AMD調査位置図 .....	第 2 図 SB169・170 .....	67
4		

第3図	S B171・172・180・ S T23・62・65 .....	68	第25図	S T16～18 .....	91
第4図	S T66・S A01・S K24～28 .....	69	第26図	S T19～21 .....	92
第5図	S K29・ 小豎穴14～16・S T11～13 .....	70	第27図	S T22・23 .....	93
第6図	S D09・27～30・42 .....	71	第28図	S K01～04・06・07 .....	94
第7図	S D08・09・34・57・58 .....	72	第29図	S K08～10・14～18 .....	95
第8図	S D03・31～33・48～52 .....	73	第30図	S K19・20・23～32 .....	96
第9図	S D37 .....	74	第31図	S K33～38・41・42 .....	97
墓師塙外地籍（YKS）					
第10図	S B01～03 .....	76	第32図	S K39・40・43 .....	98
第11図	S B04～07 .....	77	第33図	S K44・45・47 .....	99
第12図	S B08～10・12 .....	78	第34図	S I01・04～10 .....	100
第13図	S B15～17 .....	79	第35図	S D01～05・07 .....	101
第14図	S B21～25 .....	80	第36図	S D10 .....	102
第15図	S B26～28・31～33 .....	81	第37図	S D10遺物分布図 .....	103
第16図	S B34～38・45・46 .....	82	第38図	S D11～13 .....	104
第17図	S B47～52 .....	83	第39図	S D15・16・22・30 .....	105
第18図	S B53・56～60 .....	84	第40図	S D15遺物（瓦）分布図 .....	106
第19図	S B62・64・65・68 .....	85	第41図	S D17・20・21・24・32 .....	107
第20図	S T01・24 .....	86	第42図	S D34 .....	108
第21図	S T02・03 .....	87	第43図	S D35・36・40～42 .....	109
第22図	S T04～06 .....	88	第44図	S M05・06・08 .....	110
第23図	S T07～09 .....	89	第45図	S M07 .....	111
第24図	S T10～13 .....	90	第46図	S A01・S X01・集石土坑。 小豎穴1・2・S B30・S T14 .....	112
			第47図	炭化米分布図・石配置図 .....	113

## 写真図版目次

図版1	恒川遺跡群 .....	117	図版9	YKS4687・YKS4733 .....	125
図版2	A R Y4762・A R Y4946 .....	118	図版10	YKS4746-1・YKS4745-4 .....	126
図版3	S B61・62・64・168 .....	119	図版11	YKS4693-1・YKS4755 .....	127
図版4	S B169・同カマド・170 .....	120	図版12	S B01・02・同炉 .....	128
図版5	S B171・172・180 .....	121	図版13	S B04・05・08 .....	129
図版6	S T23・62・65 .....	122	図版14	S B08・同カマド・09 .....	130
図版7	S K28・29・ 小豎穴14・16・S I11・13 .....	123	図版15	S B10・12・同カマド .....	131
図版8	S D09 .....	124	図版16	S B15・同カマド・16 .....	132
			図版17	S B17カマド・21・22 .....	133

図版18	S B23~25	.....	134	図版34	S B64・S T18~20・ 22・23・S K44	.....	150
図版19	S B33・35・36	.....	135	図版35	S K01~04・07・09・14	.....	151
図版20	S B37・同カマド・45	.....	136	図版36	S K15・16・23・33~37	.....	152
図版21	S B46・47	.....	137	図版37	S K38~42・44・45	.....	153
図版22	S B49・同カマド・51	.....	138	図版38	S I 01・04~10	.....	154
図版23	S B52・53・56	.....	139	図版39	F トレンチ (S D03・07)・F トレンチ (S B04・05)・K トレンチ (SD01~04)・ A トレンチ (S B02・S D05・07・S I 01)	.....	155
図版24	S B57・62・68	.....	140	図版40	S D10・15	.....	156
図版25	S T01・02・24	.....	141	図版41	S D15・同瓦出土状況	.....	157
図版26	S T03	.....	142	図版42	S D16・17・20	.....	158
図版27	S T05	.....	143	図版43	S D21・24・32	.....	159
図版28	S T05・06	.....	144	図版44	S D33・34・40	.....	160
図版29	S T07	.....	145	図版45	S M05・07・同埋葬施設	.....	161
図版30	S T07~09	.....	146				
図版31	S T10・11礫石	.....	147				
図版32	S T11・12	.....	148				
図版33	S T13・16・17	.....	149				



挿図1 恒川遺跡群位置図

# 第Ⅰ章 経過

## 第1節 調査に至るまでの経過

恒川遺跡群では、昭和52から57年度にかけて実施された一般国道153号座光寺バイパス建設に先立つ緊急発掘調査により、古代伊那郡衙址と位置づけられて以来、昭和57年度から文化庁・長野県の補助を受け、伊那郡衙としての実態把握のため、範囲確認調査を継続的に実施している。特に、平成6・7年度に薬師垣外地籍（YKS 4754・4755）において正倉の一部とみられる建物址群が確認されたことで、郡衙としての様相が明らかになりつつある。また、平成4・11年度の2回にわたって実施された「恒川遺跡群検討会」において、現在位置を特定できていない政府については正倉等との位置関係から新屋敷地籍内北側の一画が想定され、また同地籍の平成3年度緊急調査地点（ARY 4820）は、造構の状況から「館」にあたるとの推定がなされている。しかし、それ以外の場所についても、まだなお検討の余地があり、これまでの調査の報告書の作成と再検討が求められているところである。

現在のところ、郡衙としての実態解明のための調査方針は以下のとおりである。

- ① 政府の位置特定
- ② 正倉域の範囲特定
- ③ 郡衙を区画するとみられる溝の追跡
- ④ これまでの調査成果の報告書作成により、遺跡内各所の様相を把握し、郡衙中枢部及び関連施設の所在を求める。

## 第2節 調査の経過（挿図2・3）

恒川遺跡群における新屋敷地籍（ARY）。薬師垣外地籍（YKS）・阿弥陀垣外地籍（AMD）の位置と調査経過は以下のとおりである。なお、位置図Noは挿図3に対応している。

位置図No	調査年度	調査地点	調査原因
⑧	昭和52～57年度	ARY	緊急調査（一部報告済）
①	昭和57年度	ARY 4767-8	範囲確認調査
③	昭和57年度	ARY 4824-2	範囲確認調査
⑨	昭和57年度	ARY 4833	範囲確認調査
⑩	昭和57年度	ARY 4838-1	範囲確認調査
⑭	昭和63年度	ARY 4742	緊急調査（報告済）
⑫	平成元年度	ARY 4737	緊急調査（報告済）
⑦	平成3年度	ARY 4820	緊急調査（報告済）
⑪	平成6年度	ARY 4942	緊急調査

⑯	平成 6 年度	A R Y 4946	緊急調査
⑯・⑰	平成 8 年度	A R Y 4741・4742	緊急調査（報告済）
⑳	平成 9 年度	A R Y 4824-2	緊急調査
㉑	平成10年度	A R Y 4764-7	緊急試掘調査
㉒	平成10年度	A R Y 4767-7	緊急試掘調査
㉓	平成10年度	A R Y 4764-1	緊急試掘調査
㉔	平成11年度	A R Y 4762	範囲確認調査
㉕	昭和58年度	Y K S 4674-1	範囲確認調査
㉖	昭和58年度	Y K S 4699-3	範囲確認調査
㉗	昭和60年度	Y K S 4753-1	範囲確認調査
㉘	昭和62年度	Y K S 4687	範囲確認調査
㉙	平成 5 年度	Y K S 4746-1	緊急調査
㉚	平成 6 年度	Y K S 4684-1	範囲確認調査
㉛	平成 6 年度	Y K S 4754	範囲確認調査
㉜	平成 7 年度	Y K S 3450-1	範囲確認調査
㉝	平成 7 年度	Y K S 4755	範囲確認調査
㉞	平成 8 年度	Y K S 3454-5	範囲確認調査
㉟	平成 8 年度	Y K S 4758	範囲確認調査
㉟	平成 9 年度	Y K S 4733	範囲確認調査
㉟	平成10年度	Y K S 4753-1	範囲確認調査
㉟	平成11年度	Y K S 4700-1	範囲確認調査
㉟	平成11年度	Y K S 4694	範囲確認調査
㉟	平成12年度	Y K S 4755	範囲確認調査
㉟	平成13年度	Y K S 4693-1	範囲確認調査
㉟	平成13年度	Y K S 4745-4	試掘確認調査
㉟	昭和52～57年度	AMD	緊急調査（一部報告済）
㉟	昭和60年度	AMD4742-5	範囲確認調査
㉟	平成 8 年度	AMD4700-3	緊急調査

また、恒川遺跡群についての概要報告書・報告書は以下のとおりである。

「恒川遺跡群 昭和57年度範囲確認調査概報」(1983)

「恒川遺跡群 昭和58年度範囲確認調査概報」(1984)

「恒川遺跡群 昭和59年度範囲確認調査概報」(1985)

「恒川遺跡群——一般国道153号座光寺バイパス用地内埋蔵文化財発掘調査報告——」(1986)

「恒川遺跡群 昭和60年度範囲確認調査概報」(1986)

「恒川遺跡群 昭和61年度範囲確認調査概報」(1987)

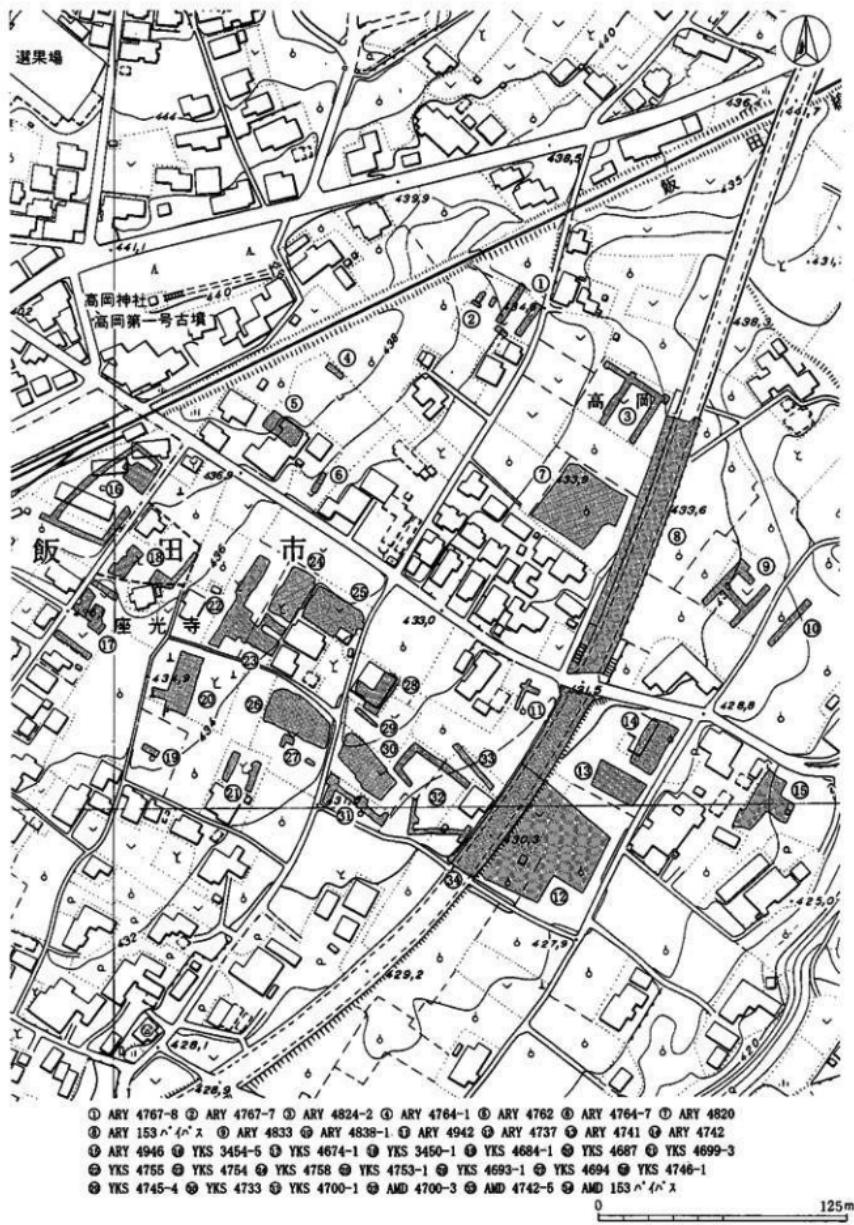
「恒川遺跡群 昭和62年度範囲確認調査概報」(1988)

「恒川遺跡群 《田中・倉垣外地籍》」(1988)

「恒川遺跡群 昭和63年度範囲確認調査概報」(1989)



挿図2 恒川遺跡群地籍図



挿図3 ARY・YKS・AMD調査位置図

「恒川遺跡群 平成元年度範囲確認調査概報」(1990)  
「恒川遺跡群 平成元年度緊急調査概報」(1990)  
「恒川遺跡群 新屋敷遺跡」(1991)  
「恒川遺跡群 田中・倉垣外地籍」(1991)  
「恒川遺跡群 平成2年度範囲確認調査概報」(1991)  
「恒川遺跡群 新屋敷遺跡」(1993)  
「恒川遺跡群 恒川A地籍」(1993)  
「富の平遺跡・富士塚遺跡・恒川遺跡群(薬師垣外遺跡)・恒川遺跡群(恒川B地籍)ほか 平成5年度市内緊急発掘調査および試掘調査」(1994)  
「恒川遺跡群 平成6年度範囲確認調査概報」(1995)  
「中村中平遺跡・恒川遺跡群(新屋敷遺跡)・円通寺南遺跡 平成6年度市内緊急発掘調査概要報告書」  
(1995)  
「恒川遺跡群 平成7年度範囲確認調査概報」(1996)  
「恒川遺跡群 平成8年度範囲確認調査概報」(1997)  
「恒川遺跡群 新屋敷遺跡」(1998)  
「恒川遺跡群 平成9年度範囲確認調査概報」(1998)  
「溝口の塚古墳・恒川遺跡群倉垣外遺跡・市内遺跡 平成9年度市内遺跡緊急調査概報」(1998)  
「恒川遺跡群薬師垣外遺跡・宮垣外遺跡他市内遺跡 平成10年度範囲確認調査概報」(1999)  
「恒川遺跡群他市内遺跡 平成11年度市内遺跡緊急調査概要報告書」(2000)  
「恒川遺跡群他市内遺跡 平成12年度範囲確認調査概報」(2001)  
「恒川遺跡群他市内遺跡 平成13年度範囲確認調査概報」(2002)

### 第3節 調査組織

#### 主管課

飯田市教育委員会社会教育課文化係（昭和57年度～平成8年6月）

博物館課埋蔵文化財係（平成8年7月～平成12年度）

生涯学習課文化財保護係（平成13年度～）

平成14年度（報告書刊行時）

#### 調査主体者

教育長 富田 泰啓

総括 小林 正春

調査担当者 佐々木嘉和 馬場 保之 澤谷恵美子 吉川 金利 伊藤 尚志

坂井 勇雄 羽生 俊郎

作業員 新井ゆり子 池田 幸子 伊東 裕子 金井 照子 木下 早苗

木下 玲子	小池千津子	小平まなみ	小林 千枝	齊藤 徳子
佐々木真奈美	佐藤知代子	関島真由美	高木 純子	竹本 常子
橋 千賀子	田中 薫	筒井千恵子	中田 恵	中平けい子
中村地香子	林 勢紀子	林 ひとみ	橋本 宣子	平栗 陽子
福沢 育子	牧内喜久子	松下 博子	松本 恵子	宮内真理子
森藤美知子	森山 律子	吉川 悅子	吉川紀美子	

指導

文化庁

独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所

長野県教育委員会文化財・生涯学習課

事務局

飯田市教育委員会

教育次長 久保田裕久

生涯学習課長 中島 修

“ 文化財保護係長 小林 正春

“ 文化財保護係 馬場 保之 滝谷恵美子 吉川 金利 伊藤 尚志

坂井 勇雄 羽生 俊郎

学校教育課長 伊藤 昌治

“ 総務係長 高田 清

総務係 宮田 和久

## 第Ⅱ章 遺跡の環境

### 第1節 自然環境

長野県飯田市は、県南部を南北に並走する伊那山脈と木曽山脈とに挟まれた伊那谷の南端に位置し、天竜川はその中央部を南流する。

伊那谷の地形は、山脈の形成に関わる断層地塊運動に伴う盆地と大きな段丘崖とによって構成された複雑な段丘地形であり、さらに天竜川の浸食によって形成された河岸段丘とによって特徴づけられている。この段丘は、『下伊那の地質解説』によると火山灰土の堆積を基準として高位面・高位段丘・中位段丘・低位段丘Ⅰ・低位段丘Ⅱの5段階に編年されている。

恒川遺跡群がある飯田市座光寺地区は天竜川右岸にあり、市街地の北東4km、飯田市の北端部に位置している。南は飯田市上郷地区となり、北は下伊那郡高森町、東は天竜川を挟んで同郡喬木村と境を接する。山間部を除いた地形は、南北にのびる断層によって形成される段丘崖を境として、俗に上段と呼ばれる洪積層の標高470m～600m前後の中位段丘及び低位段丘Ⅰと下段と呼ばれる沖積層の低位段丘Ⅱとに大別される。

上段は、木曽山脈の山裾部から大規模な扇状地が発達し、扇端から段丘縁辺にかけては小河川の開析。湧水等微地形の変化が著しい。特に地区を区画する北側の南大島川、南側の土曾川・柄ヶ洞川により扇状地が形成されるとともに、開析谷の浸食は著しい。この一帯は主要な果樹園地帯となっているが、中央自動車道・県道バイパスが南北に走り、宅地化も進んでいる。

下段は、数段の小段丘からなり、南側は比較的段丘面がよく残る。これに対して北側は、南大島川の押し出しにより段丘崖が不明瞭になっている。段丘崖直下に連続して存在する湧水が、湿地帯を形成しており、この一帯が恒川遺跡群で確認される集落の主たる生産域となっていたとみられる。また、低位段丘Ⅱの先端は、南大島川と土曾川の押し出しによる台地であり、天竜川の氾濫原に面する自然堤防状になっており、古代においてはこの氾濫原を生産域とする集落が形成されたと推測できる。低位段丘Ⅱは、天竜川の氾濫原に面した410m前後の南条面と、南北に長く地区内の北側では南大島川の上流へと遡る別府面、そしてその上の標高430～440mの飯沼面とに分けられる。この一帯は古くからこの地区的中心地となっており、近年の座光寺バイパス開通により、沿線に大型店舗が進出している。

恒川遺跡群は座光寺地区下段の低位段丘面Ⅱ飯沼面と別府面に立地する。遺跡群の範囲は座光寺地区下段のほぼ全域を占め、微地形では変化に富むものの全体的には標高430m前後で北西から南東にむかって緩やかに傾斜する比較的平坦な地形をなしている。遺跡群の中央付近には恒川清水といわれる湧水池もあり、利水的に良好な場所といえる。

## 第2節 歴史環境

座光寺地区は、埋蔵文化財包蔵地が濃密に分布している。前述の自然環境で概観した地形的特徴が当地区的遺跡立地に大きく関わっており、上段と下段で遺跡の分布や性格が異なる。また、発掘調査された遺跡が多く、全時代にわたって具体的な様相を描くことができる。上段には縄文時代から弥生時代にかけての遺跡が多く、特に山麓部には縄文時代の遺跡が集中し、鳥居龍藏の調査で知られた大門原遺跡等、また、扇端から上段の段丘端部にかけては弥生時代後期の標式遺跡である座光寺原・中島遺跡がある。下段には縄文時代から近世にかけての遺跡が複合しており、時代ごとに立地が若干異なる。

旧石器時代の遺跡は上段においては確認されていないが、下段では終末から縄文時代草創期にかけての遺跡として、新井原・石行遺跡で有舌尖頭器が出土している。

縄文時代には、上段では早期の遺跡として、押型文土器が出土した宮崎A遺跡・米の原遺跡・大門原遺跡がある。中期になると多くの遺跡が知られているが、発掘調査例は多くはない。中期初頭の竪穴住居址と良好な土器群が出土した大久保遺跡や扇状地扇央部分に立地し、中期中葉から後葉の大集落とみられる大門原遺跡のほか、中期後葉では、宮崎B遺跡・座光寺原遺跡・宮崎南原遺跡がある。後・晚期は断片的な資料だが、後期前葉の注口土器等が出土した大笹遺跡がある。また、南大島川沿いにある大井遺跡では詳細時期不明であるが3基の集石が調査されており、川に面した臨時的な調理場と考えられている。また、南大島川の浸食により形成された谷に面した段丘上にもいくつかの遺跡が存在する。中期以外は明確ではないが、美女遺跡では断片的ではあるが草創期の造構。遺物が確認されているほか、早期後葉から中期初頭まで断続的に集落が営まれており、早期後葉～前期初頭の良好な土器資料が得られている。特に早期では立野式期の集落が調査されており、立野式土器の成立過程の解明と当地方における縄文社会確立期の姿を明らかにする上で重要な遺跡であるといえる。これ以外では、半の木遺跡で早期の断片的な資料が得られている。晚期終末には、美女遺跡では貯蔵穴群が、半の木遺跡では川に面した低地に水場造構の存在が推定される。一方、下段では、恒川遺跡群で早期・前期の断片的な資料がある。中期では新井原・石行遺跡で中期後葉の大規模集落の一部が調査され、低位段丘における概期の大規模集落の存在が注目される。後期から晚期前半にかけての様相は明らかでない。晚期終末では、新井原・石行遺跡で竪穴住居址と土器群が確認されている。

弥生時代では、上段においてはこれまでに中期の遺跡はほとんど知られていない。後期になると遺跡数が急増し、高燥な台地上へ集落展開する。人口増と生産手段の発達、畑作と稻作による複合農業を生産基盤としたことが背景として考えられる。後期前半では概期の標式遺跡である座光寺原遺跡や大門原B遺跡、後半になると中島遺跡・宮崎A遺跡等の調査例がある。中島遺跡は近年の調査で大規模な集落であることが改めて確認された。下段では、中期前半は断片的な資料があるものの、これまでに造構は認められていない。後半では、恒川遺跡群で40軒以上の竪穴住居址が確認されている。後期前半は造構の分布が稀薄であり、居住空間が限定されていた可能性が指摘されている。後半になると恒川遺跡群のほぼ中心部に位置する田中・倉垣外地籍で密な分布がみられる。

当地区的古墳の数は、竜丘・松尾地区に次いで多い。古墳時代では、上段においては断片的な資料が得られているのみであり、古墳の数も下段に比べると少ない。しかし、段丘端部には前方後円墳の北本城古墳や未調査ではあるが浅間塚古墳がある。前者は当地方における初期横穴式石室を有し、後者は時

期的に古い可能性がある。また、北本城古墳と同種の石室を有し、銀製垂飾付耳飾を出土した畦地1号古墳など円墳群が北側に集中する。下段では、前期には恒川遺跡群において前時代から続く集落展開がみられる。また、半の木遺跡で前期の住居址が確認されている。恒川遺跡群では中・後期になると分布域も拡大するが、後期末には新屋敷・恒川B地籍など北側に分布が偏ることから、この時期の集落のあり方は必ずしも一様ではなく、終末期に至って何らかの政治的な規制が加わった可能性が指摘されている。下段においても北側に集中し、集落・生産域と隔離された立地となる。前期古墳は未確認であるが、中期になると新井原・高岡古墳群において調査例がある。帆立貝形古墳の新井原12号古墳に近接する4号土壙から馬具を装着した馬齒骨が出土し、また新井原2号古墳でも3基の馬の墓が確認されるなど、馬とのかかわりが強い集団の存在が明らかになってきている。後期になると当地方でも有数の前方後円墳である高岡1号古墳がある。北本城古墳や畦地1号古墳と同様の横穴式石室を有する。円墳では丈蔵3号古墳・ナギジリ1号古墳等が調査されているほか、石塚1・2号古墳など、段丘崖下の傾斜地や土曾川・南大島川の支流の中流域、河川に面した傾斜地に小規模単位の円墳群がみられる。

奈良・平安時代は、上段では断片的な資料が得られているのみであり、現状では古墳時代以降は散在的に小規模な集落があったとみられる。下段では、恒川遺跡群・新井原遺跡で集落が確認されている。

恒川遺跡群はかねてより、「伊那郡衙」ないし『三代実録』にみられる定額の寂光寺の有力な比定地とされてきた。昭和51年度から実施された座光寺バイパス建設に先立つ発掘調査で、「伊那郡衙」として認識された。これまでに、政府城等は特定できていないが、平成6年度には薬師垣外地籍で正倉群とみられる大型の掘立柱建物址が確認された。平成7・8年度には同地籍で区画溝から軒丸瓦を含む布目瓦が出土しているほか、周辺には古瓦の出土が確認されている。また、金井原瓦窯址では、半地下無段式窯窓1基と工房址2軒が調査され、西三河北野系とみられる瓦が出土している。近年、再確認された「富本錢」もこの下段北部からの出土とみられる。さらに、恒川遺跡群では、平安時代前期には前時代の名残りとして官衙的な遺構・遺物があるが、中期以降一般集落に変貌していく。こうした中で小鍛冶遺構を伴う住居址が多いことから、前代の郡衙との関わりが指摘されている。新井原・石行遺跡では灰釉陶器藏骨器を伴う火葬墓群が調査されており、官人層の墓所とも考えられている。この遺跡では、平安時代の遺構から押出仏が出土しており、高岡古墳群・古代伊那郡衙・寂光寺等との関連で注目されている。

中世になると上段では、段丘突端に北本城城跡・南本城城跡・浅間岩が築かれ、小河川に開拓された複雑な地形を生かした立地となっている。北本城城跡は調査により、4つの曲輪を主体とした居城的な城郭であることが確認された。16世紀中頃松岡氏の支城であったとの伝承がある以外は記録等がなく、その築城・魔城の時期や治めていた氏族等も不明である。現在のところ、座光寺の地名に共通する座光寺氏の居城であるという説が有力である。南本城城跡は、現在でも良好に当時の姿をとどめている城跡であり、防衛施設の整った防御専門の城郭で、その性格からも北本城城跡との関連が考慮されている。下段では新井原・石行遺跡で土葬墓・火葬墓が多くあり、古墳時代以降連続してこのあたりが墓域であった様子がうかがえると同時に、六道思想定着以前の墓制として、経石を副葬する集石墓があったと考えられている。近世では、大門原Dで火葬墓・土葬墓5基が調査されている。

このように、恒川遺跡群は奈良時代の古代伊那郡衙としての役割を担う以前から、連綿とした人々の生活痕跡を残す遺跡として、重要な遺跡の一つとして認識されている。

## 第Ⅲ章 調査結果

### 第1節 基本層序

恒川遺跡群は地形的には北から南にかけて低く緩やかに傾斜するが、基本的な土層堆積状況は新屋敷・薬師垣外・阿弥陀垣外地籍ではほぼ共通する。そのため、基本層序はYKS3454-5の南西壁のものを代表させて載せた。

全域ではほぼ確認できるのが、第2層で正徳5年(1715)の未満水起源と推測される黄色砂の洪水堆積層である。遺構検出面は黄色砂質土の地山面である。

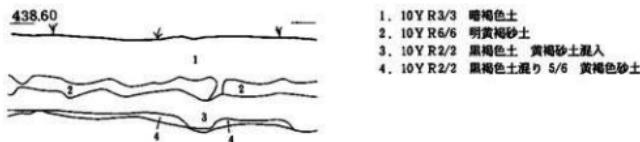


図4 基本層序

### 第2節 遺構

遺構の記載については、地籍ごとに、竪穴住居址(SB)、掘立柱建物址(ST)、櫛列(SA)・柱列址、土坑(SK)、集石(SI)、火葬墓、小竪穴、方形周溝墓(SM)、溝址( SD)・溝状址の順にそれぞれ観察表を載せた。

#### 1) 新屋敷地籍(ARY)(附図1、第1~9図、図版2~8)

##### ① 竪穴住居址(SB)(第1~3図、図版3~5)

SB01

検出位置	覆土	床面
切る		床面
合		主柱穴
切られる		貯藏穴
プラン	住居	入口
規模m	内	
主軸	施設	炉 形状
壁高cm	内	
形状	施設	炉 形状
状態	窓	備考
特記事項		
欠番		
時代・時期	調査位置	

SB02

検出位置	AR15	覆土	床面	堅固	一部貼り床
切る	SB04		床面	主柱穴	1基:P1
合	ST07			貯藏穴	
切られる				入口	
プラン	不明				
規模m	(7.1) × -				
主軸	N36°W				
形狀	13				
壁高cm					
状態	ほぼ垂直				
特記事項					
	土師器杯・甕・小型壺・土製円盤・臼玉				
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス		

## S B03

検出位置	AO15	覆 土	
切 る	SB54	床 面	軟弱
切られる	SB07, ST05	主柱穴	4基:P1~P4
規 模	プラン 隔丸方形	住居内施設	貯藏穴 北隅の穴
規 模 m	5.0×4.5	入 口	
形 状	主 軸 N48° W	炉	形状 石芯粘土竈
壁高cm	45	炉	規 模 110×100cm
状 態	ほぼ垂直	竈	備考
特記事項			
土師器杯・甕・須恵器蓋・甕・短頸壺・臼玉・土玉・土製軽轆車			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B05

検出位置	AQ13	覆 土	
切 る		床 面	
切られる	ST05, 06	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	- × -	入 口	
形 状	主 軸 不明	炉	形状
壁高cm	-	炉	規 模
状 態	不明	竈	備考
特記事項	床・壁不明。出土遺物より住居址を想定 甕・磨製石斧		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B07

検出位置	AD08	覆 土	
切 る	SB03	床 面	中央部は堅固
切られる		主柱穴	4基:P1~P4
規 模	プラン 隔丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	7.3×6.7	入 口	
形 状	主 軸 N45° W	炉	形状 粘土竈
壁高cm	39	炉	規 模 100×95cm
状 態	ほぼ垂直	竈	備考
特記事項	土師器杯・高杯・甕・壺・須恵器蓋杯・編物石・臼玉		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B09

検出位置	AH09	覆 土	
切 る	SB53	床 面	壁下を除き強固
切られる	SB06	主柱穴	3基:P1~P3
規 模	プラン 隔丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	5.4× -	入 口	
形 状	主 軸 N140° W	炉	形状 土器埋設炉
壁高cm	10	炉	規 模 50×50cm
状 態	やや緩やか	竈	備考 炉縁石3個
特記事項	焼失(焼却)家屋		
注口土器・甕・壺			
磨製石斧・打製石斧・端部曲面磨石・有肩扁状形石器			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B04

検出位置	AT18	覆 土	
切 る		床 面	堅固
切られる	SB02, ST07	主柱穴	4基:P1~P4
規 模	プラン 隔丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	4.0×4.0	入 口	
形 状	主 軸 N43° W	炉	形状 石芯粘土竈
壁高cm	62	炉	規 模 105×100cm
状 態	ほぼ垂直	竈	備考
特記事項			
土師器杯・甕・須恵器蓋・甕・短頸壺・臼玉・土玉・土製軽轆車			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B06

検出位置	AJ21	覆 土	
切 る	SB09, 51, 53, SD25	床 面	比較的堅固
切られる		主柱穴	3基:P1~P3
規 模	プラン 隔丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	4.4× -	入 口	
形 状	主 軸 N42° W	炉	形状 石芯粘土竈
壁高cm	60	炉	規 模 125×110cm
状 態	ほぼ垂直	竈	備考
特記事項			
土師器杯・甕・壺・須恵器蓋杯			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B08

検出位置	AN14	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	5.8× -	入 口	
形 状	主 軸 N44° E	炉	形状
壁高cm	27	炉	規 模
状 態	ほぼ垂直	竈	備考
特記事項			
土師器甕			
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

## S B10

検出位置	BA37	覆 土	
切 る		床 面	
切られる	SB19, SD03	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	- × -	入 口	
形 状	主 軸 不明	炉	形状
壁高cm	-	炉	規 模
状 態	不明	竈	備考
特記事項			
床面・壁不明。遺物より住居址を想定 壺			
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

## S B11

検出位置	BP33	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合	切られる ST10, 18	主柱穴 3基 : P1~P3	
規 模	プラン 囲丸長方形	住居内施設 貯藏穴	
・ 形 状	規模 m 4.7 × -	入 口	
・ 主 軸	N110° W	炉 形状 地床炉(2個か)	
壁 高 cm	20	炉 · 規模 46 × 46cm	
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	打製石斧・横刃型石包丁・石鎌・砥石		

時代・時期 弥生中期 調査位置 ARYバイパス

## S B13

検出位置	AL34	覆 土	
切 る		床 面	きわめて軟弱
合	切られる SD19	主柱穴 2基 : P1, P2	
規 模	プラン (隅丸方形)	住居内施設 貯藏穴	
・ 形 状	規模 m (9.6) × -	入 口	
・ 主 軸	N27° E	炉 形状	
壁 高 cm	34	炉 · 規模	
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺・須恵器高杯・小型壺		

時代・時期 古墳後期後半 調査位置 ARYバイパス

## S B15

検出位置	AW38	覆 土	
切 る		床 面	軟弱 部分的に堅固
合	切られる ST03, ST11	主柱穴 2基 : P1, P2	
規 模	プラン 囲丸方形	住居内施設 貯藏穴	
・ 形 状	規模 m 6.5 × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
壁 高 cm	10	炉 · 規模	
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	壺・壺 打製石斧・磨製石斧・横刃型石包丁・横刃型石器・磨製石鎌		

時代・時期 弥生中期 調査位置 ARYバイパス

## S B17

検出位置	AV37	覆 土	
切 る		床 面	軟弱な貼り床
合	切られる SB14, ST03, SD04	主柱穴 4基 : P1~P4	
規 模	プラン 囲丸方形	住居内施設 貯藏穴	
・ 形 状	規模 m (4.2) × -	入 口	
・ 主 軸	N58° W	炉 形状 石芯粘土竈	
壁 高 cm	23	炉 · 規模 100 × 80cm	
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺・鉄斧・鎌		

時代・時期 古墳後期前半 調査位置 ARYバイパス

## S B12

検出位置	AN31	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合	切られる ST10	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸長方形	住居内施設 貯藏穴	
・ 形 状	規模 m (4.2) × 3.1	入 口	
・ 主 軸	N55° E	炉 形状 石芯粘土竈	
壁 高 cm	20	炉 · 規模 90 × 80cm	
状 態	緩やか	窓	備考
特記事項	土師器高杯・壺・鉄片		

時代・時期 古墳後期 古墳後期後半 調査位置 ARYバイパス

## S B14

検出位置	AW36	覆 土	
切 る		床 面	きわめて堅固な貼り床
合	切られる SB17	主柱穴	
規 模	プラン (隅丸方形)	住居内施設 貯藏穴	
・ 形 状	規模 m (4.8) × -	入 口	
・ 主 軸	N54° W	炉 形状	
壁 高 cm	14	炉 · 規模	
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	焼失(焼却) 家屋		

土師器杯・高杯・壺・須恵器蓋杯

時代・時期 古墳後期後半 調査位置 ARYバイパス

## S B16

検出位置	AW39	覆 土	
切 る		床 面	非常に軟弱
合	切られる SB16	主柱穴	
規 模	プラン (隅丸方形)	住居内施設 貯藏穴	
・ 形 状	規模 m 5.6 × -	入 口	
・ 主 軸	N60° W	炉 形状	石芯粘土竈
壁 高 cm	40	炉 · 規模	85 × - cm
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	土師器杯・壺・壺		

時代・時期 古墳後期後半 調査位置 ARYバイパス

時代・時期 古墳後期前半 調査位置 ARYバイパス

## S B18

検出位置	BC41	覆 土	
切 る		床 面	全体に軟弱
合	切られる	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設 貯藏穴	
・ 形 状	規模 m (5.7) × -	入 口	
・ 主 軸	N43° W	炉 形状	石芯粘土竈
壁 高 cm	51	炉 · 規模	280 × 260cm
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺・小型壺・須恵器蓋杯・高杯		

石製鋸車・臼玉・勾玉・劍形・有孔円板・鉄片

時代・時期 古墳後期前半 調査位置 ARYバイパス

## S B19

検出位置	BC39	覆 土	
切 る	SB50	床 面	堅 固
合			
切られる	SD03	主柱穴	4 基 : P1~P4
規 模	(隅丸方形)	貯藏穴	
m	- × -	入 口	
・ 形 状	主 軸 N49° W	炉 形 状	石芯粘土竈
壁高cm	34	規 模	90×80cm
状 態	緩やか	備 考	
特記事項			
土師器杯・鉢・高杯・甕・土玉・白玉・磁石・鉄片			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B21

検出位置	BM21	覆 土	
切 る	SB26, ST14	床 面	堅 固
合			
切られる		主柱穴	1 基 : P1
規 模	(隅丸方形)	貯藏穴	
m	6.2 × -	入 口	
・ 形 状	主 軸 N60° E	炉 形 状	粘土竈
壁高cm	30	規 模	120×120cm
状 態	やや緩やか	備 考	
特記事項			
土師器鉢・甕・須恵器杯・高杯・白玉・編物石31個			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

## S B23

検出位置	BU29	覆 土	
切 る	小堅穴 4	床 面	堅 固 南側は軟弱
合			
切られる		主柱穴	
規 模	(隅丸方形)	貯藏穴	
m	7.7 × -	入 口	
・ 形 状	主 軸 N59° E	炉 形 状	地床炉
壁高cm	10	規 模	40×38cm
状 態	ほぼ垂直	備 考	
特記事項			
弥生土器片・打製石斧・磨製石斧・横刃型石器			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B25

検出位置	BN18	覆 土	
切 る		床 面	きわめて軟弱
合			
切られる		主柱穴	
規 模	(不整隅丸方形)	貯藏穴	
m	4.6×3.8	入 口	
・ 形 状	主 軸 N21° W	炉 形 状	石芯粘土竈
壁高cm	17	規 模	- × -
状 態	緩やか	備 考	
特記事項			
土師器杯・甕・壺・須恵器蓋・長頸瓶・壺			
時代・時期	古墳後期中頃	調査位置	ARYバイパス

## S B20

検出位置	AA31	覆 土	
切 る	ST16	床 面	堅 固
合	(SD05と重複)		
切られる		主柱穴	
規 模	(隅丸方形)	貯藏穴	北隅
m	8.3 × -	入 口	
・ 形 状	主 軸 N58° W	炉 形 状	石芯粘土竈
壁高cm	22	規 模	120×100cm
状 態	ほぼ垂直	備 考	
特記事項			
土師器杯・高杯・甕・有孔円板			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B22

検出位置	BQ22	覆 土	
切 る		床 面	たたき状 きわめて堅固
合			
切られる	SD06	主柱穴	2 基 : P1, P2
規 模	(不明)	貯藏穴	
m	- × -	入 口	
・ 形 状	不明	炉 形 状	地床炉
壁高cm	-	規 模	42×42cm
状 態	不明	備 考	
特記事項			
打製石斧・台石			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B24

検出位置	BU23	覆 土	
切 る		床 面	やや軟弱
合			
切られる	ST01, SD05	主柱穴	4 基 : P1~P4
規 模	(不整形)	貯藏穴	
m	4.3×4.0	入 口	
・ 形 状	N45° E	炉 形 状	地床炉
壁高cm	18	規 模	40×40cm
状 態	やや緩やか	備 考	
特記事項			
甕・壺・有肩扁状形石器・打製石斧・磨製石斧・石錐			
磨製石錐			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B26

検出位置	BJ20	覆 土	3 層
切 る	SI01, 02	床 面	堅 固 な貼り床
合	SB21, ST12	主柱穴	8 基 : P1~P8
切られる		貯藏穴	
規 模	(隅丸方形)	入 口	
m	9.5×9.0	炉 形 状	粘土竈
・ 形 状	N42° W	規 模	130×120cm
壁高cm	56	備 考	
状 態	ほぼ垂直		
特記事項			
土師器杯・高杯・甕・壺・須恵器蓋・長頸瓶・壺			
縁杓子形土製品・土製防護車・砥石・ガラス玉・鉄製品			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B27

検出位置	BX21	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合		主柱穴	
切られる		貯藏穴	
プラン (隅丸方形)		入 口	
規 模 m	- × -		
規 模			
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状		板 模	
壁高cm	27	窓	
状 態	やや緩やか	備考	
特記事項			
須恵器甕			
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

## S B29

検出位置	AY33	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合		主柱穴	
切られる	SB28, 30, SD18	貯藏穴	
プラン	不明	入 口	
規 模 m	- × -		
規 模			
・ 主 軸	不明	炉 形状	地床炉
形 状		板 模	- × -
壁高cm		窓	
状 態	不明	備考	
特記事項	壁、床不明。出土遺物より住居址の存在を想定		
須恵器甕			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B31

検出位置	BP42	覆 土	
切 る		床 面	堅固
合		主柱穴	4基 : P1~P4
切られる	SB37, 40, SD13	貯藏穴	
プラン	隅丸方形	入 口	
規 模 m	5.8 × -		
規 模			
・ 主 軸	N44° W	炉 形状	粘土甕か
形 状		板 模	150×100cm
壁高cm	20	窓	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器杯・鉢・高杯・甕・壺、須恵器高杯・甕、白玉、鉄製品			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B33

検出位置	BR46	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合		主柱穴	
切られる	SD08, 09	貯藏穴	南隅に1基
プラン	不明	入 口	
規 模 m	- × -		
規 模			
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状		板 模	
壁高cm	20	窓	
状 態	不明	備考	
特記事項			
土師器杯・須恵器蓋・高杯			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

## S B28

検出位置	AY29	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる	SD18	貯藏穴	
プラン	(方形)	入 口	
規 模 m	- × -		
規 模			
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状		板 模	
壁高cm	20	窓	
状 態	緩やか	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・甕・壺、磁石			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス・ARY420

## S B30

検出位置	BA32	覆 土	
切 る	SB29	床 面	軟弱
合		主柱穴	2基 : P1, P2
切られる		貯藏穴	
プラン	不整隅丸方形	入 口	
規 模 m	5.0 × -		
規 模			
・ 主 軸	N32° E	炉 形状	石芯粘土甕
形 状		板 模	78×78cm
壁高cm	40	窓	
状 態	緩やか	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・甕・壺、須恵器・鐵製品			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B32

検出位置	BK40	覆 土	
切 る	SB41	床 面	軟弱
合		主柱穴	2基 : P1, P2
切られる	SD13	貯藏穴	
プラン	隅丸方形	入 口	
規 模 m	7.9 × -		
規 模			
・ 主 軸	N51° W	炉 形状	
形 状		板 模	
壁高cm	41	窓	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	SB34, SD22とも重複		
土師器杯・高杯・甕・小型壺			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B34

検出位置	BK43	覆 土	
切 る	SD22	床 面	軟弱で薄い貼り床
合		主柱穴	1基 : P1
切られる		貯藏穴	
プラン	隅丸方形	入 口	
規 模 m	5.7 × -		
規 模			
・ 主 軸	N45° W	炉 形状	不明
形 状		板 模	- × -
壁高cm	38	窓	
状 態	やや緩やか	備考	北西壁側か
特記事項	SB32と重複		
土師器杯・高杯・甕・小型壺・瓶・須恵器蓋・土玉・臼玉・勾玉・炭化米			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

## S B35

検出位置	BM45	覆 土
切 る		床 面 塗くたなき状
合		主柱穴 1基 : P1
切られる		貯藏穴 北西隅
プラン	隅丸方形	住居内
規 模	m 7.4 × -	入 口
・ 主 軸	N37° W	施 設
形 状	炉 形状 石芯粘土竈	
壁高cm	50	炉・規模 160 × 140cm
状 態	窓	
特記事項	ほぼ垂直	窓 備考
時代・時期	古墳後期前半	調査位置 ARYバイパス

## S B37

検出位置	BQ40	覆 土
切 る	SB31, 39, 40	床 面
合		主柱穴
切られる		貯藏穴
プラン	隅丸方形	住居内
規 模	m 4.3 × -	入 口
・ 主 軸	N42° W	施 設
形 状	炉 形状 石芯粘土竈	
壁高cm	40	炉・規模 96 × 90cm
状 態	窓	
特記事項	緩やか	窓 備考
土師器杯・甕・須恵器蓋・杯・ガラス玉		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置 ARYバイパス

## S B39

検出位置	BR39	覆 土
切 る	SB40	床 面
合		主柱穴
切られる	SB37	貯藏穴
プラン	不明	住居内
規 模	m - × -	入 口
・ 主 軸	N57° W	施 設
形 状	炉 形状 石芯粘土竈	
壁高cm	20	炉・規模 65 × 60cm
状 態	窓	
特記事項	不明	窓 備考
土師器甕		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置 ARYバイパス

## S B41

検出位置	BL40	覆 土
切 る		床 面 軟弱
合		主柱穴
切られる	SB32, 36, SD12	貯藏穴
プラン	不明	住居内
規 模	m - × -	入 口
・ 主 軸	不明	施 設
形 状	壁高cm - × -	炉 形状
状 態	不明	炉・規模
特記事項	遺物が集中して出土したため住居址とした 土師器杯・須恵器大甕	窓 備考
時代・時期	古墳後期前半	調査位置 ARYバイパス

## S B36

検出位置	BK38	覆 土
切 る	SB41, 42, SD12	床 面 軟弱
合		主柱穴 3基 : P1～P3
切られる		貯藏穴
プラン	隅丸方形	住居内
規 模	m 5.2 × 5.2	入 口
・ 主 軸	N54° W	施 設
形 状	炉 形状 石芯粘土竈	
壁高cm	40	炉・規模 120 × 100cm
状 態	窓	
特記事項	緩やか	窓 備考
土師器杯・高杯・甕・瓶・須恵器蓋・甕・白玉・土玉 炭化種子		
時代・時期	古墳後期	調査位置 ARYバイパス

## S B38

検出位置	BH43	覆 土
切 る		床 面 軟弱
合		主柱穴
切られる		貯藏穴
プラン	方形か	住居内
規 模	m - × -	入 口
・ 主 軸	不明	施 設
形 状	炉 形状	
壁高cm	70	炉・規模
状 態	やや緩やか	窓 備考
特記事項	焼失(焼却) 家屋	
土師器片・鉄片		
時代・時期	不明	調査位置 ARYバイパス

## S B40

検出位置	BR41	覆 土
切 る	SB31	床 面 堅固
合		主柱穴 1基 : P1
切られる	SB37, 39	貯藏穴
プラン	隅丸方形	住居内
規 模	m 6.1 × 6.0	入 口
・ 主 軸	N46° W	施 設
形 状	炉 形状 不明	
壁高cm	30	炉・規模 100 × 72cm
状 態	やや緩やか	
特記事項		
土師器杯・高杯・甕・瓶・須恵器片		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置 ARYバイパス

## S B42

検出位置	BM37	覆 土
切 る		床 面 北側は堅固
合		主柱穴
切られる	SB36, SD10, 11	貯藏穴
プラン	不明	住居内
規 模	m 7.4 × -	入 口
・ 主 軸	不明	施 設
形 状	炉 形状	
壁高cm	20	炉・規模
状 態	緩やか	窓 備考
特記事項		
土師器杯・高杯・甕・瓶・須恵器蓋・杯・鉄錠・鉢・ ガラス玉・琥珀玉・白玉		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置 ARYバイパス

## S B 43

検出位置	AH30	覆 土	
切 る		床 面	きわめて堅固
合 切られる	SB44	主柱穴	4基: P1~P4
規 模	プラン 隔丸方形	住居内施設	貯藏穴 南隅P6
・ 形 状	規模m 8.1×8.0	入 口	南東壁中央部
主 軸	N62° W	炉	形状 石芯粘土竈
壁 高 cm	65	規模	80×80cm
状 態	ほぼ垂直	竈	備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺・瓶、須恵器蓋杯・高杯・台石・磨石 鋤先・鐵鍔・鐵環・白玉		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B 44

検出位置	AE30	覆 土	
切 る	SB43, 45	床 面	軟弱
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 隔丸長方形	住居内施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 3.7×-	入 口	
主 軸	N143° E	炉	形状 石芯粘土竈
壁 高 cm	29	規模	120×70cm
状 態	緩やか	竈	備考
特記事項	土師器杯・壺・須恵器蓋・杯・壺・小型壺		
時代・時期	奈良	調査位置	ARYバイパス

## S B 45

検出位置	AD29	覆 土	
切 る		床 面	中央部は堅固
合 切られる	SB44	主柱穴	4基: P1~P4
規 模	プラン 隔丸方形	住居内施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 4.6×4.4	入 口	P5~P7付近かP8
主 軸	N37° W	炉	形状 石芯粘土竈
壁 高 cm	23	規模	114×100cm
状 態	緩やか	竈	備考
特記事項	土師器杯・高杯・小型壺・瓶		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

## S B 46

検出位置	AJ27	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 隔丸方形	住居内施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 5.4×2.3	入 口	
主 軸	N136° E	炉	形状 石芯粘土竈
壁 高 cm	25	規模	110×50cm
状 態	緩やか	竈	備考
特記事項	土師器高杯・壺・須恵器壺		
時代・時期	奈良	調査位置	ARYバイパス

## S B 47

検出位置	BH18	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	1基: P1
規 模	プラン (隔丸方形)	住居内施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m (5.0)×-	入 口	
主 軸	N44° W	炉	形状
壁 高 cm	40	規模	
状 態	緩やか	竈	備考
特記事項	SB48と重複 土師器高杯・壺・瓶・須恵器蓋杯・石製紡錘車		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B 48

検出位置	BH16	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉	形状
壁 高 cm	20	規模	
状 態	緩やか	竈	備考
特記事項	SB47と重複 土師器片・須恵器片		
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

## S B 49

検出位置	BY22	覆 土	
切 る		床 面	堅固
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉	形状
壁 高 cm	9	規模	
状 態		竈	備考
特記事項	床面・壁の一部のみ		
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

## S B 50

検出位置	BE36	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SB19, SD03, 18	主柱穴	2基: P1, P2
規 模	プラン 方形	住居内施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 9.3×-	入 口	
主 軸	N45° W	炉	形状 石芯粘土竈
壁 高 cm	60	規模	100×80cm
状 態	ほぼ垂直	竈	備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺・壺・瓶・須恵器高杯・壺 磁石・勾玉・ガラス玉・臼玉・劍形		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

## S B51

検出位置	AK11	覆 土	
切 る	SB53	床 面	非常に軟弱
合			
切られる	SB06	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
m	- × -		
・ 主 軸	不明		入 口
形 状	壁高cm 10	炉	形状
		・ 煙	
状 態	不明	煙	備考
特記事項	SB53と重複 甕・打製石斧・磨製石鎌・横刃型石包丁		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B53

検出位置	AJ10	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合			
切られる	SB06, 09, 51, SD25	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
m	- × -		
・ 主 軸	不明		入 口
形 状	壁高cm 10	炉	形状
		・ 煙	
状 態	不明	煙	備考
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

## S B55

検出位置	AY16	覆 土	
切 る	(SD17と重複)	床 面	非常に硬い
合			
切られる	SM01	主柱穴	4基: P1~P4
規 模	プラン 囲丸長方形	住居内施設	貯蔵穴
m	5.6×4.2		
・ 主 軸	N114° E		入 口
形 状	壁高cm 10	炉	形状
		・ 煙	
状 態	やや緩やか	煙	備考
特記事項	甕・壺・打製石斧・磨製石斧・横刃型石包丁 磨製石鎌・砥石		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B57

検出位置	BA11	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合			
切られる	溝状址 1	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
m	- × -		
・ 主 軸	不明		入 口
形 状	壁高cm -	炉	形状
		・ 煙	
状 態	不明	煙	備考
特記事項	ST13と重複 弥生から中世までの遺物出土		
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

## S B52

検出位置	AQ15	覆 土	2層
切 る		床 面	軟弱
合			
切られる		主柱穴	2基: P1, P2
規 模	プラン 囲丸方形	住居内施設	貯蔵穴
m	5.0×-		
・ 主 軸	N55° W		入 口
形 状	壁高cm 46	炉	形状
		・ 煙	石芯粘土竈
状 態	ほぼ垂直	煙	130×60cm
特記事項			備考
土師器杯・小型甕・長胴甕・縄文石			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

## S B54

検出位置	AO08	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合			
切られる	別記	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
m	- × -		
・ 主 軸	不明		入 口
形 状	壁高cm -	炉	形状
		・ 煙	
状 態	不明	煙	備考
特記事項	甕・床不明。出土遺物より住居の存在を想定		
SB03, ST05, 07, SK04に切られる 甕			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

## S B56

検出位置	BA22	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる	SD15	主柱穴	1基: P1
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
m	- × -		
・ 主 軸	N43° W		入 口
形 状	壁高cm 38	炉	形状
		・ 煙	地床炉
状 態	ほぼ垂直	煙	40×40cm
特記事項			
土器片、有肩肩形状石器・打製石斧			
時代・時期	弥生後期	調査位置	ARYバイパス

## S B58

検出位置	AX09	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
m	- × -		
・ 主 軸	(N52° W)		入 口
形 状	壁高cm 14	炉	形状
		・ 煙	
状 態		煙	備考
特記事項			
土師器杯・高杯・甕・小型甕			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B59

検出位置	BH34	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SD18	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 設	貯藏穴
形 状	規模m -×-	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
壁高cm	40	規模	壁高
状 態	ほぼ垂直	窓	cm
特記事項	土器器杯・壺、鉄鎌	備考	

時代・時期 古墳後期前半 調査位置 ARYバイパス

S B61 (第1図)

検出位置	BN31	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SB64	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 設	貯藏穴
形 状	規模m -×7.8	入 口	窓
・ 主 軸	N26° W	炉 形状	窓
壁高cm	60	規模	120×80cm
状 態	やや緩やか	窓	
特記事項		備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4824-2

S B63 (第1図)

検出位置	BR23	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン -	住居 内 設	貯藏穴
形 状	規模m -	入 口	
・ 主 軸	-	炉 形状	
壁高cm	20	規模	
状 態	やや緩やか	窓	
特記事項		備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4824-2

S B65

検出位置	AS47	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 設	貯藏穴
形 状	規模m -×-	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
壁高cm	-	規模	
状 態	不明	窓	
特記事項	プランのみ確認	備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4767-8

S B60

検出位置		覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン	住居 内 設	貯藏穴
形 状	規模m -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
壁高cm	40	規模	壁高
状 態	ほぼ垂直	窓	cm
特記事項		備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARYバイパス

S B62 (第1図)

検出位置	BU26	覆 土	
切 る	ST23	床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 方形	住居 内 設	貯藏穴
形 状	規模m 2.1×-	入 口	
・ 主 軸	N47° E	炉 形状	窓
壁高cm	16	規模	56×56cm
状 態	緩やか	窓	
特記事項		備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4824-2

S B64 (第1図)

検出位置	BM31	覆 土	
切 る	SB61	床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン -	住居 内 設	貯藏穴
形 状	規模m -	入 口	
・ 主 軸	N25° W	炉 形状	窓
壁高cm	50	規模	
状 態	やや緩やか	窓	
特記事項		備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4824-2

S B66

検出位置	AO02	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 設	貯藏穴
形 状	規模m -×-	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
壁高cm	-	規模	
状 態	不明	窓	
特記事項	プランのみ確認	備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4767-8

## S B67

検出位置	AP02	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる		貯藏穴	
プラン	不明	住居内施設	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	
壁高cm	-	壁	・ 壁厚
状 態	不明	窓	
特記事項	プランのみ確認	備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4767-8

## S B69

検出位置	AC00	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる	SB68	貯藏穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	
規模m	5.3 × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	
壁高cm	-	壁	・ 壁厚
状 態	不明	窓	
特記事項	プランのみ確認	備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4833

## S B71

検出位置	AJ24	覆 土	褐色土
切 る	SB73, 75, 76	床 面	堅固
合	SD35	主柱穴	4 基 : P1 ~ P4
切られる		貯藏穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	
規模m	6.0 × -	入 口	南東壁中央
・ 主 軸	N55° W	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	石芯粘土窓
壁高cm	35	窓	120 × 100 cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	SB72と重複 縞物石、砥石、鉄製品、白玉		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4742

## S B73

検出位置	AH24	覆 土	褐色土
切 る	SB72, 76	床 面	堅固
合	SB71, ST24	主柱穴	
切られる		貯藏穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	
規模m	(4.6) × 3.4	入 口	
・ 主 軸	不明	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	規模
壁高cm	50	窓	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器瓶、鉄製品、磨製石鏡		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4742

## S B68

検出位置	AA49	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
切られる		貯藏穴	
プラン	不明	住居内施設	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	規模
壁高cm	-	窓	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4833

検出位置	A108	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
切られる	SD03	貯藏穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	
規模m	5.3 × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	規模
壁高cm	-	窓	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4833

検出位置	AH25	覆 土	褐色土
切 る	SB76	床 面	堅固
合	切られる	主柱穴	1 基
切られる	SB73, ST24	貯藏穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	
規模m	4.2 × 4.2	入 口	
・ 主 軸	N30° W	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	規模
壁高cm	37	窓	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	SB71と重複 海浜石		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4742

検出位置	AH24	覆 土	褐色土
切 る	SB72, 76	床 面	堅固
合	SB71, ST24	主柱穴	
切られる		貯藏穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	
規模m	(4.6) × 3.4	入 口	
・ 主 軸	不明	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	規模
壁高cm	50	窓	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器瓶、鉄製品、磨製石鏡		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4742

検出位置	AE29	覆 土	褐色土
切 る		床 面	堅固
合	切られる	主柱穴	4 基
切られる	SB87	貯藏穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	
規模m	6.0 × 6.0	入 口	
・ 主 軸	不明	炉	形状
・ 形 状		・ 壁高	規模
壁高cm	20	窓	
状 態	やや緩やか	備考	
特記事項	SB81, 86と重複 土師器杯・鉢・壺・櫃、須恵器蓋・杯・高杯		

時代・時期 奈良 調査位置 ARY4742

## S B 75

検出位置	AK23	覆 土	褐色
切 合		床 面	堅固
切られる	SB71	主柱穴	
プラン (方形)		貯蔵穴	
規模m	3.6×-	入 口	
・ 主 軸	N52° W	炉 形状	炉緑石を持つ地床炉
形 状	壁高cm 20	炉 横幅	60×45cm
状 態	やや緩やか	竪 横幅	備考 焼土が薄く残る

## 特記事項

甕・磨製石臼

時代・時期 弥生後期初頭 調査位置 ARY4742

## S B 77

検出位置	AC26	覆 土	暗褐色土
切 合		床 面	堅固
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状	壁高cm 10	炉 横幅	
状 態	緩やか	竪 横幅	備考

## 特記事項

SB79, 88と重複

土師器杯・須恵器甕・打製石斧・磨製石斧・敲打器

時代・時期 不明 調査位置 ARY4742

## S B 79

検出位置	AB27	覆 土	
切 合		床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状	壁高cm -	炉 横幅	
状 態	不明	竪 横幅	備考

## 特記事項

SB77, 87と重複

臼玉

時代・時期 不明 調査位置 ARY4742

## S B 81

検出位置	AC31	覆 土	
切 合	SB78, SD36, SM02	床 面	
切られる	SB87	主柱穴	3基
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	N48° W	炉 形状	石芯粘土甕
形 状	壁高cm -	炉 横幅	75×62cm
状 態	不明	竪 横幅	備考

## 特記事項

SB74, 86と重複 既報告のプランを一部変更

(報告書 S B 87北壁までをプランとする)

土師器甕・壺・須恵器甕・杯・鐵冶関係鉄製品

時代・時期 奈良 調査位置 ARY4742

## S B 76

検出位置	AG24	覆 土	暗褐色土
切 合		床 面	非常に堅固
切られる	SB71, 72, 73, 84, ST24	主柱穴	4基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	7.0×6.6	入 口	南主柱穴東の穴か
・ 主 軸	N63° W	炉 形状	石芯粘土甕
形 状	壁高cm 74	炉 横幅	150×140cm
状 態	ほぼ垂直	竪 横幅	備考

## 特記事項

土師器杯・鉢・高杯・鉄製品・白玉

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4742

## S B 78

検出位置	AD32	覆 土	褐色土
切 合	SM02	床 面	堅固
切られる	SB81, 87	主柱穴	4基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	6.0×-	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状	壁高cm 50	炉 横幅	
状 態	ほぼ垂直	竪 横幅	備考

## 特記事項

土師器杯・高杯・甕・長頸壺・横瓶・刀子

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4742

## S B 80

検出位置	AH38	覆 土	
切 合	SB85	床 面	堅固
切られる	SD35	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状	壁高cm 40	炉 横幅	
状 態	ほぼ垂直	竪 横幅	備考

## 特記事項

土師器杯・甕・須恵器高杯・砥石

時代・時期 奈良 調査位置 ARY4742

## S B 82

検出位置	AF34	覆 土	
切 合		床 面	堅固
切られる	SD35	主柱穴	1基
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	石芯粘土甕
形 状	壁高cm 85	炉 横幅	100×90cm
状 態	ほぼ垂直	竪 横幅	備考

## 特記事項

土師器杯・台石・砥石

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4742

## S B83

検出位置	AF20	覆土	2層
切る	SD36	床面	堅固
合	切られる	ST24	主柱穴 1基
規模・形状	プラン 四角形 規模m - × - 主軸 不明 壁高cm 20 状態 ほぼ垂直	住居内施設	貯蔵穴 入 口 炉 形状 規格 備考
特記事項	床面中央付近に焼土 須恵器杯・壺、編物石・石製纺錐車・敲打器		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

## S B85

検出位置	AI30	覆土	褐色土
切る		床面	やや軟弱
合	切られる	SB80	主柱穴
規模・形状	プラン 不明 規模m - × - 主軸 不明 壁高cm 50 状態 ほぼ垂直	住居内施設	貯蔵穴 入 口 炉 形状 規格 備考
特記事項	土師器杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

## S B87

検出位置	AC28	覆土	
切る	SB74, 78, 81, SM02	床面	
合	切られる		主柱穴 2基
規模・形状	プラン 不明 規模m - × - 主軸 N42° W 壁高cm - 状態 不明	住居内施設	貯蔵穴 入 口 炉 形状 規格 100× - cm 備考
特記事項	SB79と重複 既報告のプランを一部変更 (北側へプランを広げる) 土師器壺・須恵器杯・壺		
時代・時期	平安前半	調査位置	ARY4742

## S B89

検出位置	BX22	覆土	褐色土
切る	SB90	床面	やや軟弱
合	切られる	ST26	主柱穴
規模・形状	プラン 方形 規模m - × - 主軸 N25° W 壁高cm 34 状態 やや緩やか	住居内施設	貯蔵穴 入 口 炉 形状 規格 備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺、須恵器壺・壺		
時代・時期	古墳終末	調査位置	ARY4737

## S B84

検出位置	AD23	覆土	暗褐色土
切る	SB76, 88, SD36	床面	堅固
合	切られる	ST24	主柱穴 2基
規模・形状	プラン 四角形 規模m 5.7× - 主軸 N60° W 壁高cm 20 状態 ほぼ垂直	住居内施設	貯蔵穴 入 口 炉 形状 石芯粘土甃 規格 100×80cm 備考 煙道220cm
特記事項	土師器杯・高杯・壺、須恵器高杯・甃石		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4742

## S B86

検出位置	AD28	覆土	
切る	SM02	床面	
合	切られる	SB74	主柱穴
規模・形状	プラン 不明 規模m - × - 主軸 不明 壁高cm - 状態 不明	住居内施設	貯蔵穴 入 口 炉 形状 規格 備考
特記事項	SB81, SD36と重複		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

## S B88

検出位置	AD25	覆土	
切る		床面	堅固
合	切られる	SB84, ST24	主柱穴
規模・形状	プラン 不明 規模m - × - 主軸 不明 壁高cm - 状態 不明	住居内施設	貯蔵穴 入 口 地床炉 規格 60×50cm 備考 焼土中に土器混入
特記事項	SB77と重複 床面のみ確認 壺・壺、磨製石斧・打製石斧		
時代・時期	弥生中期後半	調査位置	ARY4742

## S B90

検出位置	BW24	覆土	
切る		床面	やや堅固
合	切られる	SB89, ST25, 26	主柱穴
規模・形状	プラン 方形 規模m 7.0× - 主軸 N30° W 壁高cm 32 状態 緩やか	住居内施設	貯蔵穴 入 口 炉 形状 石芯粘土甃 規格 - × - 備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺、瓶、須恵器蓋・杯・甃		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B91

検出位置	BX25	覆 土	
切 る	SB92	床 面	中央から北側硬い
合		主柱穴	1基 : P1
切られる	ST25, 26		
規 模	5.9×-	住居内施設	貯藏穴
・ 主 軸	N38° W		入 口
形 状	壁高cm 46		炉 形状
	状 態	窓 壁模	竈
特記事項		窓 壁考	
土師器杯・高杯・壺・瓶、須恵器蓋杯			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B93

検出位置	BV29	覆 土	暗褐色土
切 る	SB94	床 面	堅 固
合		主柱穴	
切られる			
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
・ 主 軸	規 模 m - × -		入 口
形 状	主軸 不明		炉 形状
	壁高cm 10		窓 壁模
状 態	不明	窓 窓	竈 壁考
特記事項			
土師器壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B95

検出位置	BS20	覆 土	
切 る	SB105, 107	床 面	中央部が堅 固
合		主柱穴	4基 : P1~P4
切られる	SB104		
規 模	プラン 不整方形	住居内施設	貯藏穴
・ 主 軸	規 模 m (6.6) × -		入 口
形 状	主軸 N42° W		炉 形状
	壁高cm 18		窓 壁模
状 態	やや緩やか	窓 窓	竈 壁考
特記事項			
土師器杯・高杯・壺・瓶、須恵器杯・高杯・壺・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B97

検出位置	BF19	覆 土	黒褐色土
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる	SD37		
規 模	プラン 方形	住居内施設	貯藏穴
・ 主 軸	規 模 m - × -		入 口
形 状	主軸 不明		炉 形状
	壁高cm 20		窓 壁模
状 態	緩やか	窓 窓	竈 壁考
特記事項			
土師器杯・高杯・壺・瓶、須恵器蓋・杯・壺 ガラス小玉			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B92

検出位置	BW27	覆 土	
切 る		床 面	堅 固
合		主柱穴	
切られる	SB91, ST25		
規 模	プラン 圓丸方形	住居内施設	貯藏穴
・ 主 軸	規 模 m - × -		入 口
形 状	主軸 不明		炉 形状
	壁高cm 12		窓 壁模
状 態	不明	窓 窓	竈 壁考
特記事項			
焼失(焼却)家屋 壺・壺・磨製石斧			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARY4737

## S B94

検出位置	BW29	覆 土	
切 る		床 面	やや軟弱
合		主柱穴	
切られる	SB93		
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
・ 主 軸	規 模 m - × -		入 口
形 状	主軸 不明		炉 形状
	壁高cm 10		窓 壁模
状 態	不明	窓 窓	竈 壁考
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B96

検出位置	BN19	覆 土	
切 る	別記	床 面	やや軟弱な貼り床
合		主柱穴	4基 : P1~P4
切られる			
規 模	プラン 方形	住居内施設	貯藏穴
・ 主 軸	規 模 m 7.3×7.2		入 口
形 状	主軸 N58° W		炉 形状
	壁高cm 61		石芯粘土竈
状 態	ほぼ垂直	窓 壁模	竈 壁考
特記事項			
SB100, 103, 106, 109, 110, 111, 129, ST28を切る 土師器杯・壺・須恵器壺・壺・壺			
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4737

## S B98

検出位置	BD17	覆 土	黒褐色土
切 る		床 面	堅 固
合		主柱穴	
切られる			
規 模	プラン 圓丸方形	住居内施設	貯藏穴
・ 主 軸	規 模 m - × -		入 口
形 状	主軸 N43° W		炉 形状
	壁高cm 27		窓 壁模
状 態	ほぼ垂直	窓 窓	竈 壁考
特記事項			
土師器杯・高杯・壺・瓶・須恵器蓋・杯・壺 ガラス小玉			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B 99

検出位置	BK22	覆 土	
切 る	SB103	床 面	
合		主柱穴	
切られる	SB102	住居内施設	貯藏穴
規 模	プラン 固丸方形	入 口	
m	- × -		
・ 形 状	主 軸 不明	炉 形状	粘土竈
壁高cm	-	・ 壁模	- × -
状 態	不明	竈	備考
特記事項	土師器杯・壺		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

## S B 101

検出位置	BH19	覆 土	4層
切 る	SB137	床 面	堅固
合		主柱穴	
切られる	SB103, SD37, SI07	住居内施設	2基
規 模	プラン 固丸方形	貯藏穴	
m	5.4×-	入 口	
・ 主 軸	N29° W	炉 形状	竈
形 状	壁高cm 29	・ 壁模	- × -
壁高cm	29	竈	備考
状 態	やや緩やか		
特記事項	土師器杯・高杯・壺・須恵器蓋・杯・器台・壺		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

## S B 103

検出位置	BJ20	覆 土	
切 る	SB101	床 面	やや軟弱
合		主柱穴	
切られる	SB96, 99, 102	住居内施設	2基
規 模	プラン 方形	貯藏穴	
m	7.1×-	入 口	
・ 主 軸	N25° W	炉 形状	石芯粘土竈
形 状	壁高cm 36	・ 壁模	- × -
壁高cm	36	竈	備考
状 態	ほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・高杯・鉢・壺・壺・須恵器蓋・瓶・提瓶・壺		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

## S B 105

検出位置	BR21	覆 土	暗褐色土
切 る		床 面	堅固
合		主柱穴	
切られる	SB95, 104	住居内施設	貯藏穴
規 模	プラン 不明	入 口	
m	- × -	炉 形状	
・ 主 軸	不明	・ 壁模	
形 状	壁高cm - × -	竈	備考
壁高cm	- × -		
状 態	不明		
特記事項	土師器杯・鉢・壺・須恵器蓋		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

## S B 100

検出位置	BO21	覆 土	
切 る		床 面	堅固
合		主柱穴	
切られる	SB96, 102, 106, SD38	住居内施設	貯藏穴
規 模	プラン 方形	入 口	
m	- × -	炉 形状	
・ 主 軸	N40° W	・ 壁模	
形 状	壁高cm 25	竈	備考
壁高cm	25		
状 態	西側はほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・壺・須恵器蓋		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

## S B 102

検出位置	BM22	覆 土	
切 る	SB96, 99, 103	床 面	やや軟弱
合		主柱穴	
切られる		住居内施設	貯藏穴
規 模	プラン (方形)	入 口	
m	- × -	炉 形状	
・ 主 軸	不明	・ 壁模	
形 状	壁高cm 27	竈	備考
壁高cm	27		
状 態	緩やか		
特記事項	土師器杯・小型皿・高杯・瓶・須恵器杯・盤・灰釉陶器碗		

時代・時期 平安後期 調査位置 ARY4737

## S B 104

検出位置	BQ23	覆 土	
切 る	SB95, 105, 124	床 面	中心部は堅固
合		主柱穴	
切られる	小窓穴 8	住居内施設	2基
規 模	プラン 方形	入 口	
m	5.4× -	炉 形状	
・ 主 軸	N38° W	・ 壁模	
形 状	壁高cm 40	竈	140×110cm
壁高cm	40		
状 態	やや緩やか		
特記事項	土師器杯・高杯・鉢・壺・須恵器壺・蓋・提瓶・刀子		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

## S B 106

検出位置	BQ19	覆 土	褐色土
切 る	SB100, 129	床 面	きわめて堅固
合		主柱穴	
切られる	SB96, SD38	住居内施設	3基:P1~P3
規 模	プラン 固丸方形	入 口	
m	4.4×4.0	炉 形状	
・ 主 軸	N47° W	・ 壁模	
形 状	壁高cm 40	竈	石芯粘土竈か
壁高cm	40		
状 態	やや緩やか		
特記事項	土師器壺片		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

## S B107

検出位置	BU19	覆 土	褐色土
切 る		床 面	
合	切られる SB95	主柱穴	3基 : P1~P3
規 模	プラン 隅丸方形	住居 内	貯藏穴
m	- × -	施 設	入 口
・ 形 状	主 軸 不明	炉	形状
壁高cm	35	・ 施設	規 模
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項			
土師器杯・鉢・壺・須恵器蓋			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B109

検出位置	BL18	覆 土	
切 る	SB110, 112	床 面	やや軟弱
合	切られる SB96, ST28	主柱穴	
規 模	プラン 隅丸方形	住居 内	貯藏穴
m	4.6 × -	施 設	入 口
・ 形 状	主 軸 N25° W	炉	形状
壁高cm	17	・ 施設	規 模
状 態	不明	窓	備考
特記事項			
土師器杯・鉢・壺・須恵器蓋・壺・甌			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B111

検出位置	BP17	覆 土	黒褐色土
切 る	SB110, 128, 129	床 面	堅 固
合	切られる SB96, 138, ST28	主柱穴	
規 模	プラン 方形	住居 内	貯藏穴
m	- × -	施 設	入 口
・ 形 状	主 軸 N42° W	炉	形状
壁高cm	18	・ 施設	規 模
状 態	ほぼ垂直	窓	備考 北東隅に焼土
特記事項			
土師器杯・高杯・鉢・壺・甌・須恵器蓋・壺・甌			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B113

検出位置	BH14	覆 土	褐色土
切 る	SB108, 115	床 面	やや軟弱
合	切られる SB114, SD37	主柱穴	
規 模	プラン 方形	住居 内	貯藏穴
m	6.1 × 6.0	施 設	入 口
・ 形 状	主 軸 N43° W	炉	形状
壁高cm	15	・ 施設	規 模
状 態	緩やか	窓	備考
特記事項			
土師器杯・高杯・壺・須恵器蓋・杯・高杯・甌			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B108

検出位置	BK15	覆 土	褐色土
切 る	SB112	床 面	堅 固
合	切られる 別記	主柱穴	4基 : P1~P4
規 模	プラン 方形	住居 内	貯藏穴
m	6.2 × 6.0	施 設	入 口
・ 形 状	主 軸 N41° W	炉	形状 粘土甌
壁高cm	20	・ 施設	規 模
状 態	不明	窓	備考
特記事項	SB110, 113, 114, ST29, SA01に切られる 土師器杯・高杯・鉢・壺・甌・須恵器蓋・杯・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B110

検出位置	BN16	覆 土	
切 る	SB108, 112, 128	床 面	軟弱
合	切られる 別記	主柱穴	3基 : P1~P3
規 模	プラン 隅丸方形	住居 内	貯藏穴
m	5.9 × 5.8	施 設	入 口
・ 形 状	主 軸 N35° W	炉	形状
壁高cm	32	・ 施設	規 模
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	SB96, 109, 111, 138, ST28, SI04に切られる 土師器杯・高杯・壺・須恵器蓋・杯・高杯・提瓶・壺・甌		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B112

検出位置	BL16	覆 土	褐色土
切 る		床 面	やや軟弱
合	切られる SB108, 109, 110	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内	貯藏穴
m	- × -	施 設	入 口
・ 形 状	主 軸 不明	炉	形状
壁高cm	9	・ 施設	規 模
状 態	不明	窓	備考
特記事項			
土師器杯・壺・須恵器蓋			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B114

検出位置	BH15	覆 土	
切 る	SB108, 113	床 面	堅 固
合	切られる SD37	主柱穴	2基 : P1, P2
規 模	プラン 方形	住居 内	貯藏穴
m	5.4 × 5.2	施 設	入 口
・ 形 状	主 軸 N37° W	炉	形状
壁高cm	35	・ 施設	規 模
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	焼失(焼却)家屋		
土師器杯・高杯・壺・須恵器蓋			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B115

検出位置	BE15	覆 土	黒褐色土
切 る		床 面	軟弱
合			
切られる	SB113	主柱穴	
規 模	(方形)	住居内施設	貯藏穴
m	- × -		
・			
規 模	N27° W	入 口	
m	20	炉	形状
・			
形 状	壁高cm	規 模	
	20		
状 態	やや緩やか	窓	
特記事項		備考	
	土師器甕・高杯の小破片		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B117

検出位置	BX15	覆 土	土
切 る		床 面	堅固
合			
切られる	SB116, 130	主柱穴	
規 模	(方形)	住居内施設	貯藏穴
m	- × -		
・			
規 模	不明	入 口	
m		炉	形状
・			
形 状	壁高cm	規 模	
	25		
状 態	ほぼ垂直	窓	
特記事項		備考	
	土師器杯・甕・須恵器蓋・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B119

検出位置	BW05	覆 土	2 層
切 る		床 面	
合			
切られる	SB118	主柱穴	4 基 : P1~P4
規 模	(隅丸方形)	住居内施設	貯藏穴
m	4.5×3.5		
・			
規 模	N27° W	入 口	
m	22	炉	形状
・			
形 状	壁高cm	規 模	
	22		
状 態	東側はほぼ垂直	窓	
特記事項		備考	
	土師器蓋杯・高杯・甕・瓶・高杯		
	須恵器蓋杯・甕・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B121

検出位置		覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模		住居内施設	貯藏穴
m			
・			
規 模		入 口	
m		炉	形状
・			
形 状		規 模	
状 態		窓	
特記事項		備考	
	欠番		
時代・時期		調査位置	

## S B116

検出位置	AA13	覆 土	
切 る	SB117	床 面	きわめて堅固
合			
切られる		主柱穴	2 基 : P1, P2
規 模	(方形)	住居内施設	貯藏穴
m	5.0×-		
・			
規 模	N47° W	入 口	
m	30	炉	形状
・			
形 状	壁高cm	規 模	石芯粘土甕
	30		
状 態	ほぼ垂直	窓	
特記事項		備考	
	土師器高杯・鉢・甕・須恵器臺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B118

検出位置	BV08	覆 土	暗黃褐色土
切 る	SB119	床 面	堅固
合			
切られる		主柱穴	4 基 : P1~P4
規 模	(隅丸方形)	住居内施設	貯藏穴
m	4.4×4.2		
・			
規 模	N36° W	入 口	
m	116×100cm	炉	形状
・			
形 状	壁高cm	規 模	
	20		
状 態	ほぼ垂直	窓	
特記事項		備考	
	土師器杯・甕・高杯・鉢・甕・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B120

検出位置	BV02	覆 土	黒褐色土
切 る		床 面	軟弱な貼り床
合			
切られる		主柱穴	
規 模	(隅丸方形)	住居内施設	貯藏穴
m	5.9×-		
・			
規 模	N59° W	入 口	
m	25	炉	形状
・			
形 状	壁高cm	規 模	
	25		
状 態	ほぼ垂直	窓	
特記事項		備考	
	土師器高杯・甕・瓶・須恵器蓋・甕・脚付壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B122

検出位置	BS09	覆 土	2 層
切 る		床 面	堅固
合			
切られる	ST31	主柱穴	4 基 : P1~P4
規 模	(隅丸方形)	住居内施設	貯藏穴
m	5.0×4.6		
・			
規 模	不明	入 口	
m		炉	形状
・			
形 状	壁高cm	規 模	粘土甕
	50		
状 態	やや緩やか	窓	
特記事項		備考	
	土師器杯・高杯・甕・壺・須恵器甕・蓋・高杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B123

検出位置	BX09	覆 土	
切 る	SB131	床 面	堅 固
合			
切られる	SD38	主柱穴	4基 : P1~P4
規 模	プラン 暗丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	4.0×3.9		入 口
・ 形 状	主 軸 N28° W	炉	形状
壁高cm	27	板	・ 構造
状 態	ほぼ垂直	窓	・ 壁厚
特記事項		竈	備考
	土師器杯・鉢・高杯・小型甕・壺・須恵器高杯		
時代・時期	平安	調査位置	ARY4737

S B125

検出位置	BN10	覆 土	
切 る	SB126	床 面	やや軟弱
合			
切られる	SB127, ST30	主柱穴	3基 : P1~P3
規 模	プラン 方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	6.8×6.1		入 口
・ 形 状	主 軸 N41° W	炉	形状
壁高cm	30	板	粘土竈
状 態	やや緩やか	窓	150×90cm
特記事項		竈	・ 構造
	土師器杯・鉢・高杯・甕・須恵器蓋・高杯・壺・竈		・ 壁厚
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B127

検出位置	BO13	覆 土	
切 る	SB125, 126, 128	床 面	やや軟弱な貼り床
合			
切られる	SB138	主柱穴	4基 : P1~P4
規 模	プラン 暗丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	6.2×5.9		入 口
・ 形 状	主 軸 N38° W	炉	形状
壁高cm	42	板	石芯粘土竈
状 態	ほぼ垂直	窓	150×135cm
特記事項		竈	・ 構造
	土師器蓋・杯・鉢・高杯・壺・須恵器蓋・杯・高杯・竈		・ 壁厚
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B129

検出位置	BQ18	覆 土	
切 る		床 面	堅 固
合			
切られる	SB106, 110	主柱穴	
規 模	プラン 暗丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	- × -		入 口
・ 形 状	主 軸 N40° W	炉	形状
壁高cm	17	板	石芯粘土竈
状 態	やや緩やか	窓	・ 構造
特記事項		竈	・ 壁厚
	土師器杯・壺・須恵器蓋		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B124

検出位置	BQ24	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる	SB104	主柱穴	
規 模	プラン 暗丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	- × -		入 口
・ 形 状	主 軸 不明	炉	形状
壁高cm	10	板	・ 構造
状 態	緩やか	窓	・ 壁厚
特記事項		竈	
	土師器鉢・壺・瓶		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B126

検出位置	BP11	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる	SB125, 127	主柱穴	
規 模	プラン (方形)	住居 内 施設	貯藏穴
m	- × -		入 口
・ 形 状	主 軸 不明	炉	形状
壁高cm	20	板	・ 構造
状 態	ほぼ垂直	窓	・ 壁厚
特記事項		竈	
	土師器鉢・壺・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B128

検出位置	BQ15	覆 土	
切 る		床 面	堅 固
合			
切られる	SB110, 111, 127, 138	主柱穴	
規 模	プラン 方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	- × -		入 口
・ 形 状	主 軸 不明	炉	形状
壁高cm	30	板	石芯粘土竈
状 態	ほぼ垂直	窓	130×100cm
特記事項		竈	・ 構造
	土師器鉢・鉢・高杯・甕・須恵器壺・竈		・ 壁厚
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B129

検出位置	BU16	覆 土	
切 る	SB117, 134, 135	床 面	やや軟弱
合			
切られる		主柱穴	4基 : P1~P4
規 模	プラン 暗丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	8.4×7.4		入 口
・ 形 状	主 軸 N49° W	炉	形状
壁高cm	16	板	石芯粘土竈
状 態	やや緩やか	窓	148×100cm
特記事項		竈	・ 構造
	土師器鉢・高杯・壺・須恵器蓋・杯・高杯・壺・壺		・ 壁厚
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4737

## S B131

検出位置	BX11	覆 土	
切 る	床 面		
合			
切られる	別記	主柱穴	
規 模	プラン 隅丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	4.2×4.0	入 口	
・	主 軸 N68° W		形状
形 状	壁高cm 23	炉	・ 横横
	状 態 不明	窓	備考
特記事項	SB123, SD38, 火葬墓 1, 2 に切られる 土師器杯・甕、須恵器蓋・杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B133

検出位置	AC07	覆 土	
切 る	床 面	比較的堅固	
合			
切られる	SB132	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 施設	貯藏穴
m	- × -	入 口	
・	主 軸 不明		形状
形 状	壁高cm -	炉	・ 横横
	状 態 不明	窓	備考
特記事項	土師器高杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B135

検出位置	BS17	覆 土	
切 る	床 面	堅固	
合			
切られる	SB130	主柱穴	3基:P1~P3
規 模	プラン 隅丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	5.6×-	入 口	
・	主 軸 N48° W		形状
形 状	壁高cm 23	炉	・ 横横
	状 態 ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	土師器鉢・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B137

検出位置	BH20	覆 土	
切 る	床 面		
合			
切られる	SB101, SD37	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 施設	貯藏穴
m	- × -	入 口	
・	主 軸 不明		形状
形 状	壁高cm -	炉	・ 横横
	状 態 不明	窓	備考
特記事項	土師器甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B132

検出位置	AC08	覆 土	
切 る	床 面	やや軟弱	
合			
切られる	SB133, SD38	主柱穴	3基:P1~P3
規 模	プラン 不整形	住居 内 施設	貯藏穴
m	7.4×5.9	入 口	
・	主 軸 N30° W		形状
形 状	壁高cm 13	炉	石芯粘土竈
	状 態 不明	窓	98×98cm
特記事項	SK08と重複 土師器杯・甕、須恵器蓋・杯・高杯・甕・壺 灰釉陶器小型皿		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B134

検出位置	BU13	覆 土	
切 る	床 面		
合			
切られる	SB130, SD38	主柱穴	4基:P1~P4
規 模	プラン 隅丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	6.4×5.6	入 口	
・	主 軸 N40° W		形状
形 状	壁高cm 40	炉	石芯粘土竈
	状 態 やや緩やか	窓	100×70cm
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・甕・壺、須恵器蓋・杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B136

検出位置	AD08	覆 土	
切 る	床 面		
合			
切られる	SB132	主柱穴	
規 模	プラン 方形	住居 内 施設	貯藏穴
m	- × -	入 口	
・	主 軸 不明		形状
形 状	壁高cm 10	炉	・ 横横
	状 態 ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	甕・壺、磨製石斧		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARY4737

## S B138

検出位置	BO15	覆 土	
切 る	床 面		
合			
切られる	SB110, 111, 128	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 施設	貯藏穴
m	- × -	入 口	
・	主 軸 不明		形状
形 状	壁高cm -	炉	石芯粘土竈
	状 態 不明	窓	× -
特記事項	甕のみ確認 土師器甕・瓶		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B139

検出位置	BN47	覆 土	
切 る		床 面	軟弱な貼り床
合	切られる	ST37, 52	主柱穴
規 模	プラン 四角形	住居 内	貯藏穴
m	5.5 × -	施 設	入 口
・ 主 軸	N49° W		
形 状	炉 形状		
壁 高 cm	20	炉	形状
状 態	ほぼ垂直	・ 規模	石芯粘土竈
特記事項	電	電	160 × 100 cm
	備考		
土師器杯・高杯・壺・高杯・須恵器蓋・壺			

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

## S B141

検出位置	BG07	覆 土	暗褐色土
切 る	SB143	床 面	きわめて軟弱
合	切られる	別記	主柱穴
規 模	プラン 方形	住居 内	貯藏穴
m	6.2 × 5.8	施 設	入 口
・ 主 軸	N50° W		
形 状	炉 形状		粘土竈
壁 高 cm	15	・ 規模	- × -
状 態	不明	電	備考
特記事項	SB140, ST32, 34, 46, 48に切られる 土師器高杯・壺・小型壺・須恵器蓋・杯・壺・平瓶 等金具		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4737

## S B143

検出位置	BE08	覆 土	
切 る		床 面	やや軟弱
合	切られる	SB141, 155, ST32, 46	主柱穴
規 模	プラン 不整形	住居 内	貯藏穴
m	5.3 × -	施 設	入 口
・ 主 軸	不明		
形 状	壁 高 cm	炉	形状
	10	・ 規模	
状 態	不明	電	備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺・須恵器蓋・杯・高杯・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B145

検出位置	BG49	覆 土	
切 る	別記	床 面	軟弱
合	切られる		主柱穴
規 模	プラン 不整形	住居 内	貯藏穴
m	6.0 × 5.0	施 設	入 口
・ 主 軸	N53° W		
形 状	壁 高 cm	炉	形状
	20	・ 規模	
状 態	ほぼ垂直	電	備考
特記事項	SB146, 148, 149, 150, 152, ST35, 36, 45を切る 土師器杯・壺・須恵器杯・壺・壺・灰釉陶器碗		
時代・時期	平安後期	調査位置	ARY4737

## S B140

検出位置	BD05	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合	切られる	別記	主柱穴 4基 : P1 ~ P4
規 模	プラン 四角形	住居 内	貯藏穴
m	5.3 × 5.2	施 設	入 口
・ 主 軸	N72° W		
形 状	壁 高 cm	炉	形状
	15	・ 規模	石芯粘土竈
状 態	不明	電	160 × 100 cm
特記事項	SB141, ST32, 33, 34, 38に切られる 土師器杯・高杯・壺・須恵器蓋・杯・高杯・壺		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4737

## S B142

検出位置	BG03	覆 土	
切 る		床 面	堅固 磁混
合	切られる	ST34, 38, 47, 48	主柱穴
規 模	プラン 方形	住居 内	貯藏穴
m	5.2 × 4.6	施 設	入 口
・ 主 軸	N48° W		
形 状	壁 高 cm	炉	形状
	20	・ 規模	粘土竈
状 態	ほぼ垂直	電	備考
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・壺・瓶・須恵器蓋・杯・高杯・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B144

検出位置	BI08	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	SD37, SA01	主柱穴
規 模	プラン 不整形	住居 内	貯藏穴
m	4.6 × 4.2	施 設	入 口
・ 主 軸	N32° W		
形 状	壁 高 cm	炉	形状
	18	・ 規模	竈 形状不明
状 態	やや緩やか	電	備考
特記事項	土師器杯・高杯・壺・瓶・須恵器杯・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

## S B146

検出位置	BF00	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	別記	主柱穴
規 模	プラン 不整形	住居 内	貯藏穴
m	(4.6) × 3.2	施 設	入 口
・ 主 軸	N53° W		
形 状	壁 高 cm	炉	形状
	22	・ 規模	竈
状 態	ほぼ垂直	電	備考
特記事項	SB145, ST34, 35, 36, 38に切られる 土師器杯・鉢・高杯・壺・須恵器杯・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B147

検出位置	BE49	覆 土	
切 る	SB149	床 面	軟弱
合 切られる	SB145, 146	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m - × -	入 口	
	主 軸 N50° W	炉	形状 穴 形状不明
	壁高cm 25	規 模	130×120cm
	状 態 やや緩やか	窓	
特記事項		備考	
土師器杯・高杯・壺・瓶、須恵器蓋・壺・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B149

検出位置	BE00	覆 土	
切 る		床 面	やや軟弱
合 切られる	別記	主柱穴	2基 : P1, P2
規 模	プラン 方形	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 7.1× -	入 口	
	主 軸 N46° W	炉	形状 穴 形状不明
	壁高cm 52	規 模	- × -
	状 態 ほぼ垂直	窓	
特記事項	SB145, 146, 147, ST35, 36, 38, SD39に切られる		
土師器杯・壺・須恵器蓋・蓋・高杯			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B151

検出位置	BI02	覆 土	
切 る		床 面	堅固
合 切られる	別記	主柱穴	
規 模	プラン 方形か	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m - × -	入 口	
	主 軸 不明	炉	形状
	壁高cm 19	規 模	
	状 態 緩やか	窓	
特記事項	SB148, 150, ST47, SD37に切られる		
土師器杯・壺・須恵器蓋・杯・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B153

検出位置	BI45	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合 切られる	別記	主柱穴	
規 模	プラン (隅丸方形)	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m - × -	入 口	
	主 軸 不明	炉	形状
	壁高cm 20	規 模	
	状 態 緩やか	窓	
特記事項	SB152, ST41, 43, 44, SD37に切られる		
土師器杯・壺・須恵器蓋・杯・壺・不明土製品			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B148

検出位置	BH01	覆 土	
切 る	SB150, 151	床 面	きわめて堅固
合 切られる	SB145, 146, ST45	主柱穴	
規 模	プラン 方形	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m (4.2)×4.1	入 口	
	主 軸 N84° E	炉	形状 石芯粘土壺
	壁高cm 36	規 模	100×98cm
	状 態 やや緩やか	窓	
特記事項		備考	
土師器杯・鉢・高杯・壺・瓶、須恵器蓋・壺・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B150

検出位置	BI00	覆 土	
切 る	SB151	床 面	やや軟弱
合 切られる	別記	主柱穴	
規 模	プラン 方形	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 5.0× -	入 口	
	主 軸 N53° W	炉	形状
	壁高cm 19	規 模	
	状 態 やや緩やか	窓	
特記事項	SB145, 148, ST45, SD38に切られる		
土師器杯・高杯・壺・須恵器蓋・杯・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B152

検出位置	BH47	覆 土	
切 る	SB153	床 面	やや堅固
合 切られる	別記	主柱穴	
規 模	プラン (方形)	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 6.4× -	入 口	
	主 軸 N67° W	炉	形状
	壁高cm 20	規 模	
	状 態 ほぼ垂直	窓	
特記事項	SB145, 149, ST35, 36, 41, 43, 44, SD37に切られる		
焼失(焼却)家屋			
土師器杯・鉢・高杯・壺・須恵器蓋・杯・壺・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B154

検出位置	BI45	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合 切られる	別記	主柱穴	
規 模	プラン (隅丸方形)	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m - × -	入 口	
	主 軸 不明	炉	形状
	壁高cm 20	規 模	
	状 態 緩やか	窓	
特記事項	SB152, ST41, 43, 44, SD37に切られる		
土師器杯・壺・須恵器蓋・杯・壺・不明土製品			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B 155

検出位置	BE09	覆 土	
切 る	SB143, ST32	床 面	軟弱
合		主柱穴	
切られる	ST46		
規 模	不整方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	4.4 × -		入 口
・ 主 軸	不明		
形 状			形状 石芯粘土竪
壁高cm	19		・ 備考 120 × - cm
状 態	不明		竪 備考
特記事項			

時代・時期 平安 調査位置 ARY4737

S B 157

検出位置	BG13	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる	ST56		1基 : P4
規 模	方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	5.8 × -		入 口
・ 主 軸	不明		
形 状			炉 形状
壁高cm	27		・ 備考 備考
状 態	ほぼ垂直		
特記事項			

土師器杯・甕・須恵器杯・織物石・土製紡錘車

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4820

S B 159

検出位置	BB12	覆 土	4 層
切 る	SB167	床 面	
合		主柱穴	4基 : P1~P4
切られる			
規 模	隅丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	10.2 × 9.6		入 口
・ 主 軸	N52° W		
形 状			炉 形状 石芯粘土竪
壁高cm	40		・ 備考 82 × 82cm
状 態	やや緩やか		
特記事項			

土師器杯・高杯・甕・須恵器蓋・杯・壺・砥石  
鉗・不明鉄製品

時代・時期 古墳後期初頭 調査位置 ARY4820

S B 161

検出位置	AW15	覆 土	6 層
切 る	SB160, 165, 167	床 面	
合		主柱穴	4基
切られる	SD41		
規 模	隅丸長方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	7.2 × 4.4		入 口
・ 主 軸	N52° E		
形 状			炉 形状 石芯粘土竪
壁高cm	47		・ 備考 210 × 210cm
状 態	やや緩やか		
特記事項			

土師器甕・須恵器蓋・杯・灰釉陶器片

時代・時期 平安 調査位置 ARY4820

S B 156

検出位置	BH05	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合		主柱穴	
切られる	別記		
規 模	(方形)	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	- × -		入 口
・ 主 軸	不明		
形 状			炉 形状 竪形状不明
壁高cm	31		・ 備考 140 × 110cm
状 態	緩やか		
特記事項			甕 備考

SB141, 142, ST34, 47, 48, SD37に切られる  
土師器杯・鉢・高杯・甕・須恵器杯・盤・壺

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4737

S B 158

検出位置	AV06	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる			
規 模	不明	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	- × -		入 口
・ 主 軸	不明		
形 状			炉 形状
壁高cm	-		・ 備考 備考
状 態	不明		
特記事項			

土師器杯・高杯・須恵器蓋・甕

時代・時期 不明 調査位置 ARY4820

S B 160

検出位置	AW13	覆 土	4 層
切 る	SB167	床 面	
合	SB161	主柱穴	4 ~ 6 基
切られる			
規 模	隅丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	6.0 × 4.0		入 口
・ 主 軸	N47° E		
形 状			炉 形状 石芯粘土竪
壁高cm	38		・ 備考 90 × 90cm
状 態	ほぼ垂直		
特記事項			

土師器甕・鐵製刀子

時代・時期 奈良 調査位置 ARY4820

S B 162

検出位置	AV20	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる	ST57, 58, 59, 60		
規 模	隅丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	6.0 × 6.0		入 口
・ 主 軸	N37° W		
形 状			炉 形状 粘土竪
壁高cm	30		・ 備考 110 × 100cm
状 態	ほぼ垂直		
特記事項			

土師器甕・甕・須恵器蓋・石製模造品・土製紡錘車

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4820

S B163

検出位置	BA20	覆 土	
切 台	切る	床 面	
切られる	ST53, 58	主柱穴	
プラン	少し歪んだ丸長方形	貯藏穴	
規模m	6.0×4.0	入 口	
主 軸	不明	炉 形状	
壁高cm	30	・規模	
状 態	ほぼ垂直	竈 備考	
特記事項	土師器杯・甕・瓶		

時代・時期 不明 調査位置 ARY4820

S B165

検出位置	BA14	覆 土	
切 台	SB167	床 面	
切られる	SB161, ST53	主柱穴 1基: P4	
プラン	隅丸長方形	貯藏穴	
規模m	5.2×(3.8)	入 口	
主 軸	N43° W	炉 形状	石芯粘土竈
壁高cm	48	・規模	130×90cm
状 態	ほぼ垂直	竈 備考	
特記事項	土師器長胴甕・須恵器蓋・敲打器		

時代・時期 奈良 調査位置 ARY4820

S B167

検出位置	AY13	覆 土	6層
切 台	切る	床 面	
切られる	SB159, 160, 161, 165	主柱穴	
プラン	不明	貯藏穴	
規模m	- × -	入 口	
主 軸	不明	炉 形状	
壁高cm	24	・規模	
状 態	ほぼ垂直	竈 備考	
特記事項	甕の底部		

時代・時期 弘生中期 調査位置 ARY4820

S B169 (第2図)

検出位置	BX20	覆 土	単層
切 台	切る	床 面	軟弱
切られる		主柱穴	4基
プラン	隅丸方形	貯藏穴	東隅のP8
規模m	600×-	入 口	
主 軸	N60° W	炉 形状	竈
壁高cm	31	・規模	240×110cm
状 態	緩やか	竈 備考	
特記事項	増改築あり(竈下に周溝2本検出)		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4946

S B164

検出位置	BE16	覆 土	
切 台	切る	床 面	
切られる	ST56	主柱穴	
プラン	隅丸長方形	貯藏穴	
規模m	4.8×4.0	入 口	
主 軸	不明	炉 形状	
壁高cm	20	・規模	
状 態	ほぼ垂直	竈 備考	
特記事項	土師器甕・甕・須恵器杯		

時代・時期 不明 調査位置 ARY4820

S B166

検出位置		覆 土	
切 台	切る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン		貯藏穴	
規模m		入 口	
主 軸		炉 形状	
壁高cm		・規模	
状 態		竈 備考	
特記事項	欠番		

時代・時期 奈良 調査位置 ARY4820

S B168 (第1図)

検出位置	BU11	覆 土	単層
切 台	切る	床 面	堅固
切られる	SB172, 171, SH13, SD43	主柱穴	2基
プラン	隅丸方形	貯藏穴	
規模m	- × -	入 口	
主 軸	N57° W	炉 形状	地床炉
壁高cm	80	・規模	75×48cm
状 態	ほぼ垂直	竈 備考	炉跡石あり
特記事項	土師器甕(穿孔のある甕あり)・小型丸底 鉄製平根鐵		

時代・時期 古墳前期 調査位置 ARY4946

S B170 (第2図)

検出位置	AD18	覆 土	単層
切 台	切る	床 面	部分的堅固
切られる	SD24	主柱穴	
プラン	不明	貯藏穴	
規模m	- × -	入 口	
主 軸	N12° E	炉 形状	炉 1基 石圓炉
壁高cm	-	・規模	105×100cm
状 態	やや緩やか	竈 備考	炉中に遺物あり
特記事項	深鉢1個正位で出土したが埋藏であるか不明		

時代・時期 桐文中期 調査位置 ARY4946

S B171 (第3図)

検出位置	BV10	覆 土	単層
切 る	SB172	床 面	軟弱
合	切られる SB168	主柱穴	1基
プラン	円形	住居内施設	貯藏穴
規模m	- × -	入 口	
・ 主軸	不明	炉	形状
壁高cm	21	規 模	
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項			

時代・時期 繩文中期 調査位置 ARY4946

S B173

検出位置	AH15	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる 小窓穴13	主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯藏穴
規模m	- × -	入 口	
・ 主軸	不明	炉	形状
壁高cm	-	規 模	
状 態	不明	窓	備考
特記事項	床面のみ検出	焼土あり	

時代・時期 繩文 調査位置 ARY4946

S B175

検出位置	AT38	覆 土	6層
切 る		床 面	明確でない
合	切られる	主柱穴	2基
プラン	不整形方	住居内施設	貯藏穴
規模m	5.5×-	入 口	南東壁下の穴か
・ 主軸	不明	炉	形状
壁高cm	30	規 模	
状 態	やや緩やか	窓	備考
特記事項	高杯・甕・壺、打製石斧・横刃型石斧		

時代・時期 弥生後期初頭 調査位置 ARY4741

S B177

検出位置	AN32	覆 土	褐色土
切 る	SB178	床 面	堅固
合	切られる	主柱穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯藏穴
規模m	3.8×-	入 口	
・ 主軸	不明	炉	形状
壁高cm	22	規 模	
状 態	ほぼ垂直	窓	中央部に焼土2ヶ所 備考
特記事項	土器師高杯・甕・壺・壺、須恵器甕・壺		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4741

S B172 (第3図)

検出位置	BT09	覆 土	単層
切 る		床 面	軟弱
合	切られる SB161, 171	主柱穴	
プラン	円形	住居内施設	貯藏穴
規模m	- × -	入 口	
・ 主軸	不明	炉	形状
壁高cm	40	規 模	
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項	周溝2本検出		

時代・時期 繩文中期 調査位置 ARY4946

S B174

検出位置	AF16	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯藏穴
規模m	- × -	入 口	
・ 主軸	不明	炉	形状
壁高cm	-	規 模	
状 態	不明	窓	備考
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 ARY4946

S B176

検出位置		覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
プラン		住居内施設	貯藏穴
規模m		入 口	
・ 主軸		炉	形状
壁高cm		規 模	
状 態		窓	備考
特記事項	欠番		

時代・時期 古墳後期 調査位置 調査位置

S B178

検出位置	AN34	覆 土	褐色土
切 る		床 面	非常に良好
合	切られる SB177, ST64	主柱穴	3基 : P1~P3
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯藏穴
規模m	5.0×-	入 口	ST64に切られる穴か
・ 主軸	N50° W	炉	形状
壁高cm	28	規 模	
状 態	ほぼ垂直	窓	備考
特記事項			

時代・時期 弥生後期初頭 調査位置 ARY4741

S B179

検出位置	AK34	覆 土	暗褐色土
切 る		床 面	良好
合	切られる	ST64, SD45	主柱穴 4基: P1~P4
規 模	プラン 囲丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	5.0×4.2		入 口
・ 主 軸	N155° E		形状 地床炉
形 状	壁高cm 35		規模 40×40cm
壁 態	ほぼ垂直		炉 焚き石を持つ
特記事項			備考 炉 焚き石を持つ
要・並			
時代・時期	弥生後期初頭	調査位置	ARY4741

S B181

検出位置	BT38	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
規 模	プラン 不整長方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	3.5×-		入 口
・ 主 軸	不明		形状
形 状	-		規模
壁 態	不 明		炉 焚き石を持つ
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARY4762

S B183

検出位置	AA11	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	-×-		入 口
・ 主 軸	不明		形状
形 状	-		規模
壁 態	不 明		炉 焚き石を持つ
特記事項	SD32と重複、プランのみ確認		
時代・時期	不明	調査位置	ARY4733

S B185

検出位置	AC06	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	8.0×-		入 口
・ 主 軸	不明		形状
形 状	-		規模
壁 態	不 明		炉 焚き石を持つ
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4733

S B180 (第3図)

検出位置	AE05	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	SA01, SD52, SD60	主柱穴
規 模	プラン 囲丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	3.4×(2.0)		入 口
・ 主 軸	N142° E		形状 炉
形 状	壁高cm 5		炉・規模 (45)×(40)cm
壁 態	緩やか		備考
特記事項			
時代・時期	弥生後期初頭	調査位置	ARY4764-1

S B182

検出位置	AD14	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	- × -		入 口
・ 主 軸	不明		形状
形 状	-		規模
壁 態	不 明		炉 焚き石を持つ
特記事項	SD32と重複 プランのみ確認		
時代・時期	不明	調査位置	ARY4733

S B184

検出位置	BT06	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	- × -		入 口
・ 主 軸	不明		形状
形 状	-		規模
壁 態	不 明		炉 焚き石を持つ
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4733

S B186

検出位置	BY07	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形	住居内施設	貯藏穴
規 模 m	4.1×-		入 口
・ 主 軸	不明		形状
形 状	-		規模
壁 態	不 明		炉 焚き石を持つ
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4733

S B187

検出位置	BU21	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模 ブラン	不明	住居内 貯蔵穴	
・ 形 状 構造	5.3×-	施設 入口	
壁 高 cm	-	炉 形状	
・		・ 規模	
状 態 不明		窓 備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 不明 調査位置 ARY4838-1

S B189

検出位置	BR17	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模 ブラン	不明	住居内 貯蔵穴	
・ 形 状 構造	-×-	施設 入口	
壁 高 cm	-	炉 形状	
・		・ 規模	
状 態 不明		窓 備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 不明 調査位置 ARY4838-1

S B188

検出位置	BT19	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	火葬墓3	主柱穴	
規 模 ブラン	(隅丸方形)	住居内 貯蔵穴	
・ 形 状 構造	(5.3) × -	施設 入口	
壁 高 cm	-	炉 形状	
・		・ 規模	
状 態 不明		窓 備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 不明 調査位置 ARY4838-1

S B190

検出位置	BP16	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模 ブラン	不明	住居内 貯蔵穴	
・ 形 状 構造	-×-	施設 入口	
壁 高 cm	-	炉 形状	
・		・ 規模	
状 態 不明		窓 備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 不明 調査位置 ARY4838-1

② 樹立柱建物址 (S.T.) (第3~4図、図版6)

遺構No.	圖面No.	調査位置	輪廓位置 (軒×架) m	間×前	柱間×間	柱間×断m	軒行方向	時代	重複関係	出土遺物	備考
ST01		ARY/44, 45	AV21 4.6×4.4	3×2	2.2~2.4	1.4~1.6	N44° E	弥生中期以降			
ST02		ARY/44, 45	BG43 —×—	(1×1)	0.8	1.2	N46° E				
ST03		ARY/44, 45	AV38 (3.1)×(2.9)	(1×1)	2.8	3.0	N33° W	古墳以降	SB14, 15, ST11を切り、ST04と重複	土器器小片	
ST04		ARY/44, 45	AY38 —×—	(1×1)	2.1	2.3	N67° E	古墳以降	SB14, 15, ST11を切り、ST04と重複		
ST05		ARY/44, 45	A011 9.7×6.0	4×3	1.6~2.0	2.0~2.6	N38° E	奈良	SB03, 54, ST06, 07を切り、SK02, 03と重複		
ST06		ARY/44, 45	AS14 9.2×5.5	4×3	1.8~2.2	2.0~2.6	N65° W	奈良	SB06, 09, ST05, 06, SK01, 02, 03を切る	新中島・古墳上土	
ST07		ARY/44, 45	AQ10 5×5.0	—×2	2.4~2.5	2.4~2.6	N40° W	奈良	SB02, 04, ST05, 06, SK01, 02, 03を切る		
ST08		ARY/44, 45	AN11 8.2×4.3	3×2	2.0~2.4	2.6~2.8	N65° W	奈良	ST06, 09を切り、SD24と重複		
ST09		ARY/44, 45	AT11 2.7×2.2	2×2	1.2~1.3	1.4~1.5	N30° E	奈良	ST06, 08を切り、ST15と重複	土器・須恵器小片	
ST10		ARY/44, 45	AM33 10.7×5.2	5×3	1.4~1.8	2.0~2.6	N45° E	奈良	SB11, 12, SD01を切り、ST15と重複		
ST11		ARY/44, 45	AX36 2.6×2.3	(1×1)	2.3	2.6	N54° W	奈良	SB15を切り、ST04に切られる		
ST12		ARY/44, 45	EG20 —×—	—×—	1.3	1.5	N33° W	奈良	SD26を切り		
ST13		ARY/44, 45	EC12 3.3×2.8	3×2	1.0~1.2	1.2~2.0	N29° W	奈良	SD15, 16に切られ、SB57と重複		
ST14		ARY/44, 45	EN24 3.3×2.8	3×2	1.3~1.4	1.0~1.1	N32° W	古墳期以前	SB21, SB06, 07に切られる		
ST15		ARY/44, 45	AO35 —×6.8	—×3	2.0~2.4	1.6~2.0	N52° W	奈良	SD02を切り、ST10, 18と重複		
ST16		ARY/44, 45	AB31 —×—	—×—	1.8	—	N46° E	奈良	SD20を切り		
ST17		ARY/44, 45	EQ19 4.0×3.5	(1×1)	3.5	4.1	N42° E	古墳以前	SD20に切られ、SD06と重複		
ST18		ARY/44, 45	AP31 9.2×5.9	4×3	1.8~2.2	2.0~3.0	N43° E	奈良	SB11, ST01, SD01, 02, SK02を切り、ST15と重複		
ST19		ARY/44, 45	AV28 (8.0)×4.0	(5×2)	1.5~2.6	1.2~2.4	N36° E	奈良	ST61に切られ、SD18と重複		
ST20										欠番	
ST21										欠番	
ST22										欠番	
ST23	第3図	ARY4624-2	BU25	10.0×—	5×—	1.9~2.0	2.0~2.2	N31° E	奈良		
ST24		ARY4442	AD22	11.5×6.0	5×3	1.8~2.0	1.4~2.0	N73° W	古墳末~奈良	SB72, 73, 76, 83, 84, 88, SD36を切る	
ST25		ARY4737	BW27	6.6×—	4×—	1.4~3.2	1.4~2.2	N24° W	古墳後期以降	SB105, 126を切り	
ST26		ARY4737	EY23	5.4×—	3×—	1.4~1.8	1.4~1.6	N38° W	古墳後期以降	SB80, 91, 92を切り	
ST27		ARY4737	BC08	—×—	—×—	1.6~2.0	N27° E		SB89, 90, 91を切り		
ST28		ARY4737	BN17	7.2×—	4×—	1.6~1.8	1.8~2.0	N42° W	古墳後期以降	ST32, 33と重複	
ST29		ARY4737	AJ14	—×—	—×—	1.6~1.8	1.8~2.0	N42° W	古墳後期以降	SB09, 110, 111を切り、SB96に切られる	
ST30		ARY4737	BR11	6.8×—	4×—	1.4~1.6	1.8~2.4	N28° E	古墳後期以降	SB105, 126を切り	
ST31		ARY4737	BR08	4.0×3.8	3×2	1.4~1.6	1.6~1.8	N39° W	古墳後期以降	SB122を切り	
ST32		ARY4737	BE07	5.6×4.4	3×2	1.6~1.8	1.8	N40° W	古墳後期以降	SB40, 141, 143を切り、ST17, 33と重複	
ST33		ARY4737	BB06	—×5.8	—×3	1.8~2.2	1.3~2.0	N50° W	古墳後期以降	SB140, 142を切り、ST27, 32と重複	
ST34		ARY4737	BE05	6.8×6.4	4×3	1.4~2.0	2.0~2.1	N35° W	平安前期	SB40, 141, 142を切り、ST38, 43と重複	
ST35		ARY4737	BE01	5.9×5.2	3×2	1.4~2.0	2.0~2.2	N35° W	平安前期	SB145, 147, 149, 152と重複	
ST36		ARY4737	BE01	6.6×—	4×—	1.4~1.5	1.6~1.7	N43° W	平安前期	SB46, 147, 149, 162を切り、ST735と重複	

通鑑No.	図No.	調査位置	船体位置	幅×奥	間×横	柱間	航行方向	時	重複関係	出土遺物	備考
ST37	ARY4377	E048	6.4×5.0	4×3	1.0~1.8	1.2~2.0	N44° E	SB139を切り、ST739, 40, 51, 52, 小窓穴9と重複			
ST38	ARY4377	EF05	6.4×5.0	4×2	1.4~1.6	2.9	N40° W	平安前期	SB140, 142, 146, 149を切り、ST734と重複		
ST39	ARY4377	BN01	4.0×3.7	2×2	1.6~1.8	1.6~2.0	N49° E	SB137, 40, 52と重複			
ST40	ARY4377	BM02	7.0×5.2	4×3	1.4~1.8	1.4~2.0	N86° W	古墳後期以降	SB138を切り、ST73, 38, 51, 小窓穴9, SD17, SA01と重複		
ST41	ARY4377	BM46	6.0×5.8	4×(3)	1.6~2.0	1.2~1.8	N50° W	古墳後期以降	SB152を切り、ST43, 44, SD37と重複		
ST42	ARY4377	BM46	5.4×4.8	4×3	1.3~1.4	1.4~1.8	N40° W	古墳後期以降	SB151, SD07, SA01と重複		
ST43	ARY4377	EG045	6.6×3.8	(4)×2	2.0~2.6	1.7~1.8	N37° W	古墳後期以降	SB152, 153を切り、ST41, 44, SD37と重複		
ST44	ARY4377	BH44	5.4×5.4	3×3	1.6~2.0	1.4~2.1	N40° W	古墳後期	SB152, 153を切り、ST41, 43, SD37と重複		
ST45	ARY4377	BI01	3.0×3.0	-×	1.2~1.6	1.2~1.4	N44° E	古墳後期	SB144を切り、SD37と重複		
ST46	ARY4377	EH02	5.0×3.0	(3)×2	1.6~1.8	1.3~1.6	N37° W	中世	SB141, 143, 144を切り、SB155に切られる(?)		
ST47	ARY4377	BI02	7.0×-	4×-	1.4~2.0	1.6	N83° W	古墳後期以降	SB142, 156を切り、ST48, SD37と重複		
ST48	ARY4377	BI05	4.4×4.0	(3)×2	1.2~1.6	1.6~2.3	N75° W	古墳後期以降	SB141, 142, 156を切り、ST34, 47, SD37と重複		
ST49	ARY4377	HM04	4.0×3.4	2×2	1.7~2.2	1.6~1.7	N77° W				
ST50	ARY4377	EG14	4.4×-	3×-	1.2~1.5	1.0~1.2	N47° W	中世	SB13, 114, SD37を切り		
ST51	ARY4377	BL00	-	-	1.8~2.2	1.6~2.2	N42° W	中世か	SB70, 42, 50, 小窓穴9, SD37, SA01と重複		
ST52	ARY4377	FM01	6.0×5.0	3×2	1.6~2.2	1.8~3.0	N1° E	古墳後期以降	SB138を切り、ST73, 38, 40, 51, 小窓穴9, SD17, SA01と重複	須要器蓋	
ST53	ARY4320	AY18	6.0×4.8	5×2	1.4~2.6	1.8~2.4	N42° E	奈良	SB163を切り		
ST54	ARY4320	AY26	4.0×3.4	2×(480)	1.5~1.7	1.3~1.6	N65° E	中世	SB156と重複		
ST55	ARY4320	HB24	5.0×5.0	3×2	1.8~2.6	2.0~4.6	N45° W	古墳以降	SB154を切り、ST57と重複		
ST56	ARY4320	HA20	9.4×6.0	3×2	1.3~2.4	1.8~2.4	N55° W	奈良	SB157, 164を切り		
ST57	ARY4320	HA22	8.8×5.6	3×2	2.0~3.0	2.2~2.4	N46° W	平安	SB162を切り、SB163に切られ、ST759と重複		
ST58	ARY4320	AV24	6.4×4.2	3×2	1.6~2.0	1.8~2.2	N46° W	奈良	SB162を切り		
ST59	ARY4320	AT20	8.0×4.8	3×2	1.9~3.0	1.8~2.2	N46° E	奈良	SB162を切り、ST57, ST760と重複		
ST60	ARY4320	AV22	5.6×4.4	2×2	2.1~2.5	1.7~2.0	N45° W	奈良	SB162を切り、ST58, 59と重複		
ST61	ARY4320	AT26	5.0×-	3×-	1.4~2.2	1.2~1.4	N46° E	不明	ST14と重複		
ST62	第3回	ARY4946	EV07	6.0×-	3×-	2.0	N39° E	奈良			
ST63		ARY4741・7142	AI32	4.6×-	3×-	-	1.3~1.4	N38° W	古墳末～奈良	SD16を切り	
ST64	ARY4741・7142	AM35	6.6×4.8	4×3	1.4~1.6	1.2~1.6	N55° E	古墳末～奈良	SB178, 179を切り		
ST65	ARY4762	BP45	-×4.4	-×	-	1.4~1.5	-	-			
ST66	第4回	ARY4767-7	AP47	(2.5)×(2.3)	-×	-	-	-			

③ 横列(SA)。柱列址(第4回)

通鑑No.	図No.	調査位置	船体位置	長さm	柱間m	方向	時	代	重複関係	出土遺物	備考
SA01	第4回	ARY4764-1	AF05	0.8~1.4	N86° W	奈良	SB180, SD55を切り				
柱列址		ARY4377	HK06	54	0.8~1.4	N86° W	奈良	SB103, 108, 144を切り、ST26, 40, 42, 51, 52と重複			

④ 土坑 (SK) (第4~5圖、図版7)

遺物No.	調査位置	検出位置	規模(長×幅×深)cm	形態	時代	重複	出土遺物	備考
SK01	ARY-/-/-/AS	AS11	80×80×-	円形	奈良以前			
SK02	ARY-/-/-/AS	AQ09	110×80×28	長方形	奈良以前	SK03を切り、ST06に切られる		
SK03	ARY-/-/-/AS	AQ09	(90×100×25)	椭円形	奈良以前	ST06、SK02に切られる		
SK04	ARY-/-/-/AS	AP08	80×75×31	円形	弥生中期以降	SB54を切る		
SK05	ARY-/-/-/AS	AS13	110×80×-	椭円形	弥生中期以降			
SK06	ARY-/-/-/AS	AN11	130×30×61	不定形	奈良以前	ST08に切られる		
SK07	ARY-/-/-/AS	AT12	90×60×40	椭円形	奈良以前	ST06に切られる		
SK08	ARY-/-/-/AS	AS15	130×90×57	椭円形	奈良以前	ST06に切られる		
SK09	ARY-/-/-/AS	AS13	100×70×34	不定形				
SK10	ARY-/-/-/AS	BL17	25×12×34	不明	奈良以前	ST10に切られる		
SK11	ARY-/-/-/AS	AT34	85×40×43	不明	奈良以前	ST10に切られる		
SK12	ARY-/-/-/AS	AR32	(70)×70×63	不明	奈良以前	SK14に切られる		
SK13	ARY-/-/-/AS	AQ36	110×(40)×30	不明	SK15を切る	SK14に切られる		
SK14	ARY-/-/-/AS	AQ36	110×110×40	円形	SK15を切る	SK14に切られる		
SK15	ARY-/-/-/AS	AQ36	(50)×70×12	不明				
SK16	ARY4737	BW03	140×-×44	(椭円)				
SK17	ARY4737	AA06	85×70×36	円形	SB133と重複			
SK18	ARY4737	AB08	120×110×27	不定形	古墳後期以降	SB133を切る		
SK19	ARY4737	BP07	180×160×19	円形				
SK20					久番			
SK21	ARY4946	AB15	190×-×-	不明	縄文前期			
SK22	ARY4741	AR39	250×120×60	不定形				
SK23	ARY4741	AR40	160×80×30	不定形				
SK24	第4回	ARY4764-1	AH04	202×(160)×33	馬頭丸長形	SD48と重複		
SK25	第4回	ARY4764-1	AF04	282×(269)×34	不定形			
SK26	第4回	ARY4764-1	AE06	98×88×40	円形			
SK27	第4回	ARY4764-7	BB00	167×(89)×33	椭円形			
SK28	第4回	ARY4762	BS42	260×278×130	円形			
SK29	第5回	ARY4762	BT41	210×188×81	椭円形			

⑤ 火葬墓

遺物No.	調査位置	検出位置	規模(長×幅×深)cm	形態	時代	重複	出土遺物	備考
火葬墓1	ARY4743	BW10	56×88×20	円形	中世	SB131、SD38を切る		
火葬墓2	ARY4743	BM09	75×75×-	円形	中世	SB131を切る		
火葬墓3	ARY4833	AA06	200×150×-	不定形				

⑤ 球石 (S 1) (第5図、図版7)

遺物No.	図No.	調査位置	検出位置	規模 (長×短×深) cm	形態	時代	重	出土遺物	備考
S101	AMD- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	AJ23	170×170×20	円形	弥生後期	SB26に切られる		秀生土器高杯	
S102	AMD- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	AK23	260×200×-	木蓋形	古墳後期以前			土師刷片、須恵器片	
S103	AMD- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	AM17	168×-×29	不明	古墳後期か				握り方らしき物あり
S104	ARY4377	BH16	140×120×-	不明	中世	SB10に切る			火葬器 握り方なし
S105	ARY4377	BS15	80×50×40	橢円形	中世	SD38に切る		基盤 握り方あり	
S106	ARY4377	BW13	80×70×44	橢円形	中世			基盤 握り方あり	
S107	ARY4377	BS120	110×90×35	不整円形		SB10, 103と重複			
S108	ARY4377	BR15	200×100×-	不明				握り方なし	
S109	ARY4377	BH45	170×110×24	橢円形	中世			火葬器 握り方あり	
S110	第5図	ARY4946	AC14	130×105×35	橢円形				火葬器 握り方あり
S111	第5図	ARY4946	AD12	130×98×34	橢円形				火葬器 握り方あり
S112	第5図	ARY4946	ET709	-×-×31	不明				火葬器 握り方あり
S113	第5図	ARY4946							火葬器 握り方あり

⑥ 小型穴 (第5図、図版7)

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模 (長×短×深) cm	形態	主柱洞	壁の状態	時代	重複関係	出土遺物	備考
小竪穴1	ARY- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	BQ24	(140)×100×20	不定形	やや緩やか	縄文早期末	小野六2と重複			網文土器底片、石鏡・焼刃型石器・特徴磨石	
小竪穴2	ARY- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	BQ24	140×90×30	不定形	ほぼ垂直	縄文早期末	小野六1と重複			網文土器片	
小竪穴3	ARY- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	BT26	100×80×30	長方形	やや垂直	縄文早期末				網文土器片、石鏡	
小竪穴4	ARY- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	BQ28	95×65×30	橢円形	やや緩やか	縄文早期末	SB23に切られる			網文土器片、石鏡・焼刃型石器	
小竪穴5	ARY- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	AL29	190×160×78	方形	やや緩やか	縄文早期末				網文土器片、石鏡	
小竪穴6	ARY- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	BY31	(160)×110×20	橢円形	やや緩やか	縄文早期末	SB21, 26に切られる			網文土器片、石鏡	
小竪穴7	ARY- <i>4</i> , <i>-5</i> , <i>-2</i>	BL22	(140)×(80)×110	橢円形	ほぼ垂直	縄文早期末				網文土器片、石鏡	
小竪穴8	ARY4377	BP22	370×200×37	方形	ほぼ垂直	古墳後期				土師器器口・高杯・甕、須恵器蓋・杯	
小竪穴9	ARY4377	BM49	-×155×21	不明	ほぼ垂直	茶	ST37, 40, 51, 52と重複			土師器器口・高杯・甕、須恵器蓋・杯	
小竪穴10	ARY4377	BE48	-×-×-	不明	古墳後期	SBM7, 10, 15, 52, ST53と重複				土師器器口・高杯・甕	
小竪穴11	ARY4820	AX06	-×2.9×10	不明	不明						
小竪穴12	ARY4946	AF19	-×-×-	不明	不明						
小竪穴13	ARY4946	AH15	270×-×-	不明	不明						
小竪穴14	第5図	ARY4946	BW09	280×270×21	楕丸形	継やか					
小竪穴15 第5図	ARY4824-2		200×(200)×-	楕丸形	不明	平安時代					
小竪穴16 第5図	ARY4833		288×-×13	楕丸形	継やか						

⑦ 方形扇窓 (SM)

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模 m	主軸	幅 cm	深 cm	断面形	主軸規格	主軸主軸	時代	重	複閑係	出土遺物	備考
SM01	ARY4422	D33	(9.2)×-	N30° W	90°~140	21~56	-	不明	生	SB55に切られる					
SM02	ARY4422	D33	(8.0)×-	N40° W	70~100	60~70	U字形	-	生	SB74, 78, 81, 87に切られ、SB86と重複	打柵石斧				

## ⑤ 漢跡 (SD)・漢状址 (第 6 ~ 9 図、図版 8)

遺物 No.		調査位置	検出位置	標本 名 (長×幅×高さ) (mm) (×小箱×小箱)	主 席	時 代	重複関係	出土 遺 物	備 考
SD01	ARY-4-2	AT36		(1.4) × 1.0 × 0.2 × 0.6 × 0.1	西側N68° E 東側N78° W	古墳	SD02を切り、ST10, 18, SK12 と重複		
SD02	ARY-4-2	AS34		(9.7) × 0.8 × 0.15 × 0.5 × 0.1	N55° W	古墳以前	ST15, 18, SD01に切られ、SK 15と重複		
SD03	ARY-4-2	BD38		(17.7) × 2.2 × 0.5 × 1.4 × 0.26	N53° W	古墳後期	SB10, 19, 50, 59を切り、SD18 に切られる	土師器壺・杯・高杯、勾 玉	
第 6 図	ARY4624-2	AJ08		(5.0) × 3.0 × - × 1.6 × -	N44° W	古墳後期	SB70を切る		
	ARY-4-2	AU37		(9.5) × 1.0 × 0.4 × 0.8 × 0.4	N48° W	古墳後期～奈良	SB14, 17を切る	土師器壺小片	
SD05	ARY-4-2	BT21		(30.0) × 0.8 × 0.1 × 0.3 × 0.04	N67° E	弥生中期以降	SB24を切り、SB30, ST16, SD 06と重複		
SD06	ARY-4-2	BM24		(26.0) × 0.8 × 0.3 × 0.5 × 0.05	北側N37° W 南側N10° W	弥生中期以降	SB22, ST14, 17を切り、SD07 に切られ、SD06と重複	土師器片	
SD07	ARY-4-2	BO20		(16.0) × 0.7 × 0.2 × 0.5 × 0.2	N67° W	古墳以前	SB21, ST14と重複		
SD08	ARY-4-2	BT44		(15.0) × 1.32 × 0.3 × 0.96 × 0.1	N46° W	平安後期以降	SB33を切る	弥生土器片・土師片	
第 7 図	ARY4624-2	BY28		(21.0) × 1.58 × 0.29 × 1.3 × 0.08	N50° W				
	ARY-4-2	BT46		(6.0) × 2.2 × 0.6 × 2.0 × 0.6	N38° W	奈良以前	SB33を切る		
SD09	ARY4624-2	AC30		(29.5) × 3.56 × 0.78 × 2.0 × 0.24	N58° W		土師器壺・須恵器杯・壺 須恵器壺・杯、円筒壺		
第 6 図	ARY4767-8	AU49		(37.6) × 2.44 × 0.74 × 2.00 × 0.38	N50° W				
	ARY-4-2	BO37		(3.7) × 0.5 × 0.12 × 0.28 × 0.12	N40° E		SD14と重複		
SD11	ARY-4-2	BO38		(5.8) × 1.0 × 0.3 × 0.8 × 0.17	N45° W		SD14と重複		
SD12	ARY-4-2	BN39		(5.7) × 1.2 × 0.19 × 0.8 × 0.13	西側N35° E 東側N50° W		SB41, SD22を切り、SB35と重 複		
SD13	ARY-4-2	BN42		(16.7) × 0.85 × 0.28 × 0.36 × 0.08	西側N50° E 東側N46° W	古墳後期以降	SB31, 32, SD22と重複		

遺構No	区段No	調査位置	検出位置	規模 m (長×幅×高さ) (×小面×大面)	主 帽	時 代	重 沢 関 係	出 土 考
SD14	ARY-4-2	BP39	(2.9) × 0.82 × 0.2	N44° W			SB31, SD11, 12と重複	
SD15	ARY-4-2	BA18	(23.4) × 3.9 × 0.15 × 1.2 × 0.1	N75° W	中世以降	SB66, SD16, 17, 21を切り、SB 57, ST13, 鋼鉄1と重複	弥生時代鐵・盃、土師器 甕・瓶、須恵器壺・輪、鉄製品 山茶陶皿・碗、鉄製品	
SD16	ARY-4-2	AY20	(21.8) × 0.6 × 0.3 × 0.3 × 0.14	N60° W	奈良以降中世以 前	ST13, SD17, 21を切り、SD16 に切られる		
SD17	ARY-4-2	BB19	(8.8) × 1.1 × 0.7 × 0.5 × 0.4	N86° E	奈良	SD15, 16を切る	土師器、須恵器片	
SD18	ARY-4-2	AU30	(38.0) × 1.5 × 0.6 × 0.9 × 0.3	西朝N51° E 東朝N30° W	古墳時代～奈良	SB28, 29, 50, SD03を切り、ST 19と重複	土師器、須恵器片	
SD19	ARY-4-2	AL31	(15.0) × 2.0 × 0.65 × 1.8 × 0.5	N45° W		SBL3, ST10を切りSD20と重複	須恵器杯・壺、円面鏡	
SD20	ARY-4-2	AF32	(12.0) × 0.66 × 0.2 × 0.46 × 0.1	N30° E		SD19と重複		
SD21	ARY-4-2	BC18	(6.5) × 0.5 × 0.1 × 0.16 × 0.04	N30° E		SD15, 16に切られる		
SD22	ARY-4-2	BL44	(11.0) × 0.56 × 0.70 × 0.18 × 0.07	N55° W		SB34, SD12, 15, 16に切られ、S B32, 35, SD13と重複		
SD23	ARY-4-2	AQ14	(5.0) × 0.66 × 0.19 × 0.34 × 0.07	N39° E	奈良以前	ST23に切られる		
SD24	ARY-4-2	AW13	(5.0) × 0.70 × 0.18 × 0.40 × 0.08	N57° E		ST08と重複		
SD25	ARY-4-2	AK10	(1.2) × 0.6 × 0.2 × 0.5 × 0.2	N45° W		SB53を切り、SB06に切られる		
SD26							欠番	
SD27	第6区	ARY4767-8	AP03	(2.70) × 1.10 × 0.12 × 0.47 × 0.04	N58° W			
SD28	第6区	ARY4767-8	AQ03	(2.75) × 1.30 × 0.27 × 1.10 × 0.13	N61° W			
SD29	第6区	ARY4767-8	AQ04	(3.45) × 1.65 × 0.25 × 1.38 × 0.14	N56° E			
SD30	第6区	ARY4767-8	AT48	(2.90) × 0.70 × 0.23 × 0.22 × 0.08	N56° W			

遺物No.	試験No.	調査位置	検出位置	規格(長×太幅×高さ) mm	主 軸	時 代	重複関係	出土 遺 物	備 考
SD31	第8図	ARY4833	AF05	8.9×0.6×0.15 ×0.58×0.06	N40° E				
SD32	第8図	ARY4833	AA12	(16)×0.75×0.31 ×0.50×0.06	N35° E				
SD33	第8図	ARY4833	AD04	(3.0)×1.42×0.27 ×0.62×0.10	N39° E				
SD34	第7図	ARY4824-2	AB29	(21.0)×0.96×0.21 ×0.68×0.15	N50° W				
SD35	ARY4742	AH30	(20.0)×1.0×0.4 ×0.5×0.2	北側N30° E 南側N58° W	中世	SB71, 80, 82を切る		天目系碗	
SD36	ARY4742	AD22	(23.0)×0.46×0.3 ×0.4×0.15	N70° W	古墳前期	SB81, 83, 84, ST24に切られる SB86と重複 SB88を切る			
SD37	第9図	ARY4737	B100	(52)×3.1×2.0 ×2.3×0.5	西側N52° W 東側N65° W	奈良	SB97, 101, 113, 114, 144, 150～ 153を切り SB29, 41～45, 47, 50, 51と重複	土師器杯・高杯・盤 須恵器蓋・杯・高杯・平板 鏡等は確認できず	AMD SD04に繋がる 東端付近の約50cm 上から馬下駄が出土。 土壇等は確認できず
SD38	ARY4737	BY12	(44)×2.5×0.44 ×1.1×0.12	西側N40° W 東側N51° W	中世	SB96, 100, 102, 106, 123, 129～ 135, 滑状社13, SK18を切り、SI 05, 火葬墓1, 2に切られる	弦生土器、土師器杯・壺・ 瓶・瓶・須恵器蓋・杯・ 鏡等		
SD39	ARY4737	BC03	(6.2)×(0.8)×0.4 ×0.6×0.3	N55° W	古墳後期			須恵器蓋	
SD40	ARY4820	AT11	(9.2)×2.2×0.8 ×0.8×0.12	N40° E				土師器杯・鉢・高杯・壺	
SD41	ARY4820	AV14	(8.0)×1.2×0.35 ×0.8×0.16	西側N35° E 東側N70° E		SB161を切る			
SD42	第6図	ARY4946	AD17	(18.0)×2.8×— ×1.8×—	N25° E			未調	
SD43	ARY4946	BY12	(16.5)×2.3×— ×1.5×—	N25° E				未調	
SD44	ARY4946	AC14	(8.6)×0.9×— ×0.6×—	N58° W				未調	
SD45	ARY4741	AK30	(5.0)×—×0.72 ×—×0.4	N64° W	古墳後期	SB179を切り、ST63に切られ る	土師器蓋		
SD46								欠番	

遺跡No.	図版No.	調査位置	検出位置	規模 m (長×幅×高さ) 〔小幅度×小深さ〕	主 帽	時 代	重複關係	出土遺物	備 考
SD47	ARY4741	A N33		(12.0) × 1.5 × 0.27 × 0.4 × 0.05	N43° W	古墳		土師器杯	
SD48 第6回	ARY4764-1	A H03		(2.0) × 0.6 × 0.13 × 0.45 × 0.06	N34° E		SK26と重複		
SD49 第6回	ARY4764-1	A B07		(4.85) × 0.4 × 0.16 × 0.15 × 0.02	N32° W		SD52を切る	銭貨	
SD50 第6回	ARY4764-1	A E06		(6.54) × 0.45 × 0.14 × 0.35 × 0.04	N30° W		SD52, SB180を切る	銭貨	
SD51 第6回	ARY4764-1	A D03		(4.15) × 1.9 × 0.49 × 1.8 × 0.36	N70° E			円筒埴輪	
SD52 第6回	ARY4764-1	A E05		(3.82) × (2.8) × 0.2 × 2.67 × 0.04	N53° E		SB180を切り、SA01, SK25に 切られる		
SD53	ARY4764-7	B D02		- × - × -	不明				
SD54	ARY4764-7	B D02		- × - × -	不明				
SD55	ARY4764-7	B D02		48.2 × 22.9 × 8.2	N18° E			炭化米	
SD56	ARY4764-1	A G04		(3.8) × 2.55 × - × 1.05 × -			SD48, 50を切る	自然流路	
SD57 第7回	ARY4824-2	B S34		(6.10) × 2.00 × 0.32 × 0.40 × 0.09	N45° E				
SD58 第7回	ARY4824-2	B Y28		(20.4) × 1.06 × 0.24 × 0.80 × 0.12	北側N50° W 南側N20° W				
耕作地1	ARY4737	B B11		(3.1) × 2.4 × 0.36	N51° W		SB57を切る		
耕作地2	ARY4737	B W04		4.2 × 0.8 × 0.2	N45° W	古墳後期	SK16と重複	土師器杯・壺	
耕作地3	ARY4737	A A08		4.6 × 1.0 × 0.4	N63° E	古墳後期	SB132を切る		
耕作地4	ARY4737	A C09		- × 0.8 × 0.4	N49° E	古墳後期	SB132を切る		
耕作地5	ARY4737	A B10		- × 0.9 × 0.3	N55° E	古墳後期	SB132を切る	土師器壺	

## 2) 薬師塙外地籍 (YKS) (附図2、第10~47図、図版9~45)

## ① 整穴住居 (S B) (第10~19・34・46図、図版12~24)

S B01 (第10図)

検出位置	BU45	覆 土
切 る	床 面	
合	切られる SB03, SB04	主柱穴
規 模	プラン 不明	住 居 入 口
形 状	規模m 4.8×4.4	貯 藏 穴
壁 高 cm	主 軸 N53° E	内 施 設
状 態	47	炉 形 状
特記事項	地床炉	地床炉
多量の土器、石器		
時代・時期	弥生後期	調査位置 YKS4674-1

S B03 (第10図)

検出位置	BT45	覆 土
切 る	SB01	床 面
合	切られる	主柱穴
規 模	プラン 不明	住 居 入 口
形 状	規模m - × -	貯 藏 穴
壁 高 cm	主 軸 不明	内 施 設
状 態	32	炉 形 状
特記事項		地床炉
須恵器杯		地床炉
時代・時期	古墳後期	調査位置 YKS4674-1

S B05 (第11図)

検出位置	AN30	覆 土
切 る	床 面	
合	切られる	主柱穴
規 模	プラン 四丸長方形か	住 居 入 口
形 状	規模m - × 3.3	貯 藏 穴
壁 高 cm	主 軸 不明	内 施 設
状 態	17	炉 形 状
特記事項	南・東隅に20×30cmの扁平石あり	
須恵器わずか		
時代・時期	古墳後期	調査位置 YKS4699-3

S B07 (第11図)

検出位置	AH34	覆 土
切 る	床 面	
合	切られる SK03	主柱穴
規 模	プラン 不明	住 居 入 口
形 状	規模m 4.8× -	貯 藏 穴
壁 高 cm	主 軸 N45° E	内 施 設
状 態	41	炉 形 状
特記事項		地床炉
土器高杯		地床炉
時代・時期	古墳後期	調査位置 YKS4699-3

S B02 (第10図)

検出位置	BP40	覆 土
切 る	床 面	
合	切られる SD05, SI01	主柱穴
規 模	プラン 不明	住 居 入 口
形 状	規模m 2.8×(1.5)	貯 藏 穴
壁 高 cm	主 軸 N55° E	内 施 設
状 態	29	炉 形 状
特記事項		地床炉
備考		地床炉
炉縁石を持つ		地床炉
特記事項		

時代・時期 弥生後期 調査位置 YKS4674-1

S B04 (第11図)

検出位置	BW44	覆 土
切 る	SB01, SD05	床 面
合	切られる	主柱穴
規 模	プラン 不明	住 居 入 口
形 状	規模m (5.7)×5.3	貯 藏 穴
壁 高 cm	主 軸 N54° E	内 施 設
状 態	19	炉 形 状
特記事項		地床炉
備考		地床炉
土器器、須恵器杯		
時代・時期	平安前半	調査位置 YKS4674-1

S B06 (第11図)

検出位置	AK29	覆 土
切 る	床 面	
合	切られる SB09	主柱穴
規 模	プラン 不明	住 居 入 口
形 状	規模m - × -	貯 藏 穴
壁 高 cm	主 軸 不明	内 施 設
状 態	-	炉 形 状
特記事項		地床炉
床のみ確認		
時代・時期	弥生中期	調査位置 YKS4699-3

S B08 (第12図)

検出位置	AL36	覆 土
切 る	床 面	
合	切られる SD08	主柱穴
規 模	プラン 不明	住 居 入 口
形 状	規模m (4.3)×(4.2)	貯 藏 穴
壁 高 cm	主 軸 N30° W	内 施 設
状 態	22	炉 形 状
特記事項		粘土竈
備考		80×90cm
支脚は石		
焼失（焼却）家屋		
時代・時期	古墳後期	調査位置 YKS4699-3

S B09 (第12図)

検出位置	AH28	覆 土	
切 る	SB06	床 面	
合			
切られる	集石土坑	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 設	貯蔵穴
・ 形 状	規 模 m - × -	入 口	
主 軸	不明	施 設	炉 形状
壁 高 cm	-		・ 横幅
状 態	不明		高さ
特記事項			備考

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4699-3

S B11

検出位置	BE10	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 設	貯蔵穴
・ 形 状	規 模 m - × -	入 口	
主 軸	不明	施 設	炉 形状
壁 高 cm	-		・ 横幅
状 態	不明		高さ
特記事項	プランのみ確認		備考

時代・時期 弥生後期 調査位置 YKS4687

S B13

検出位置	BB14	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形	住居 内 設	貯蔵穴
・ 形 状	規 模 m 4.7 × -	入 口	
主 軸	不明	施 設	炉 形状
壁 高 cm	-		・ 横幅
状 態	不明		高さ
特記事項	プランのみ確認		備考

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4687

S B15 (第13図)

検出位置	BH17	覆 土	
切 る	SB20, SK05	床 面	
合			
切られる	SB19	主柱穴	4基
規 模	プラン 囲丸方形	住居 内 設	貯蔵穴
・ 形 状	規 模 m 5.8 × 5.7	入 口	
主 軸	N50° W	施 設	炉 形状
壁 高 cm	80		・ 横幅
状 態	やや緩やか		高さ
特記事項	須恵器、土器類多い		備考

時代・時期 奈良 調査位置 YKS4687

S B10 (第12図)

検出位置	BU13	覆 土	
切 る		床 面	堅固
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 設	貯蔵穴
・ 形 状	規 模 m - × -	入 口	
主 軸	不明	施 設	炉 形状
壁 高 cm	26		・ 横幅
状 態	緩やか		高さ
特記事項			備考

時代・時期 弥生中期 調査位置 YKS4753-1

S B12 (第12図)

検出位置	BE13	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる	SK07, ST02	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形	住居 内 設	貯蔵穴
・ 形 状	規 模 m 2.2 × -	入 口	
主 軸	N118° E	施 設	炉 形状
壁 高 cm	28		石芯粘土竈
状 態	緩やか		130 × 100 cm
特記事項	周溝あり		南隅

時代・時期 平安前半 調査位置 YKS4687

S B14

検出位置	BB14	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン	住居 内 設	貯蔵穴
・ 形 状	規 模 m	入 口	
主 軸	不明	施 設	炉 形状
壁 高 cm	-		・ 横幅
状 態	不明		高さ
特記事項	プランのみ確認		備考

欠番

時代・時期

S B16 (第13図)

検出位置	BD19	覆 土	
切 る	SM02	床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 設	貯蔵穴
・ 形 状	規 模 m - × -	入 口	
主 軸	N43° W	施 設	炉 形状
壁 高 cm	-		石芯粘土竈
状 態	不明		・ 横幅
特記事項	プランのみ確認		高さ

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4687

## S B17 (第13図)

検出位置	BG19	覆 土	
切 る	SB19	床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	隅丸方形	貯藏穴	
・ 形 状	規模m 6.8×-	住居 入 口	
規 模	主 軸 N55° W	施設 炉 形状 石芯粘土竈	
・ 形 状	壁高cm -	規模 - × -	
状 態	不明	備考	
特記事項	プラン・竈の範囲のみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4687

## S B19

検出位置	BK18	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SB15, 17	主柱穴	
規 模	隅丸方形	貯藏穴	
・ 形 状	規模m 7.2×-	住居 入 口	
規 模	主 軸 不明	施設 炉 形状	
・ 形 状	壁高cm -	規模 -	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4687

## S B21 (第14図)

検出位置	BG21	覆 土	
切 る	SB25	床 面	
合 切られる		主柱穴 1基 : P1	
規 模	プラン 不明	貯藏穴	
・ 形 状	規模m - × -	住居 入 口	
規 模	主 軸 N40° W	施設 炉 形状 不明	
・ 形 状	壁高cm 57	規模 - × -	
状 態	やや緩やか	備考 北側に竈の痕跡	
特記事項	壁下15cm幅の周溝中に小穴点在		

須恵器片少量

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4746

## S B23 (第14図)

検出位置	BB17	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	ST03, SD12	主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯藏穴	
・ 形 状	規模m - × -	住居 入 口	
規 模	主 軸 N55° W	施設 炉 形状 不明	
・ 形 状	壁高cm 45	規模 - × -	
状 態	ほぼ垂直	備考 竈の袖の痕跡	
特記事項	細かな暗文のある丸底杯		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4746

## S B18

検出位置	BK15	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯藏穴	
・ 形 状	規模m - × -	住居 入 口	
規 模	主 軸 不明	施設 炉 形状	
・ 形 状	壁高cm -	規模 -	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4687

## S B20

検出位置	BF17	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SB15	主柱穴	
規 模	プラン 隅丸方形	貯藏穴	
・ 形 状	規模m 3.1×2.7	住居 入 口	
規 模	主 軸 不明	施設 炉 形状	
・ 形 状	壁高cm -	規模 -	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4687

## S B22 (第14図)

検出位置	BE16	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SB27, ST03	主柱穴 1基 : P2	
規 模	プラン 不明	貯藏穴	
・ 形 状	規模m - × -	住居 入 口	
規 模	主 軸 不明	施設 炉 形状	
・ 形 状	壁高cm -	規模 -	
状 態	不明	備考	
特記事項			

須恵器蓋・杯・甌

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4746

## S B24 (第14図)

検出位置	BE19	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SB27, SD12	主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯藏穴	
・ 形 状	規模m 3.4×2.7	住居 入 口	
規 模	主 軸 不明	施設 炉 形状	
・ 形 状	壁高cm 14	規模 -	
状 態	やや緩やか	備考	
特記事項			

土師器、須恵器

時代・時期 平安前半 調査位置 YKS4746

S B25 (第14図)

検出位置	BH20	覆 土	
切 る		床 面	貼り床あり
合		主柱穴	1基
切られる	SB21, SD12	貯藏穴	
規 模	プラン 四丸方形 規模m - × -	住居 内 施設	入 口
・ 形 状	主 軸 N56° W 壁高cm 30	炉	形状 不明
状 态	態 慢やか	炉	規模 - × -
特記事項	竈の本体は調査区外にかかる 須恵器少量	窓	備考 北西壁で確認
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4746

S B27 (第15図)

検出位置	BE18	覆 土	
切 る	SB22, 24	床 面	
合		主柱穴	
切られる		貯藏穴	
規 模	プラン 不明 規模m 2.8× -	住居 内 施設	入 口
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm 10	炉	形状
状 态	態 やや緩やか	炉	規模
特記事項		窓	備考
時代・時期	不明	調査位置	YKS4746

S B29

検出位置	BU36	覆 土	
切 る	ST05, SD13	床 面	
合		主柱穴	
切られる		貯藏穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居 内 施設	入 口
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -	炉	形状
状 态	不明	炉	規模
特記事項	貼り床のみ確認	窓	備考
時代・時期	中世	調査位置	YKS4754

S B31 (第15図)

検出位置	BS32	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる	SB32, ST05	貯藏穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居 内 施設	入 口
・ 形 状	主 軸 N47° W 壁高cm -	炉	形状 石芯粘土竈
状 态	不明	炉	規模 - × -
特記事項		窓	備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4754

S B26 (第15図)

検出位置	BD13	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる		貯藏穴	1基 : P1
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居 内 施設	入 口
・ 形 状	主 軸 N26° W 壁高cm -	炉	形状
状 态	不明	炉	規模
特記事項	貯藏穴に炭を確認 竈はその付近か 須恵器少	窓	備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4746

S B28 (第15図)

検出位置	BS41	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる	ST06	貯藏穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居 内 施設	入 口
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -	炉	形状
状 态	不明	炉	規模
特記事項	プランのみ確認	窓	備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4754

S B30 (第46図)

検出位置	AP08	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる		貯藏穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居 内 施設	入 口
・ 形 状	主 軸 N65° W 壁高cm -	炉	形状 竈
状 态	不明	炉	規模 85×80cm
特記事項	トレンチ調査確認のみ	窓	備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4684-1

S B32 (第15図)

検出位置	BT32	覆 土	
切 る		床 面	
合		主柱穴	
切られる	SB31	貯藏穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居 内 施設	入 口
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -	炉	形状
状 态	ほぼ垂直	炉	規模
特記事項	プランのみ確認	窓	備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4754

S B33 (第15図)

検出位置	AP05	覆 土	
切 る		床 面	
合		住居内施設	主柱穴
切られる			貯藏穴
プラン (円形)			入 口
規模m	4.1×-		
主 軸	不明		炉 形状
壁高cm	43		・規模
状 態	ほぼ垂直		窓 備考
特記事項			

時代・時期 中世 調査位置 YKS3450-1

S B35 (第16図)

検出位置	AM05	覆 土	
切 る	SB37	床 面	
合	切られる	住居内施設	主柱穴
切られる	SB36		貯藏穴
プラン	隅丸方形		入 口
規模m	2.0×-		
主 軸	N33° E		炉 形状
壁高cm	14		・規模
状 態	やや緩やか		窓 備考
特記事項			

時代・時期 中世 調査位置 YKS3450-1

S B37 (第16図)

検出位置	AL05	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	住居内施設	主柱穴
切られる	SB35		貯藏穴
プラン	隅丸方形		入 口
規模m	- × -		
主 軸	N45° W		炉 形状
壁高cm	31		・規模
状 態	ほぼ垂直		窓 備考
特記事項			

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS3450-1

S B39

検出位置	AT41	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	住居内施設	主柱穴
切られる			貯藏穴
プラン	不明		入 口
規模m	4.6×-		
主 軸	不明		炉 形状
壁高cm	- × -		・規模
状 態	不明		窓 備考
特記事項 確認のみ			

時代・時期 弥生後期 調査位置 YKS3545-5

S B34 (第16図)

検出位置	AH15	覆 土	
切 る		床 面	
合	切られる	住居内施設	主柱穴
切られる			貯藏穴
プラン	不明		入 口
規模m	- × -		
主 軸	不明		炉 形状
壁高cm	15		・規模
状 態	ほぼ垂直		窓 備考
特記事項 プランのみ確認			

時代・時期 弥生中期 調査位置 YKS3450-1

S B36 (第16図)

検出位置	AN06	覆 土	
切 る	SB35	床 面	
合	切られる	住居内施設	主柱穴
切られる			貯藏穴
プラン	不定形		入 口
規模m	- × -		
主 軸	不明		炉 形状
壁高cm	24		・規模
状 態	ほぼ垂直		窓 備考
特記事項			

時代・時期 中世 調査位置 YKS3450-1

S B38 (第16図)

検出位置	AI02	覆 土	
切 る	SD14	床 面	
合	切られる	住居内施設	主柱穴
切られる			貯藏穴
プラン	不明		入 口
規模m	- × -		
主 軸	不明		炉 形状
壁高cm	10		・規模
状 態	やや緩やか		窓 備考
特記事項			

時代・時期 不明 調査位置 YKS3450-1

S B40

検出位置	AX37	覆 土	
切 る	SB41	床 面	
合	切られる	住居内施設	主柱穴
切られる			貯藏穴
プラン	(長方形)		入 口
規模m	3.7×-		
主 軸	N33° W		炉 形状
壁高cm	- × -		・規模
状 態	不明		窓 備考
特記事項 確認のみ			

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS3454-5

S B41

検出位置	AY38	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SB40	主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居 内 貯藏穴 入 口	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm - × -	施 設 炉 形状 規 模	
状 態	不 明	竪	備考
特記事項	SM08と重複	プラン確認のみ	

時代・時期 不明 調査位置 YKS3545-5

S B43

検出位置	BB40	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居 内 貯藏穴 入 口	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm - × -	施 設 炉 形状 規 模	
状 態	不 明	竪	備考
特記事項	SM08と重複	プラン確認のみ	

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS3545-5

S B45 (第16図)

検出位置	AL14	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形 規模m 3.83×3.23	住居 内 貯藏穴 入 口	
・ 形 状	主 軸 N22° E	施 設 炉 形状 規 模	
壁高cm	8	竪	備考
状 態	やや緩やか		
特記事項	土器類、瓦当1点(混入か)		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4733

S B47 (第17図)

検出位置	AL10	覆 土	
切 る	SK17	床 面	
合 切られる	SB46, SI10	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形 規模m 5.3×4.8	住居 内 貯藏穴 入 口	
・ 形 状	主 軸 N36° E 壁高cm 35	施 設 炉 形状 規 模	
状 態	やや緩やか	竪	備考
特記事項	九底杯(内外面にヘラ磨き)		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4733

S B42

検出位置	BE43	覆 土	
切 る		床 面	堅固
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m 5.6×-	住居 内 貯藏穴 入 口	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm 20	施 設 炉 形状 規 模	
状 態	不 明	竪	備考
特記事項	SM08と重複	トレンチ確認のみ	

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS3545-5

S B44

検出位置	AH49	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	ST01, 24	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形 規模m 4.5×-	住居 内 貯藏穴 入 口	
・ 形 状	主 軸 N55° W 壁高cm 26	施 設 炉 形状 規 模	
状 態	やや緩やか	竪	北西壁 備考
特記事項	焼失(焼却)家屋		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4758

S B46 (第16図)

検出位置	AL12	覆 土	
切 る	SB47	床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形 規模m 2.67×2.37	住居 内 貯藏穴 入 口	
・ 形 状	主 軸 N33° E 壁高cm 18	施 設 炉 形状 規 模	
状 態	やや緩やか	竪	備考
特記事項			

時代・時期 不明 調査位置 YKS4733

S B48 (第17図)

検出位置	AE14	覆 土	
切 る	SB52, 53	床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形 規模m 5.0×-	住居 内 貯藏穴 入 口	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm 5	施 設 炉 形状 規 模	
状 態	不 明	竪	備考
特記事項	壁下に深さ1.5cmの周溝を40cm程確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4733

S B49 (第17図)

検出位置	AII15	覆 土	
切 る	SB53, SK31	床 面	
合 切られる	ST12	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形 規模m 5.2×4.65	住 居 内 貯藏穴	
・ 形 状	主 軸 N40° E 壁高cm 22	入 口	
	炉 灼	形状 粘土竈 規模 95×90cm	
	施 設		
	電 竈	備考	

特記事項

須恵器

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4733

S B51 (第17図)

検出位置	AJ08	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住 居 内 貯藏穴	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -	入 口	
	炉 灼	形状 不明 規模 86× - cm	
	施 設		
	電 竈	備考	

特記事項 炉のみ確認

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4733

S B53 (第18図)

検出位置	AG14	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SB48, 49, ST13	主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住 居 内 貯藏穴	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -	入 口	
	炉 灼	形状	
	施 設	規模	
	電 竈	備考	

特記事項

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4733

S B55

検出位置	AD12	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住 居 内 貯藏穴	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -	入 口	
	炉 灼	形状 不明 規模 - × -	
	施 設		
	電 竈	備考	

特記事項 竈のみ確認

土師器わずか

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4700-1

S B50 (第17図)

検出位置	AH18	覆 土	
切 る	SM05	床 面	
合 切られる	SK24, 25, 26, 27, 30	主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m 5.9× -	住 居 内 貯藏穴	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -	入 口	
	炉 灼	形状	
	施 設	規模	
	電 竈	備考	

特記事項

時代・時期 古墳 調査位置 YKS4733

S B52 (第17図)

検出位置	AE16	覆 土	
切 る	SM05	床 面	
合 切られる	SB48	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形 規模m 2.57× -	住 居 内 貯藏穴	
・ 形 状	主 軸 N20° E 壁高cm 50	入 口	
	炉 灼	形状	
	施 設	規模	
	電 竈	備考	

特記事項

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4733

S B54

検出位置	BY14	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる	SD34	主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m 6.9× -	住 居 内 貯藏穴	
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -	入 口	
	炉 灼	形状	
	施 設	規模	
	電 竈	備考	

特記事項

時代・時期 不明 調査位置 YKS4700-1

S B56 (第18図)

検出位置	BT26	覆 土	
切 る		床 面	
合 切られる		主柱穴 2基	
規 模	プラン 囲丸方形 規模m 3.7× -	住 居 内 貯藏穴	
・ 形 状	主 軸 N33° E 壁高cm 18	入 口	
	炉 灼	形状	
	施 設	規模	
	電 竈	備考	

特記事項

土師器、須恵器蓋

時代・時期 古墳最終末 調査位置 YKS4755

S B57 (第18図)

検出位置	AM37	覆 土	
切 る		床 面	堅固で平坦
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 四丸方形 規模m 4.85×-	住居内施設	貯蔵穴 入 口
・ 形 状	主 軸 N27° E 壁高cm 30		形 状 炉・規模
状 态	やや緩やか		電 備考
特記事項	土師器、須恵器、灰釉陶器、鉄器		
時代・時期	平安後半	調査位置	YKS4755

S B59 (第18図)

検出位置	BS30	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明 規模m - × -	住居内施設	貯蔵穴 入 口
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm -		形 状 炉・規模
状 态	不明		電 備考
特記事項	SB32と重複		
時代・時期	弥生中期	調査位置	YKS4755

S B61

検出位置	AA42	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる	ST08	主柱穴	
規 模	プラン 四丸方形 規模m 5.2×5.0	住居内施設	貯蔵穴 入 口
・ 形 状	主 軸 N43° W 壁高cm -		形 状 炉・規模
状 态	不明		電 備考
特記事項	焼失(焼却) 家屋		北西壁中央に焼土
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4758

S B63

検出位置		覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 四丸方形 規模m	住居内施設	貯蔵穴 入 口
・ 形 状	主 軸 N45° W 壁高cm		形 状 炉・規模
状 态	やや緩やか		電 備考
特記事項	欠番		
時代・時期		調査位置	

S B58 (第18図)

検出位置	BX32	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 四丸方形 規模m 4.85×4.23	住居内施設	貯蔵穴 入 口
・ 形 状	主 軸 N55° W 壁高cm 30		形 状 炉・規模
状 态	やや緩やか		電 備考
特記事項	土師器、須恵器		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4755

S B60 (第18図)

検出位置	BU32	覆 土	
切 る	SB32	床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 四丸方形 規模m 4.2×(2.0)	住居内施設	貯蔵穴 入 口
・ 形 状	主 軸 N48° E 壁高cm -		形 状 炉・規模
状 态	不明		電 備考
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	YKS4755

S B62 (第19図)

検出位置	AV62	覆 土	
切 る	SD36	床 面	
合			
切られる	SD34	主柱穴	
規 模	プラン 四丸方形 規模m 6.2×-	住居内施設	貯蔵穴 入 口
・ 形 状	主 軸 不明 壁高cm 32		形 状 炉・規模
状 态	やや緩やか		電 備考
特記事項	須恵器ごく少量		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1

S B64 (第19図)

検出位置	AY42	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる	SD36, ST22, 23	主柱穴	
規 模	プラン 四丸方形 規模m 6.6×6.6	住居内施設	貯蔵穴 入 口
・ 形 状	主 軸 N45° W 壁高cm 23		形 状 炉・規模
状 态	やや緩やか		電 備考
特記事項	須恵器少量		北西壁下に焼土
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1

S B65 (第19図)

検出位置	AX39	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる	SD34	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m - × -		入 口
壁高cm	主 軸 不明		
	35	炉 形状	
状 態	壁高cm 35	・ 規模	
	ほぼ垂直	窓	
特記事項		備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4693-1

S B67

検出位置	BC47	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 4.76 × -		入 口
壁高cm	主 軸 不明		
	-	炉 形状	
状 態	壁高cm -	・ 規模	
	不明	窓	
特記事項		備考	

土師器、須恵器少量

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4693-1

S B69

検出位置	BW03	覆 土	
切 る		床 面	堅固で平坦
合			
切られる	SB70, ST09, SD33	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m - × -		入 口
壁高cm	主 軸 不明		
	80	炉 形状	
状 態	壁高cm 80	・ 規模	
	やや緩やか	窓	
特記事項		備考	

時代・時期 古墳 調査位置 YKS4693-1

S B71

検出位置	BC42	覆 土	
切 る	SD36	床 面	
合			
切られる	ST20	主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m (8.4) × -		入 口
壁高cm	主 軸 不明		
	25	炉 形状	
状 態	壁高cm 25	・ 規模	
	緩やか	窓	
特記事項	トレンチ確認のみ		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4693-1

S B66

検出位置	BB48	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 5.5 × -		入 口
壁高cm	主 軸 不明		
	-	炉 形状	
状 態	壁高cm -	・ 規模	
	不明	窓	
特記事項	プラン確認のみ		

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4693-1

S B68 (第19図)

検出位置	AQ02	覆 土	
切 る		床 面	軟弱 凹凸あり
合			
切られる	SD33, SK40	主柱穴	
規 模	プラン 囲丸方形か	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m - × -		入 口
壁高cm	主 軸 不明		
	-	炉 形状	
状 態	壁高cm 30	・ 規模	
	やや緩やか	窓	
特記事項		備考	

時代・時期 古墳後期 調査位置 YKS4693-1

S B70

検出位置	AX01	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	住居 内 施設	貯藏穴
・ 形 状	規模m 4.65 × -		入 口
壁高cm	主 軸 不明		
	-	炉 形状	
状 態	壁高cm -	・ 規模	
	やや緩やか	窓	
特記事項		備考	

時代・時期 不明 調査位置 YKS4693-1

② 標立柱遺物址 (S-T) (第20~27・46図、図版25~34)

遺物No.	図No.	調査位置	柱頭位置	柱径 (mm)	間×横	柱頭断面	柱頭断面	断行方向	時 代	重複関係	出土遺物	備考
ST01	第20図	YKSA753-1	AB48	8.4×6.3	4×3 (絶柱)	2.1	2.1	N42° E	奈良	SB44、SD32を切る		ST24の邊で替え
ST02	第21図	YKSA687	BF13	6.0×5.8	5×5	0.8~1.8	1.0~1.2	N52° E	奈良	SB15を切る		
ST03	第21図	YKSA746	BC15	7.2×6.0	4×3 (絶柱)	2.2~2.3	1.8	N36° E	奈良	SB22、23、26を切り、SD12に切られる		
ST04	第22図	YKSA746	BF12	—	—×	—	—	N30° E	奈良	SB31、32、60を切り、SB29に切られる		
ST05	第22図	YKSA754	BS36	7.8×5.7	4×3	1.7~2.1	1.7~2.0	N62° W	奈良	SB28を切る		
ST06	第22図	YKSA754	BP40	—×5.6	—×3	1.8	2.1	N62° W	奈良	SB15、SD38と重複		布團
ST07	第23図	YKSA755	BW28	—×5.8	—×3	1.8~1.9	1.7~1.9	N62° W	奈良	SB45を切る		
ST08	第23図	YKSA756	AC41	4.2×4.2	(3)×3	1.3~1.5	1.2~1.7	N46° E	奈良	SB45を切る		
ST09	第23図	YKSA758	BY45	4.1×4.1	3×3	1.5~1.7	1.3~1.7	N50° E	奈良	SD32を切る		
ST10	第24図	YKSA753-1	BX10	4.0×3.7	3×3	0.8~1.4	1.7	N25° E	奈良	SB61を切る		
ST11	第24図	YKSA354-5	BG09	7.0×—	4×—	1.8~2.0	不明	N37° E	奈良	成化米	礫石遺物	
ST12	第24図	YKSA733	AH14	4.0×3.7	3×3	1.3~1.4	1.4~1.5	N46° W	奈良	SB49、53を切る		
ST13	第24図	YKSA746	BA14	—×—	3×—	1.8	1.8	N62° W	奈良	礫石遺物		
ST14	第26図	YKSA684-1	AN10	2.6×(—)	—×—	不明	不明	N55° W	奈良	礫石が2個		
ST15	第26図	YKSA755	BX28	—×—	—×—	不明	1.8	N66° W	奈良	ST107と重複		
ST16	第25図	YKSA689-1	AS49	3.7×3.4	2×2	1.7	1.7~2.0	N29° E	古墳	SK39に切られ、ST17と重複		
ST17	第25図	YKSA689-1	AV01	8.8×4.4	4×3	不明	1.7~3.4	N53° W	古墳	ST16、18、19と重複		
ST18	第25図	YKSA689-1	AU46	4.6×3.8	3×1	0.8~—	—~2.6	N59° W	古墳	SD39を切り、SK44に切られ、ST19と重複		
ST19	第26図	YKSA689-1	AU48	5.2×3.6	3×3	1.1~1.5	1.6~1.9	N60° W	古墳	SD39を切り、SK44に切られ、ST18と重複		
ST20	第26図	YKSA689-1	BB40	3.7×2.6	2×2	1.4	1.5~2.0	N50° W	中世	SB15を切る		
ST21	第26図	YKSA689-1	BB44	5.3×4.0	2×1	3.9	2.3~3.0	N13° W	奈良・平安	SB54、ST22、SU08と重複		
ST22	第27図	YKSA689-1	AX42	5.3×3.8	3×1	不明	N50° W	古墳	SB64、ST21、23と重複			
ST23	第27図	YKSA689-1	AX42	6.6×3.5	—×—	3.4	1.3~2.5	N50° W	古墳	SB64、ST21、22、SU07と重複		
ST24	第28図	YKSA753-1	AB48	9.5×—	4×2	2.3~2.4	2.3~2.4	N45° E	奈良	SB44、SD32を切る		SD10の邊で替える

③ 標列 (S-A) (第46図)

遺物No.	図No.	調査位置	柱頭位置	長さm	柱頭m	本数	方 向	時 代	重複関係	出土遺物	備考
SA01	第46図	YKSA754	BQ36	8.0	0.8~1.2	7	N7° E	ST05と重複			

④ 土坑 (SK) (第28~33図、図版34~37)

遺物No.	図面No.	検出位置	調査位置	規模(長×幅×深)cm	形態	時代	重 量	地	出土 遺 物	備 考
SK01	第28図	BR37	YKS4674-1	118×75×40	不明	SB07を切る				
SK02	第28図	AJ34	YKS4699-3	180×80×44	横円形	古墳後期				土師器、須恵器
SK03	第28図	AG34	YKS4699-3	130×(90)×(14)	不明	SB07を切る				
SK04	第28図	BY08	YKS4753-1	195×85×119	円形	中世				中世の陶磁器
SK05	第28図	BF16	YKS4687	- × 150 × -	不明	SB16に切られる				
SK06	第28図	BD17	YKS4687	130×85×18	方形					
SK07	第28図	BG15	YKS4687	- × 210 × 16	不明	SB12を切る				
SK08	第29図	BC14	YKS4687	240×65×40	不定形					
SK09	第29図	AK01	YKS4690-1	135 × - × 44	横円形					
SK10	第29図	AM02	YKS4690-1	167 × 67 × 32	円形	SD17を切る				
SK11	第29図	AS44	YKS5545-5	180 × 150 × -	方形	SD20を切る				
SK12		AL07	YKS5545-5	- × 80 × -	不明					
SK13		AL07	YKS5545-5	- × - × -	不明					
SK14	第29図	A146	YKS4758	144 × 120 × 21	横円形					
SK15	第29図	AJ47	YKS4758	117 × - × 18	不整形					
SK16	第29図	AH48	YKS4758	190 × - × 82	不整形					
SK17	第29図	AM11	YKS4733	145 × - × 42	不明	SB47に切られる				
SK18	第29図	AE17	YKS4733	160 × 150 × 24	不定形					
SK19	第30図	AF18	YKS4733	122 × 105 × 25	横円形					
SK20	第30図	AD16	YKS4733	95 × 85 × 22	円形					
SK21										
SK22										
SK23	第30図	AE17	YKS4733	123 × 104 × 22	横円形					
SK24	第30図	AH18	YKS4733	80 × 68 × 16	横円形	SB50を切る				
SK25	第30図	AG16	YKS4733	140 × 40 × 33	円形	SB50, SK30を切る				
SK26	第30図	AG17	YKS4733	(95) × 55 × 42	横円形	SB50, SM05を切る				
SK27	第30図	AG18	YKS4733	340 × 35 × 67	不定形	SB50, SM05を切る				
SK28	第30図	AF19	YKS4733	75 × 75 × 45	円形	SM05と重複				
SK29	第30図	A117	YKS4733	158 × 80 × 36	横円形	SD40と重複				
SK30	第30図	AG16	YKS4733	115 × 77 × 34	横円形	SK25に切られる				
SK31	第30図	AJ13	YKS4733	- × 105 × 37	不定形	SB49と重複				
SK32	第30図	AJ12	YKS4733	120 × 97 × 33	横円形					
SK33	第31図	A112	YKS4733	113 × 80 × 30	横円形					
SK34	第31図	A111	YKS4733	110 × 86 × 31	横円形					

遺構No.	図No.	検出位置	調査位置	規模(長×幅×奥)cm	形態	時代	重複	出土遺物	備考
SK35	第31図	AH11	YKS4733	- × 115 × 16	円形				
SK36	第31図	A112	YKS4733	76 × 72 × 18	円形				
SK37	第31図	AQ00	YKS4693-1	126 × 14 × 33	楕円形	古墳			
SK38	第31図	AR49	YKS4693-1	(282) × 260 × 115	円形	奈良・平安			
SK39	第32図	AT01	YKS4693-1	282 × 240 × 94	楕円形	奈良・平安	ST16を切る		
SK40	第32図	AQ01	YKS4693-1	(202) × 310 × 160	楕円形	奈良・平安	SB68と重複		
SK41	第31図	AW42	YKS4693-1	152 × 124 × 44	楕円形	奈良・平安			
SK42	第31図	AY40	YKS4693-1	110 × 92) × 8	楕円形	中世			
SK43	第32図	AX45	YKS4693-1	132 × 19 × 54	楕円形	古墳			
SK44	第33図	AV48	YKS4693-1	306 × 275 × 175	円形	奈良・平安	ST17, 18, 19を切る		
SK45	第33図	BX48	YKS4733	358 × - × 133	不明	平安			
SK46	第33図	AB10	YKS4733	- × - × -	不明				
SK47	第33図	A148	YKS4738	67 × 44 × 9	楕円形				

⑤ 集石(S-1)。集石土坑: (第34・46図、図版38)

遺構No.	図No.	検出位置	調査位置	規模(長×幅×奥)cm	形態	時代	重複	出土遺物	備考
S101	第34図	BN42	YKS4674-1	150 × 140 × 20			SE02を切る		
S102		AR46	YKS5545-1	290 × - × -	不明				穴番
S103									集石のみ
S104	第34図	AQ03	YKS4693-1	107 × 10 × -					
S105	第34図	AR03	YKS4693-1	(129) × - × 26			SD33に切られる		
S106	第34図	AX41	YKS4693-1	136 × 122 × 47					集石のみ
S107	第34図	BA44	YKS4693-1	45 × 35 × -					2穴
S108	第34図	BA46	YKS4693-1	207 × 160 × 33					集石のみ
S109	第34図	AU04	YKS4693-1	155 × 123 × -					
S110	第34図	AL10	YKS4733	152 × 84 × 19	楕円形	奈良・平安			
集石土坑	第46図	AH28	YKS4698-3	124 × - × -	楕円形		SE09を切る		

⑥ 小堅穴(第46図)

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模(長×幅×奥)cm	形態	主軸方向	壁の状態	出土遺物	重複関係	時代	備考
小堅穴1	第46図	YKS4758	AH49	170 × 130 × 13	不定形	NW-E	やや緩やか		SD1と重複		
小堅穴2	第46図	YKS4674-1	AD47	142 × - × -	楕円形	不明	不明		SD6と重複		

⑦ 方形周溝墓 (SM) (第44・45図、図版45)

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模 m (長×幅×深)	主軸	幅 cm	断面形	主体部状況	主軸部状況	重複関係	出土遺物	備考
SM01	第35図	YKS4687	BT21	-×-	不明	65	不明	不明	不明	SD16に切られる		一部アラカンのみ
SM02	第35図	YKS4687	BB16	-×-	不明	75~93	不明	不明	不明	SD16に切られる		一部アラカンのみ
SM03	第35図	YKS4700-1	BY18	-×-	不明	不明	不明	不明	不明	SD16に切られる		
SM04	第44図	YKS4700-1	AC03	-×-	不明	不明	不明	不明	不明	SD33に切られる		
SM05	第44図	YKS4733	AC08	-×-	不明	不明	不明	不明	不明	SD50, 52, SK26, 27, 28に切られる		
SM06	第44図	YKS4753-1	BS28	-×-	不明	不明	不明	不明	不明	SD16に切られる		
SM07	第45図	YKS4753-1	EX11	-×-	N30°W	92~170	32	逆台形	1.96×1.3	SD19, SD23から変更		
SM08	第44図	YKS3454-5	BA38	10.2×-	不明	90~100	75	逆台形	不明	SD41, 42, 43と重複		SD19, SD23から変更

⑧ 渾址 (SD) (第35~42図、図版40~45)

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模 m (長×幅×深)	主軸	幅 cm	断面形	代	時代	重複関係	出土遺物	備考
SD01	第35図	YKS4674-1	AG44	-×-×-×-	不明	N67°E	古墳後期～奈良					
SD02	第35図	YKS4674-1	AG46	-×-×-×-	不明	N67°E	古墳後期～奈良					
SD03	第35図	YKS4674-1	AH45	-×1.3×0.46	-×1.1×0.51	N67°E	古墳後期～奈良	SD06を切り、SD07と重複				
SD04	第35図	YKS4674-1	AF46	-×1.7×0.46	-×1.1×0.06	N42°E	古墳後期～奈良					
SD05	第35図	YKS4674-1	AF46	-×1.95×0.41	N50°E	平安後期	SH02を切り、SB04に切られ、 SD07と重複					
SD06	第35図	YKS4674-1	AC49	-×1.7×0.78	-×2.9×1.29	N78°W	中世					
SD07	第35図	YKS4674-1	AA41	-×1.7×0.78	-×2.9×1.29	N18°E	平安中期～後期	SK11に切られ、SD03, 05と重複				
SD08	第37図	YKS4699-3	AI25	-×-×-×-	不明	N78°W	中世	SH08を切る				SM07に変更 欠番
SD09	第36図	YKS4753-1	BV06	(18)×15.7×1.35	(18)×12×0.71	N0°W	平安～中世					
SD10	第37図	YKS4753-1	BM19	-×3.2×0.75	-×0.0×0.70	N60°W	奈良～平安					
SD11	第38図	YKS4687	BD18	(19)×0.5×0.14	(19)×0.16×0.03	N30°E	中世	SD23, SD03を切る				
SD12	第38図	YKS4746	BV37	-×4.9×	-×(2.4)×	N22°W	奈良	SD28, ST06に切られる				SD15, 16, 34と同じ構造
SD13	第38図	YKS4746	AK02	-×(1.5)×	-×(1.5)×	N55°W	中世	B38に切られる				SD36と同じ構造
SD14	第40図	YKS3450-1	AJ49	3.6×0.67×-	N155°E	奈良～平安						SD11, 16, 34と同じ構造
SD15	第40図	YKS3450-1	AS49	25.3×3.3×0.96	25.3×2.5×0.68	N142°E	奈良～平安	SD22に切られ、SD28, 30と重複				SD11, 15, 34と同じ構造
SD16	第39図	YKS3545-5	AS49									

遺物No.	図面No.	明細位置	検出位置	幅(長×大幅×小幅×小深)	主軸	時代	重複関係	出土遺物	備考
SD17 第41図	YKS3545-5	AR44	-X3.2×1.1	N25° E			SK11に切られる		SD20と同じ構か
SD18	YKS3545-5	AW25	(3.3)×0.3×-	N19° W					SD23と同じ構 SM08に変更
SD19	YKS3545-5	BA38	-X1.0×0.75	N62° W	発生		SB41, 42, 43に切られる		SD17と同じ構か
SD20 第41図	YKS3545-5	BH46	-X3.9×1.0	N170° E					SD16と同じ構
SD21 第41図	YKS3545-5	BN42	-X3.2×0.9	N140° E					SD23と同じ構 SM08に変更
SD22 第39図	YKS3545-5	BN08	-X5.5×1.4	N45° E			SD16を切る		SD16と同じ構
SD23	YKS3545-5	BI06	-X0.9×-	N65° W	発生				SD16と同じ構
SD24 第41図	YKS3545-5	BO06	-X-X-1.7	N145° E					SD16と同じ構
SD25	YKS3545-5	BI10	-X-X-(1.9)	不明			SD16と同じ構		
SD26	YKS3545-5	BK08	-X-X-0.8	不明					SK12に切られる
SD27	YKS3545-5	BC06	-X-X-0.41	不明					SD16, 28と重複
SD28	YKS3545-5	BH06	-X1.8×-	N29° E					SD27, 29と重複
SD29	YKS3545-5	BJ06	-X-X-1.1	不明					SD16, 28と重複
SD30 第39図	YKS3545-5	AR48	-X-X-	N39° E			SD16と同じ構		
SD31	YKS4758	AC00	-X-X-	不明			平安～中世		SD10と同じ構
SD32 第41図	YKS4758	AA45	(12.2)×0.8×0.38	L-N15° E FN30° E FN17° W	中世		ST01, 09, 24と重複		
SD33	YKS4700-1	AO07	(35)×0.8×0.47	N18° E	10C 初頭		SB68, 69, SI04, 07, 09, SM04を切り、SD34, 40と重複		
SD34 第42図	YKS4694	AL49	(70)×0.8×0.73	N45° W	10C 初頭		SB55を切り、SD33と同じ構		SD11, 15, 16と同じ構
SD35 第43図	YKS4733	AJ16	3.84×3.5×0.14	N52° W					SD13と同じ構
SD36 第43図	YKS4693-1	AT73	(7.0)×(4.0)×1.1	北西～南東	発生				
SD37	YKS4755	AA31	(10.2)×(1.0)×-	北西～南東	古墳				
SD38	YKS4755	BY30	(9.5)×(1.5)×-	北西～南東	古墳				
SD39	YKS4693-1	BC47	3.84×3.5×0.14 3.84×1.0×0.08		発生				
SD40 第43図	YKS4733	AN13	(28.6)×3.5×0.86 (28.6)×1.8×0.16	L-N13° W FN80° W FN45° W					
SD41 第43図	YKS4758	AG49	(3.86)×0.48×0.2 (3.86)×2.4×0.09	L-N10° W FN10° W			小窓穴と重複		
SD42 第43図	YKS3456-1	AJ01	-X-1.0×0.2 -X0.6×1.5	N55° W			SK09に切られる		

③ 不明 (S X)

遺物No.	図面No.	明細位置	検出位置	検出方向	時代	出土遺物	重複関係	備考
SX01	第46図	YKS4755	AC32	2.3×2.1	NA0° W			

## 3) 阿弥陀塚外地籍 (AMD) (附図1)

## ① 穴住居址 (SB)

## S B01

検出位置	AE03	覆 土	
切 る	SB08	床 面	堅 固
合	SD01	主柱穴	4基 : P1~P4
プラン	隅丸方形	住居 入 口	
規模m	4.2×3.7	施設 炉	形状 石芯粘土甃
・主 軸	N50° W	・規模	80×70cm
壁高cm	25	備考	
状 態	ほぼ垂直		

## 特記事項

土師器杯・高杯・甕・壺・瓶・須恵器蓋・甕・臼玉、  
鉄滓

時代・時期 古墳後期後半 調査位置 AMDバイパス

## S B02

検出位置	AF08	覆 土	
切 る		床 面	
合	SD01	主柱穴	2基 : P1, P2
プラン	隅丸方形	住居 入 口	
規模m	4.7×-	内 施設	
・主 軸	N42° W	炉 形状	不明
壁高cm	30	・規模	120×120cm
状 態	ほぼ垂直	備考	

## 特記事項

土師器杯・鉢・高杯・甕・小型甕・瓶・須恵器蓋片

時代・時期 古墳後期後半 調査位置 AMDバイパス

## S B03

検出位置	AH03	覆 土	
切 る	SB10, SM01	床 面	壁際を除き堅固
合		主柱穴	4基 : P1~P4
切られる		住居 入 口	
プラン	隅丸方形	施設 炉	形状 石芯粘土甃
規模m	4×(3.8)	・規模	220×100cm
・主 軸	N43° W	備考	
壁高cm	30		
状 態	ほぼ垂直		

## 特記事項

土師器杯・甕・須恵器高杯片・提瓶

時代・時期 古墳後期後半 調査位置 AMDバイパス

## S B05

検出位置	BX49	覆 土	
切 る	SB11, 12, 18	床 面	
合	ST02	主柱穴	
切られる		住居 入 口	
プラン	不明	施設 炉	形状
規模m	- × -	・規模	
・主 軸	不明	備考	
壁高cm	30		
状 態	やや緩やか		

## 特記事項

炭化物、5~20cmの棒状難を多量に含む

須恵器蓋・杯・高台付杯・甕・壺・円面鏡

時代・時期 奈良 調査位置 AMDバイパス

## S B07

検出位置	AD48	覆 土	
切 る	SB06	床 面	軟弱
合	SB13	主柱穴	1基 : P1
切られる		住居 入 口	
プラン	隅丸方形	施設 炉	形状
規模m	4.6×-	・規模	
・主 軸	不明	備考	
壁高cm	20		
状 態	やや緩やか		

## 特記事項

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMDバイパス

## S B06

検出位置	AC47	覆 土	
切 る	SB07, 13	床 面	堅 固
合		主柱穴	2基 : P1, P2
切られる		住居 入 口	
プラン	隅丸方形	施設 炉	形状
規模m	5.4×-	・規模	
・主 軸	不明	備考	
壁高cm	30		
状 態	やや緩やか		

## 特記事項

土師器杯・高杯・甕・壺・瓶・須恵器蓋杯

時代・時期 古墳後期後半 調査位置 AMDバイパス

## S B08

検出位置	AC02	覆 土	
切 る	SB04, 13, 17	床 面	
合	SB01, SD01, 05	主柱穴	4基 : P1~P4
切られる		住居 入 口	
プラン	隅丸方形	施設 炉	形状
規模m	8.5×8.5	・規模	
・主 軸	N37° W	備考	
壁高cm	60		
状 態	ほぼ垂直		

## 特記事項

時代・時期 古墳後期前半 調査位置 AMDバイパス

## S B09

検出位置	AG06	覆 土	
切 る	SB10	床 面	軟弱
合	SD01	主柱穴	4基 : P1~P4
		貯藏穴	
規 模	4.2×3.6	入 口	
・ 形 状	プラン 囲丸長方形	形 状	石芯粘土竈
規 模 m	4.2×3.6	炉	規模
・ 主 軸	N128° E	壁高 cm	100×100cm
壁高 cm	30	電	備考
状 態	ほぼ垂直		

## 特記事項

土師器杯・高杯・壺・須恵器壺

時代・時期 古墳後期前半 調査位置 AMDバイパス

## S B11

検出位置	BY48	覆 土	
切 る	SB12, 18	床 面	堅固な貼り床
合	SB05, ST02, SD01	主柱穴	
		貯藏穴	
規 模	不明	入 口	
・ 主 軸	規 模	炉	形 状
規 模 m	- × -	規 模	
・ 主 軸	不明	電	備考
壁高 cm	-		
状 態	不明		

## 特記事項

時代・時期 古墳後期 埋入位置 AMDバイパス

## S B13

検出位置	AE00	覆 土	
切 る	SB17	床 面	
合	SB06, 07, 08, 16	主柱穴	
		貯藏穴	
規 模	不明	入 口	
・ 主 軸	規 模	炉	形 状
規 模 m	- × -	規 模	
・ 主 軸	不明	電	備考
壁高 cm	-		
状 態	不明		

## 特記事項

土師器杯・須恵器壺

時代・時期 古墳後期 埋入位置 AMDバイパス

## S B15

検出位置	AH00	覆 土	
切 る		床 面	
合	SB14, 16	主柱穴	
		貯藏穴	
規 模	( 囲丸方形 )	入 口	
・ 主 軸	規 模	炉	形 状
規 模 m	- × -	規 模	
・ 主 軸	不明	電	備考
壁高 cm	-		
状 態	不明		

## 特記事項

須恵器壺片・鉄滓

時代・時期 古墳後期 埋入位置 AMDバイパス

## S B10

検出位置	AI06	覆 土	
切 る		床 面	軟弱
合	SB03, 09	主柱穴	3基 : P1~P3
		貯藏穴	
規 模	4.7×-	入 口	
・ 主 軸	規 模	炉	形 状
規 模 m	4.7×-	規 模	石芯粘土竈
・ 主 軸	N40° W	電	備考
壁高 cm	10		
状 態	緩やか		

## 特記事項

土師器杯片・壺・石製鋤車

時代・時期 古墳後期後半 埋入位置 AMDバイパス

## S B12

検出位置	BY49	覆 土	
切 る	SB18	床 面	きわめて堅固
合	SB05, 11, ST04	主柱穴	
		貯藏穴	
規 模	4.8×4.8	入 口	
・ 主 軸	N39° W	炉	形 状
規 模 m	52	規 模	粘土竈
・ 主 軸		電	備考
壁高 cm	120×110cm		
状 態	ほぼ垂直		

## 特記事項

土師器杯・高杯・壺

時代・時期 古墳後期後半 埋入位置 AMDバイパス

## S B14

検出位置	AI01	覆 土	
切 る	SB15	床 面	堅固
合		主柱穴	1基 : P1
		貯藏穴	
規 模	不明	入 口	
・ 主 軸	規 模	炉	形 状
規 模 m	3.8×-	規 模	
・ 主 軸	不明	電	備考
壁高 cm	8		
状 態	緩やか		

## 特記事項

土師器杯片・壺

時代・時期 古墳後期 埋入位置 AMDバイパス

## S B16

検出位置	AF49	覆 土	
切 る	SB13, 15, 17	床 面	軟弱
合		主柱穴	1基 : P1
		貯藏穴	
規 模	4.2×-	入 口	
・ 主 軸	不明	炉	形 状
規 模 m	25	規 模	
・ 主 軸	やや緩やか	電	備考
壁高 cm			
状 態			

## 特記事項

土師器杯・小型壺・铁滓

時代・時期 古墳後期 埋入位置 AMDバイパス

## S B17

検出位置	AF01	覆 土	
切 る		床 面	内側が堅固
切られる	SB07, 08, 13, 16	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯藏穴	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	土器埋設炉
形 状		炉・規模	48×50cm
壁高cm	5	電	
状 態	不明	備考	
特記事項			
銚・壺・壺			

時代・時期 弥生中期 調査位置 AMDバイパス

## S B19

検出位置	BX04	覆 土	
切 る		床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯藏穴	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状		炉・規模	
壁高cm	25	電	
状 態	緩やか	備考	
特記事項			

時代・時期 不明 調査位置 AMDバイパス

## S B21

検出位置	BS42	覆 土	
切 る		床 面	
切られる	SB20	主柱穴	3基 : P1~P3
プラン	方形	貯藏穴	P6
規模m	8.8×-	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状		炉・規模	
壁高cm	-	電	
状 態	50	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・須恵器蓋・有孔円板・臼玉 編物石・台石			

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMDバイパス

## S B23

検出位置	BM44	覆 土	
切 る		床 面	きわめて堅固
切られる		主柱穴	6基 : P1~P6
プラン	隅丸方形	貯藏穴	
規模m	5.9×-	入 口	
・ 主 軸	N49° W	炉 形状	石芯粘土竈
形 状		炉・規模	116×83cm
壁高cm	50	電	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器杯・壺・須恵器蓋・壺・刀子・鎌			

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMDバイパス

## S B18

検出位置	AW47	覆 土	
切 る		床 面	きわめて堅固
切られる	SB6.11.12.STR.1.4.6.6.1	主柱穴	1基 : P2
プラン	不明	貯藏穴	
規模m	4.7×-	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	土器埋設炉
形 状		炉・規模	52×44cm
壁高cm	23	電	
状 態	やや緩やか	備考	
特記事項			
鉢・壺・壺・打製石斧・磨製石斧・磨製石鎌			

時代・時期 弥生中期 調査位置 AMDバイパス

## S B20

検出位置	BT42	覆 土	
切 る		床 面	
切られる	SB21	主柱穴	
プラン	不明	貯藏穴	
規模m	- × -	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状		炉・規模	
壁高cm	-	電	
状 態	不明	備考	
特記事項			
土師器壺片・編物石・鎌			

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMDバイパス

## S B22

検出位置	BQ39	覆 土	
切 る		床 面	堅固
切られる	火葬墓1	主柱穴	2基 : P1, P2
プラン	隅丸方形	貯藏穴	
規模m	6.4×-	入 口	
・ 主 軸	不明	炉 形状	
形 状		炉・規模	
壁高cm	40	電	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器壺・須恵器壺・壺・フイゴの羽口・鉄滓・編物石			

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMDバイパス

## S B24

検出位置	BL39	覆 土	
切 る		床 面	
切られる	SB25, 26, 28	主柱穴	1基 : P1
プラン	隅丸方形	貯藏穴	
規模m	5.3×5.2	入 口	
・ 主 軸	N127° E	炉 形状	石芯粘土竈
形 状		炉・規模	99×94cm
壁高cm	26	電	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器壺・皿・須恵器高杯・刀子・飾り金具・不明鉄製品			

時代・時期 平安終末 調査位置 AMDバイパス

## S B25

検出位置	BL41	覆土	
切る	床面	堅固	
合	主柱穴 4基: P1~P4		
切られる	SB24	貯藏穴	
規格	3.6×3.0	入 口	
・形状	プラン 囲丸方形		
規模	m		
・	N49° W	炉 形状 不明	
形狀	壁高cm 41	・規格 80×70cm	
・	態	参考	
状態	ほぼ垂直		
特記事項			
土師器杯・小型壺・臼玉			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

## S B27

検出位置	BL36	覆土	
切る	SB30	床面	軟弱
合			
切られる	GOB SB53	主柱穴	
規格		貯藏穴	
・		入 口	
規模	m		
・	— × —	炉 形状	
形狀	主軸 不明	・ 規格	
壁高cm	30	壺	
・		参考	
状態	やや緩やか		
特記事項			
土師器壺・須恵器杯・蓋・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

## S B29

検出位置	BV02	覆土	
切る		床面	
合			
切られる		主柱穴	
規格		貯藏穴	
・		入 口	
規模	m		
・	6.0 × —	炉 形状	
形狀	主軸 不明	・ 規格	
壁高cm	50	壺	
・		参考	
状態	やや緩やか		
特記事項			
土師器高杯・壺・須恵器蓋			
時代・時期	不明	調査位置	AMDバイパス

## S B31

検出位置	BT00	覆土	
切る		床面	
合			
切られる	ST03	主柱穴	
規格		貯藏穴	
・		入 口	
規模	m		
・	2.5 × —	炉 形状	
形狀	主軸 不明	・ 規格	
壁高cm	20	壺	
・		参考	
状態	やや緩やか		
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	AMDバイパス

## S B26

検出位置	BM37	覆土	
切る	SB28, 30	床面	堅固
合	SB24	主柱穴	4基: P1~P4
切られる		貯藏穴	
規格		入 口	
・		炉	
規模	m	形状	石芯粘土竈
・	5.6 × 5.0	・ 規格	120 × 98cm
形狀	N29° W	壺	
壁高cm	45	参考	
・			
状態	ほぼ垂直		
特記事項			
土師器杯・高杯・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

## S B28

検出位置	BM39	覆土	
切る		床面	堅固
合			
切られる	SB24, 26	主柱穴	
規格		貯藏穴	
・		入 口	
規模	m		
・	2.9 × —	炉 形状	
形狀	主軸 N42° W	・ 規格	
壁高cm	16	壺	
・		参考	
状態	ほぼ垂直		
特記事項			
土師器杯・高杯・壺・小型壺			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	AMDバイパス

## S B30

検出位置	BK36	覆土	
切る		床面	軟弱
合			
切られる	SB26, 27	主柱穴	
規格		貯藏穴	
・		入 口	
規模	m		
・	3.4 × 3.4	炉 形状	
形狀	主軸 不明	・ 規格	
壁高cm	30	壺	
・		参考	
状態	やや緩やか		
特記事項			
土師器壺・須恵器蓋			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

## S B32

検出位置	BK37	覆土	
切る		床面	
合			
切られる	SD03, 04, 小型穴 2	主柱穴	1基: P1か
規格		貯藏穴	
・		入 口	
規模	m		
・	— × —	炉 形状	
形狀	主軸 不明	・ 規格	
壁高cm	30	壺	
・		参考	
状態	やや緩やか		
特記事項			
土師器杯・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

S B33

検出位置	AN37	覆 土	
切 合	切る 小豎穴3	床 面	
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯蔵穴	
・ 形 状	規模m 4.2×-	住居 内 施 設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	-	炉 形状	
状 態	不明	・ 規模	
		窓	
		備考	
特記事項	SD06と重複		

時代・時期 不明

調査位置 AMD4742-5

S B35

検出位置	AJ01	覆 土	
切 合	切る	床 面	
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯蔵穴	
・ 形 状	規模m -×-	住居 内 施 設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	-	炉 形状	
状 態	不明	・ 規模	
		窓	
		備考	
特記事項			

時代・時期 古墳後期

調査位置 AMD4742-5

S B37

検出位置	AF45	覆 土	
切 合	切る	床 面	
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯蔵穴	
・ 形 状	規模m -×-	住居 内 施 設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	-	炉 形状	
状 態	不明	・ 規模	
		窓	
		備考	
特記事項			

時代・時期 古墳後期

調査位置 AMD4742-5

S B39

検出位置	BQ38	覆 土	
切 合	切る	床 面	
切られる		主柱穴	
規 模	プラン (隅丸方形)	貯蔵穴	
・ 形 状	規模m 6.6×-	住居 内 施 設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	-	炉 形状	
状 態	不明	・ 規模	
		窓	
		備考	
特記事項	一部プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期

調査位置 AMD4700-3

S B34

検出位置	AM39	覆 土	
切 合	切る	床 面	
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯蔵穴	
・ 形 状	規模m 3.5×-	住居 内 施 設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	-	炉 形状	
状 態	不明	・ 規模	
		窓	
		備考	
特記事項			

時代・時期 古墳後期

調査位置 AMD4742-5

S B36

検出位置	AG44	覆 土	
切 合	切る	床 面	
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯蔵穴	
・ 形 状	規模m -×-	住居 内 施 設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	-	炉 形状	
状 態	不明	・ 規模	
		窓	
		備考	
特記事項			

時代・時期 古墳後期

調査位置 AMD4742-5

S B38

検出位置	BS32	覆 土	
切 合	切る	床 面	
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯蔵穴	
・ 形 状	規模m 8.9×-	住居 内 施 設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	-	炉 形状	
状 態	不明	・ 規模	
		窓	
		備考	
特記事項	一部プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期

調査位置 AMD4700-3

S B40

検出位置	BW25	覆 土	
切 合	切る	床 面	
切られる		主柱穴	
規 模	プラン 不明	貯蔵穴	
・ 形 状	規模m -×-	住居 内 施 設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	-	炉 形状	
状 態	不明	・ 規模	
		窓	
		備考	
特記事項	一部プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期

調査位置 AMD4700-3

S B41

検出位置	AF24	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模		住居内	
規 模 m	- × -	貯藏穴	
・ 主 軸	不明	入 口	
形 状			
壁高cm	-	炉 形状	
・ 壁	規 模		
状 態	不明	窓	
備 考			
特記事項	一部プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMD4700-3

S B43

検出位置	AM28	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模		住居内	
規 模 m	8.0 × -	貯藏穴	
・ 主 軸	不明	入 口	
形 状			
壁高cm	-	炉 形状	
・ 壁	規 模		
状 態	不明	窓	
備 考			
特記事項	一部プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMD4700-3

S B45

検出位置	AF39	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模		住居内	
規 模 m	- × -	貯藏穴	
・ 主 軸	不明	入 口	
形 状			
壁高cm	-	炉 形状	
・ 壁	規 模		
状 態	不明	窓	
備 考			
特記事項	一部プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMD4700-3

S B42

検出位置	AJ22	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる		主柱穴	
規 模		住居内	
規 模 m	6.1 × -	貯藏穴	
・ 主 軸	不明	入 口	
形 状			
壁高cm	-	炉 形状	
・ 壁	規 模		
状 態	不明	窓	
備 考			
特記事項	一部プランのみ確認		

時代・時期 古墳後期 調査位置 AMD4700-3

S B44

検出位置	AJ33	覆 土	
切 る		床 面	
合			
切られる	SD97	主柱穴	
規 模		住居内	
規 模 m	5.9 × -	貯藏穴	
・ 主 軸	不明	入 口	
形 状			
壁高cm	-	炉 形状	
・ 壁	規 模		
状 態	不明	窓	
備 考			
特記事項	一部プランのみ確認		

時代・時期 平安 調査位置 AMD4700-3

② 縱立柱遺物址 (S.T)

遺物No.	調査位置	検出位置	(幅×奥) cm	間×高	柱間 積み	柱行方向	時 代	重複 関係	出土 遺物	備 考
ST01	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BN42	3.6×3.2	2×2	1.6~2.0	1.5~1.8	N45° W	古墳後期以降	SB18を切る	土師器片、須恵器片
ST02	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BP43	- × -	(3×3)	1.5~1.8	1.3~1.5	N48° E	奈良以降	SB65, 11, 18を切る	
ST03	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BL43	- × -	3× -	1.1~1.2	1.4	N41° E	發生以降	SB31を切る	
ST04	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BR45	- × -	- × -	2.3	1.9	N41° W	不明	SB12, SD01を切る	
ST05	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BK41	3.5×3.4	2×2	1.4~1.8	1.4~1.8	N37° W	不明	SB08を切る	

③ 火葬墓

遺物No.	調査位置	検出位置	規模 (長×幅×深) cm	形 態	時 代	重 棚	出土 遺物	備 考
火葬墓 1	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BQ39	(160)×(160)× -	椭円形 (長×短×深) cm	中世	SB22を切る	古錢、鎌骨	

④ 集石 (S.I)

遺物No.	調査位置	検出位置	規模 (長×幅×深) cm	形 態	時 代	重 棚	出土 遺物	備 考
S101	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BW50	110×90×27	椭円形	不明			
S102	AMD4742-5	AL49	160×92× -	不定形				ブランの木棺底
S103	AMD4742-5	AK00	115×75× -	不定形				ブランの木棺底
S104	AMD4742-5	AH02	185×175× -	円形				ブランの木棺底

⑤ 小堅穴

遺物No.	調査位置	検出位置	規模 (長×幅×深) cm	形 態	壁の状態	主軸方向	時 代	重複 関係	出土 遺物	備 考
小堅穴 1	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BW47	290×200	38 楕円形	壁やか	N45° W	平安中期以降	SB18を切る		
小堅穴 2	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	BL37	200×170	50 圓丸方形	ほぼ垂直	N45° E	古墳後期～奈良	SB32を切る、SD03に切られる	SD03に伴う可能性も	
小堅穴 3	AMD4742-5	AO47	291× -	18 不明	やや緩やか	不明		SB33と重複		
小堅穴 4	AMD4742-5	AE05	250× -	7 不明	やや緩やか	不明				

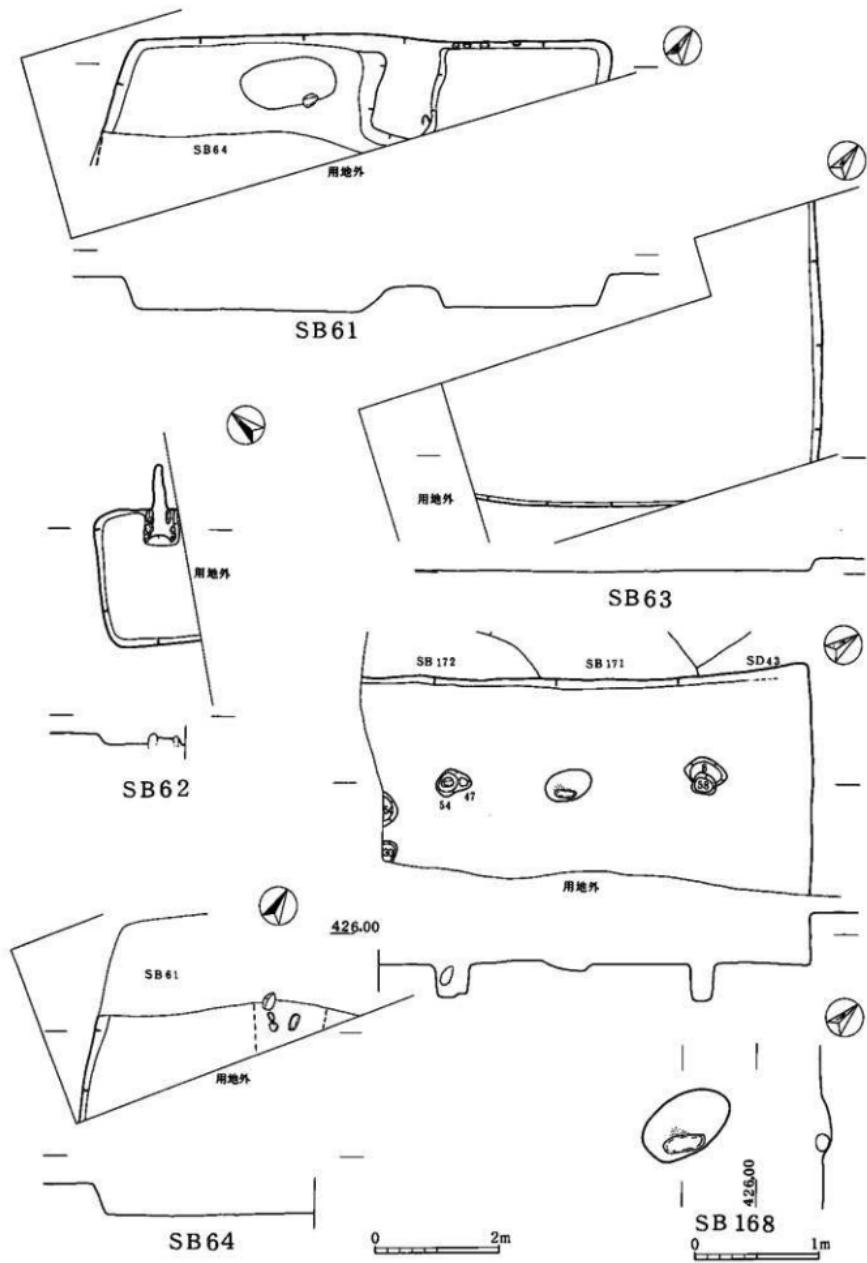
⑥ 方形周溝墓 (SM)

遺物No.	調査位置	検出位置	規模 (幅×奥) cm	幅 cm	深 cm	主 軸	断面形	主体部規模 m	主体部主軸	時 代	重複 関係	出土 遺物	備 考
SM01	AMD- <i>イ</i> , <i>ア</i> , <i>ス</i>	AJ02	- × -	140~50	50	N50° E	U字形	不明	不明	SB03, SD02に切られる			
SM02	AMD4700-3	AA25	- × -	100	-	不明	不明	不明	發生	SB03, SD02に切られる			

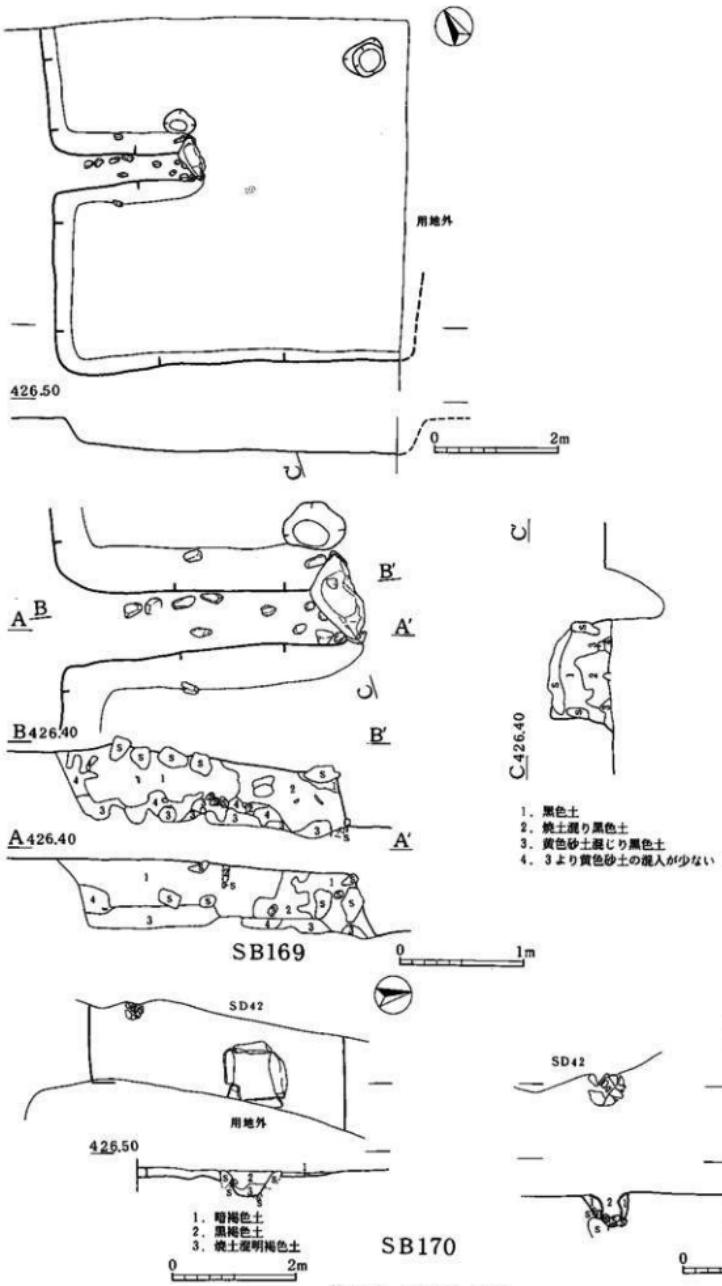
⑦ 谷址 (SD)

遺跡No.	調査位置	検出位置	規模 m (長×幅×高さ)	主軸	時代	重複関係	出土物	備考
SD01	AMD-47, 82	AC01	(25) × 1.5 × 0.3 × 0.6 × 0.3	西: N130° E 東: N72° E	江戸後期	SB01, 02, 08, 09, 12を切る	土師器杯・高杯・壺・瓶 須恵器蓋片・鏡	
SD02	AMD-47, 82	AJ03	(4.5) × 0.8 × 0.2 × 0.4 × 0.1	N110° E	不明	SM01を切る		
SD03	AMD-47, 82	BJ39	(8.0) × 1.2 × 0.3 × 1.0 × 0.3	N45° W	奈良～平安	SB32, SD04, 小窓穴 2 を切る	土師器杯・高杯・壺、須恵器蓋・杯	
SD04	AMD-47, 82	BJ40	(10.0) × 2.8 × 0.6 × 2.0 × 0.4	N85° E	奈良	SB32を切り、SD03に切られる	土師器高杯・壺、須恵器蓋・杯・皿・碗	
SD05	AMD-47, 82	BX01	(8.0) × 0.8 × 0.3 × 0.3 × 0.03	N148° W	古墳後期前半以降	SB08を切る		
SD06	AMD4742.5	AM38	(4.5) × 0.7 × × 0.5 ×	N105° E		SB33と重複		
SD07	AMD4703.3	AK02	(8.0) × 0.8 × 0.3 × 0.3 × 0.03	N85° E		SB44を切る		

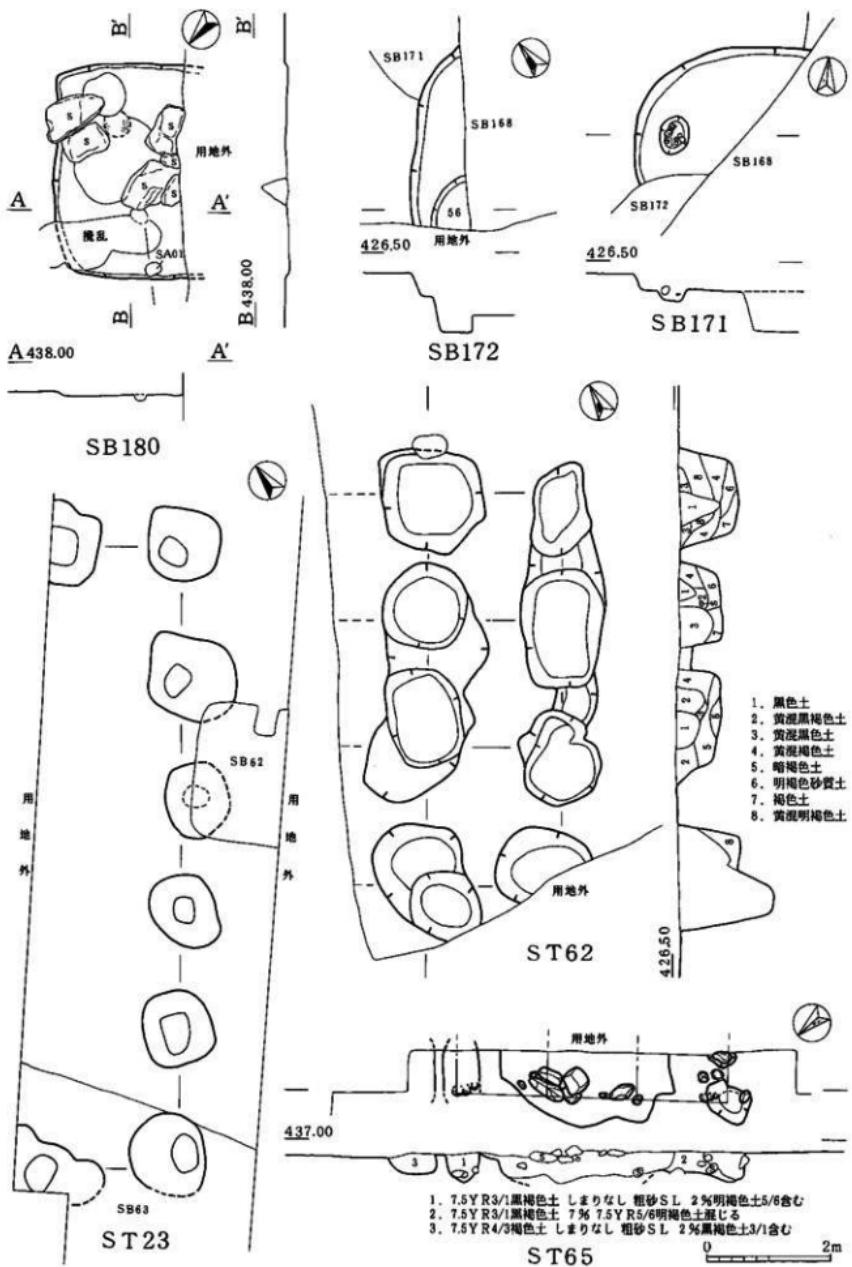
# **新屋敷地籍遺構図**



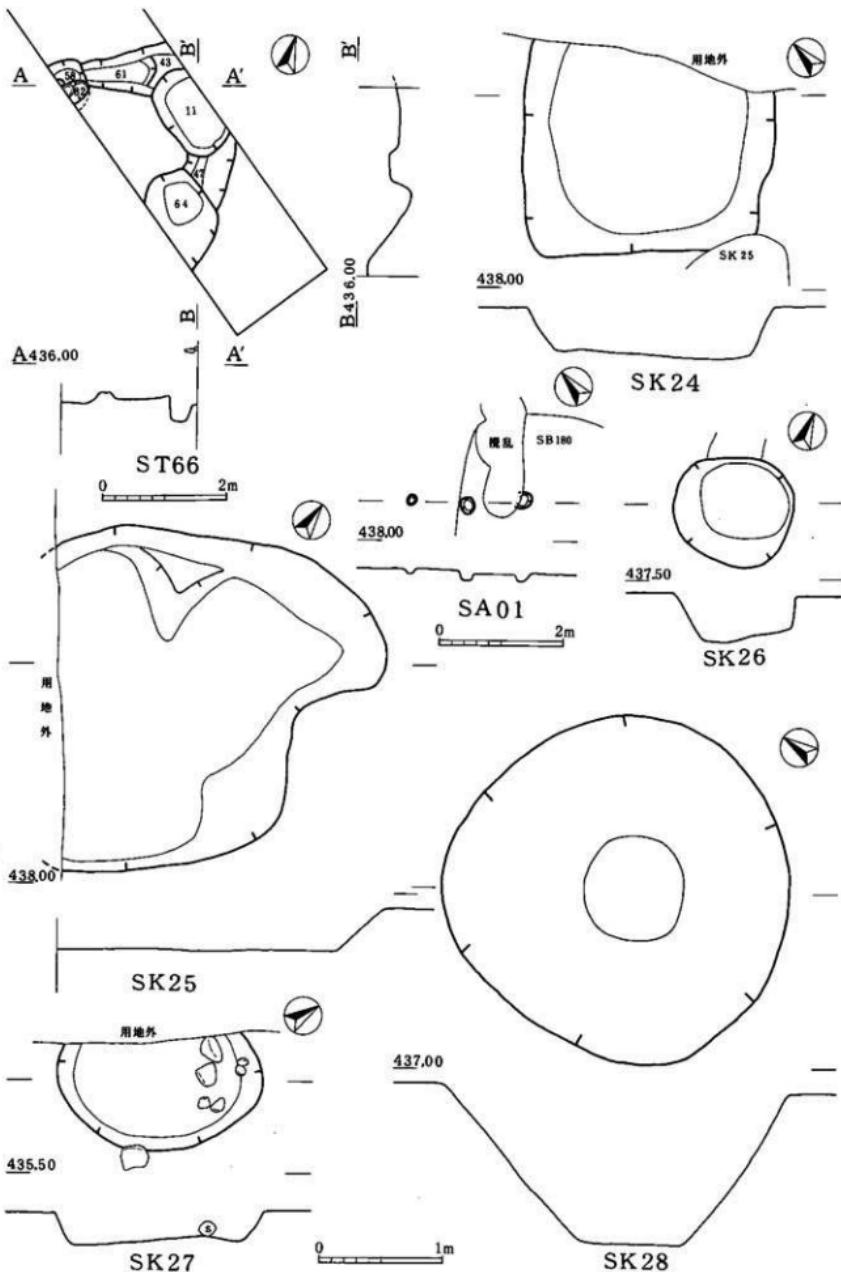
第1図 SB61, 62, 63, 64, 168



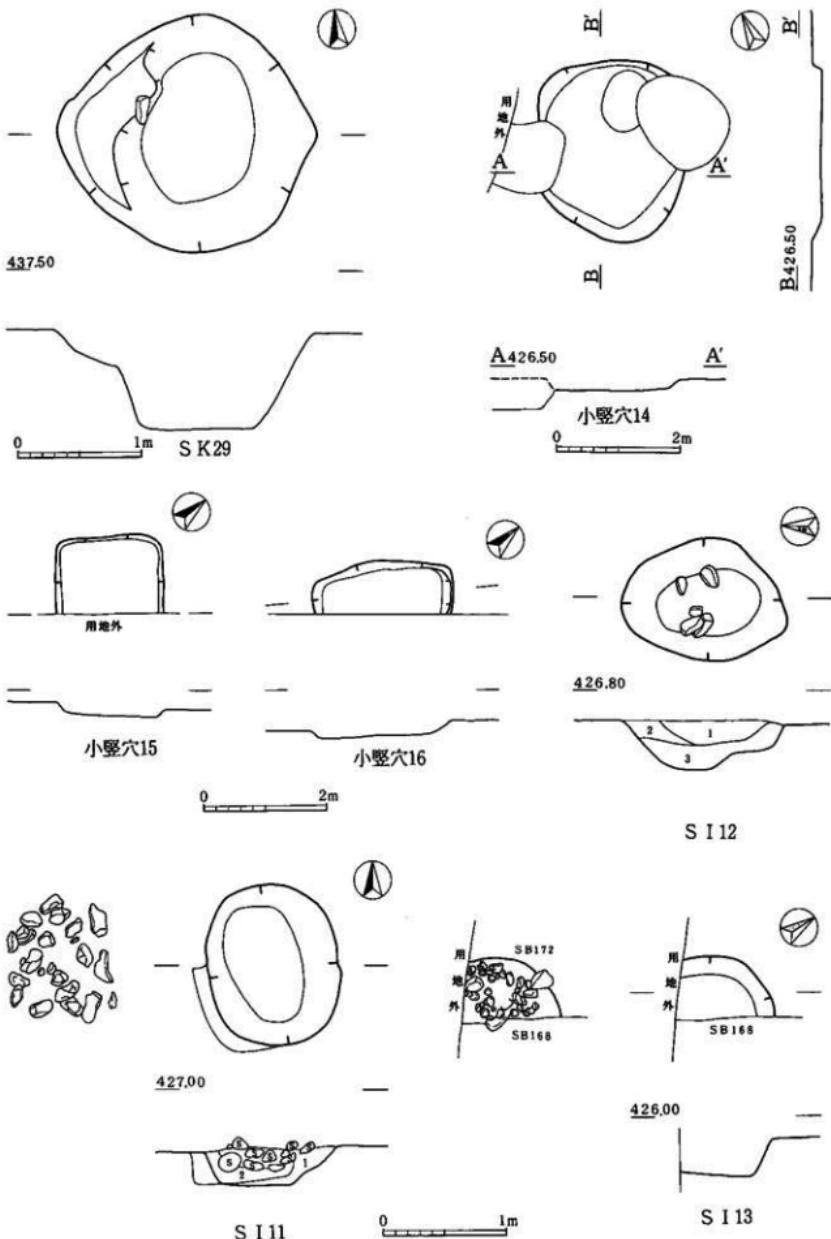
第2図 SB169, 170



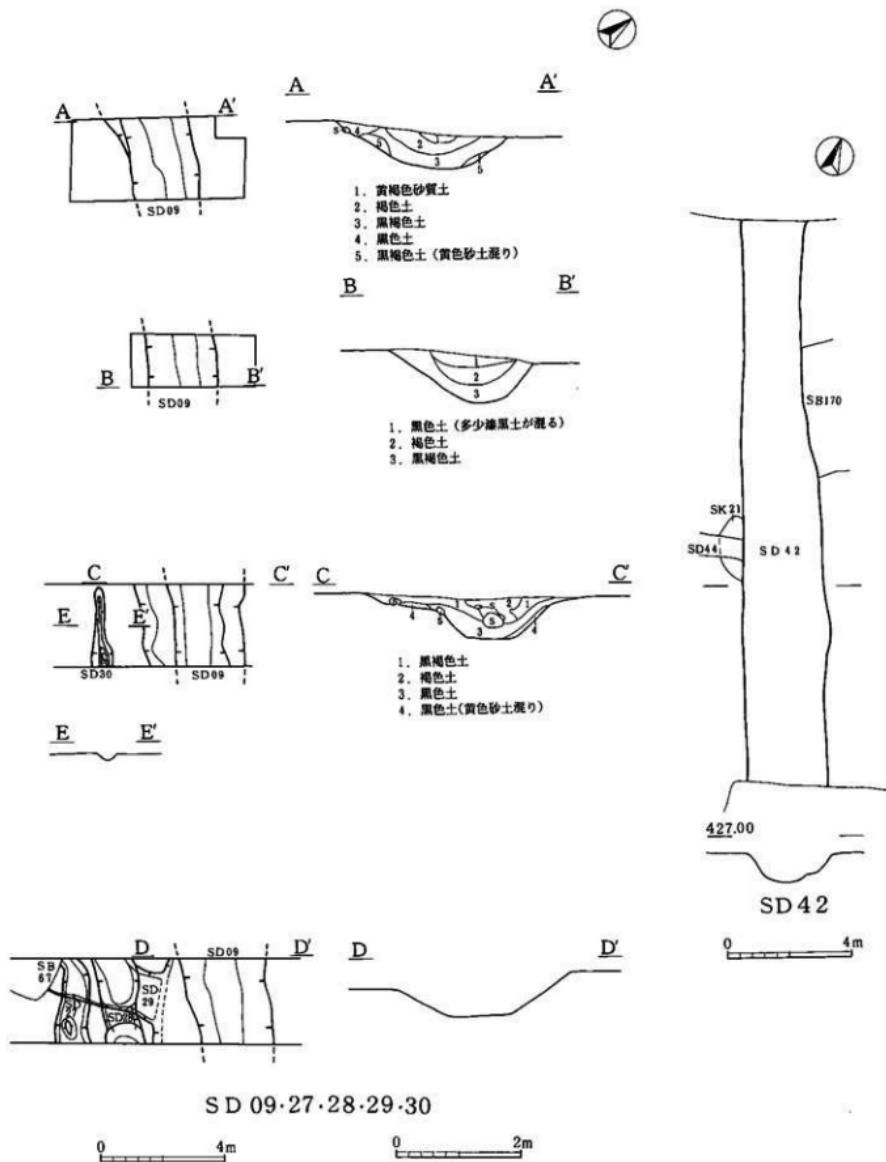
第3図 SB 171, 172, 180, ST 23, 62, 65



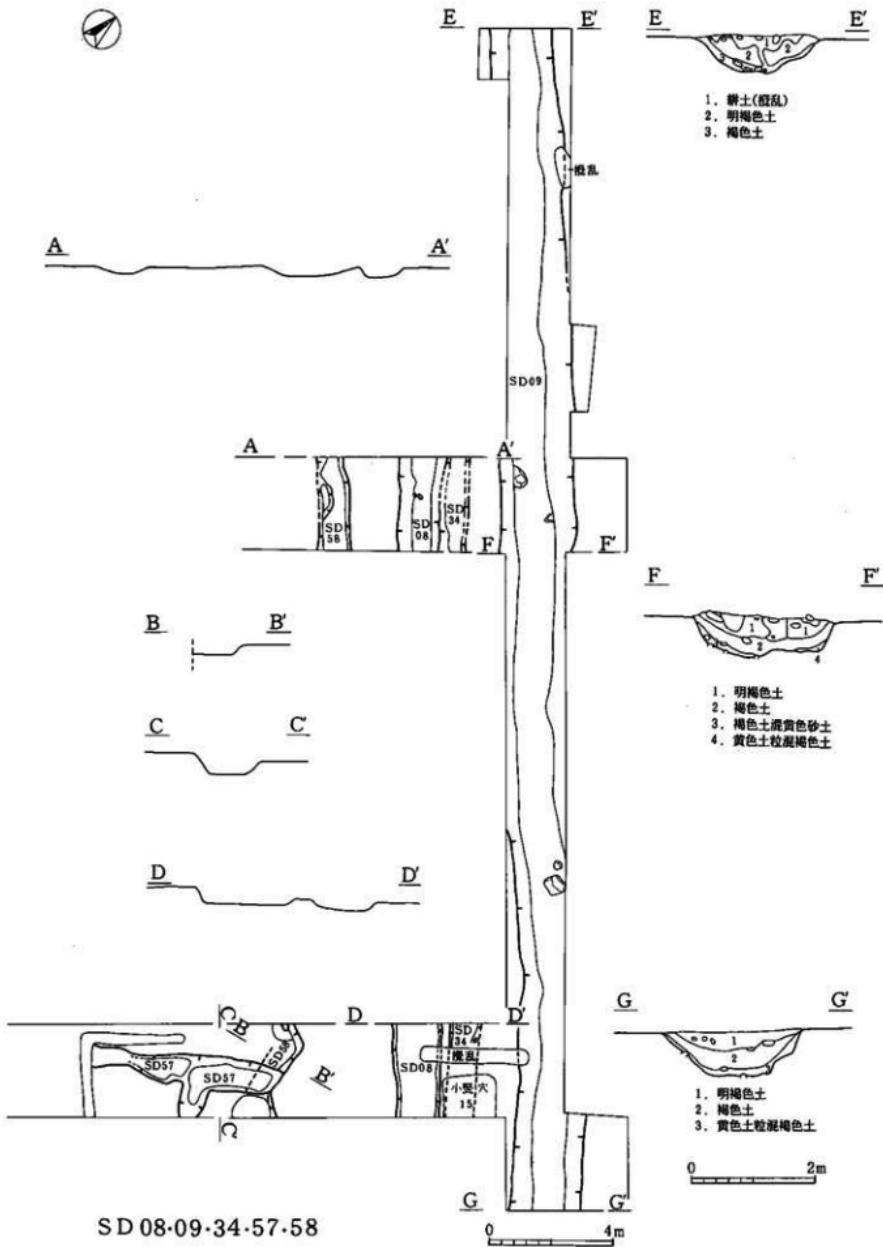
第4図 ST66, SA01, SK24~28



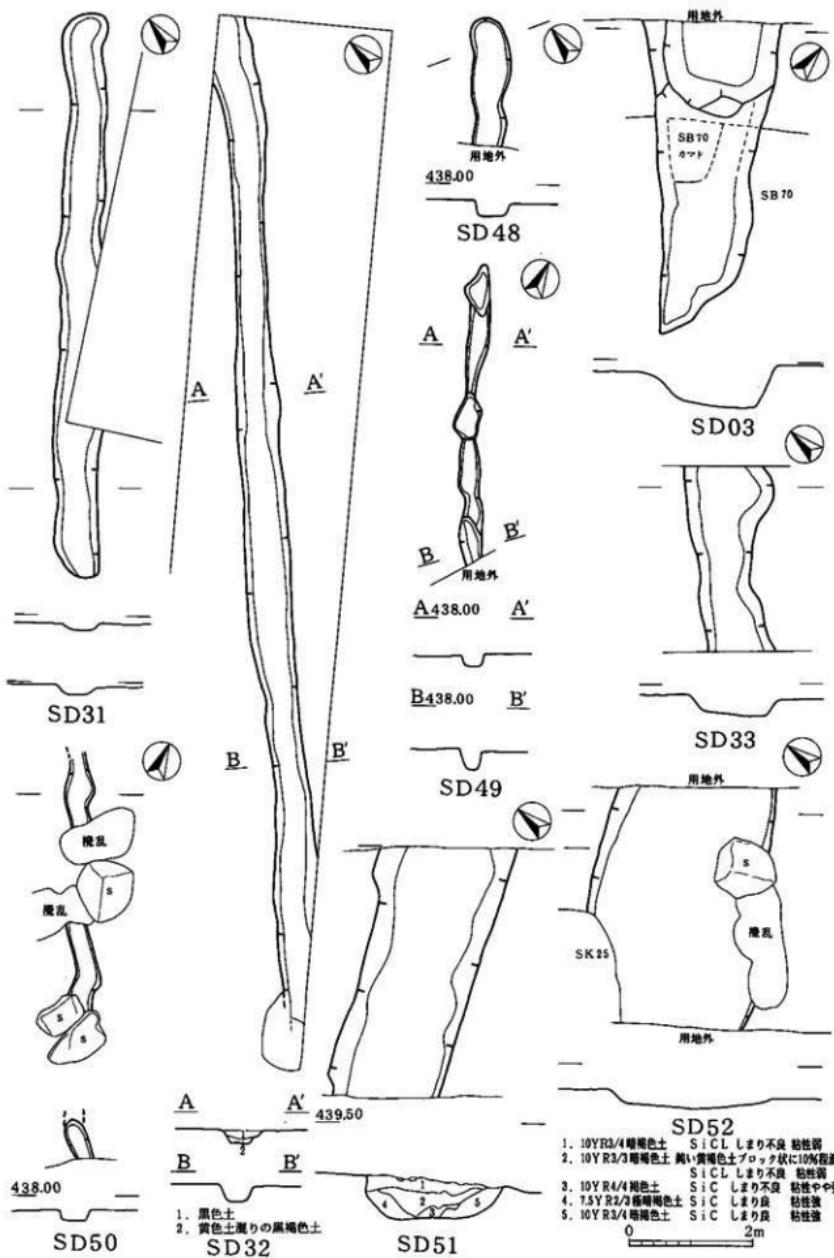
第5図 SK29, 小豎穴14~16, S I 11~13



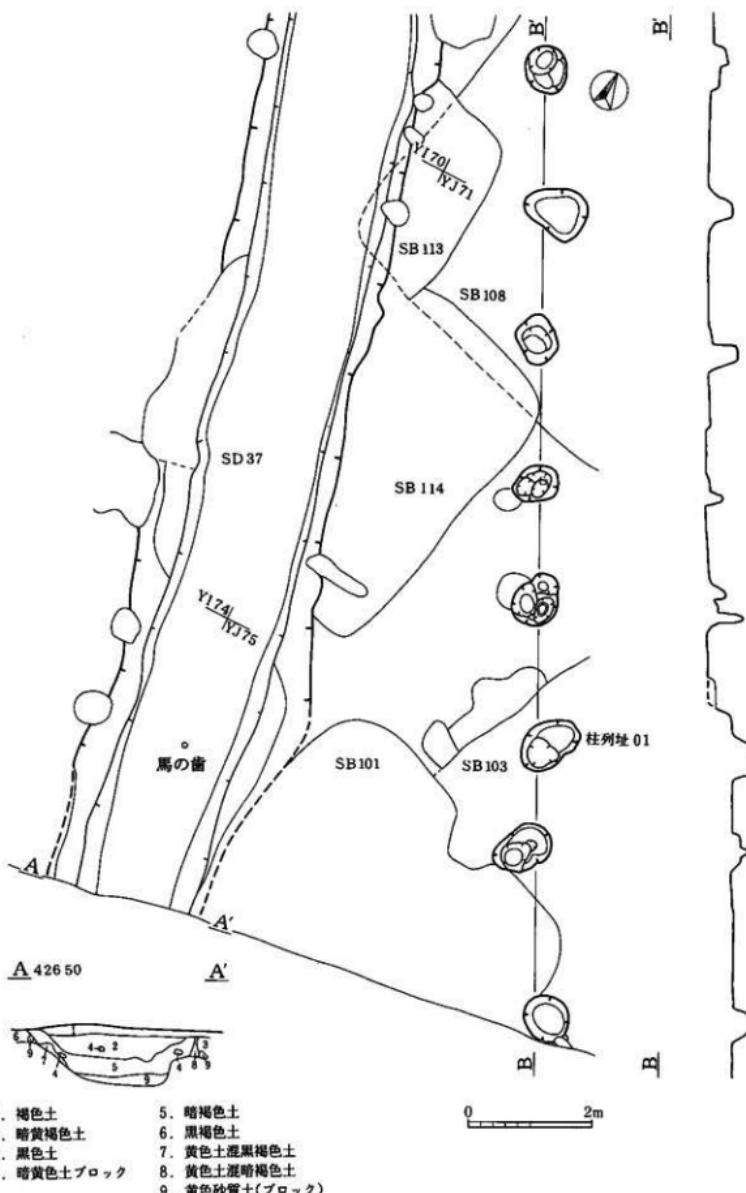
第6図 SD 09, 27, 28, 29, 30, 42



第7図 SD08, 09, 34, 57, 58

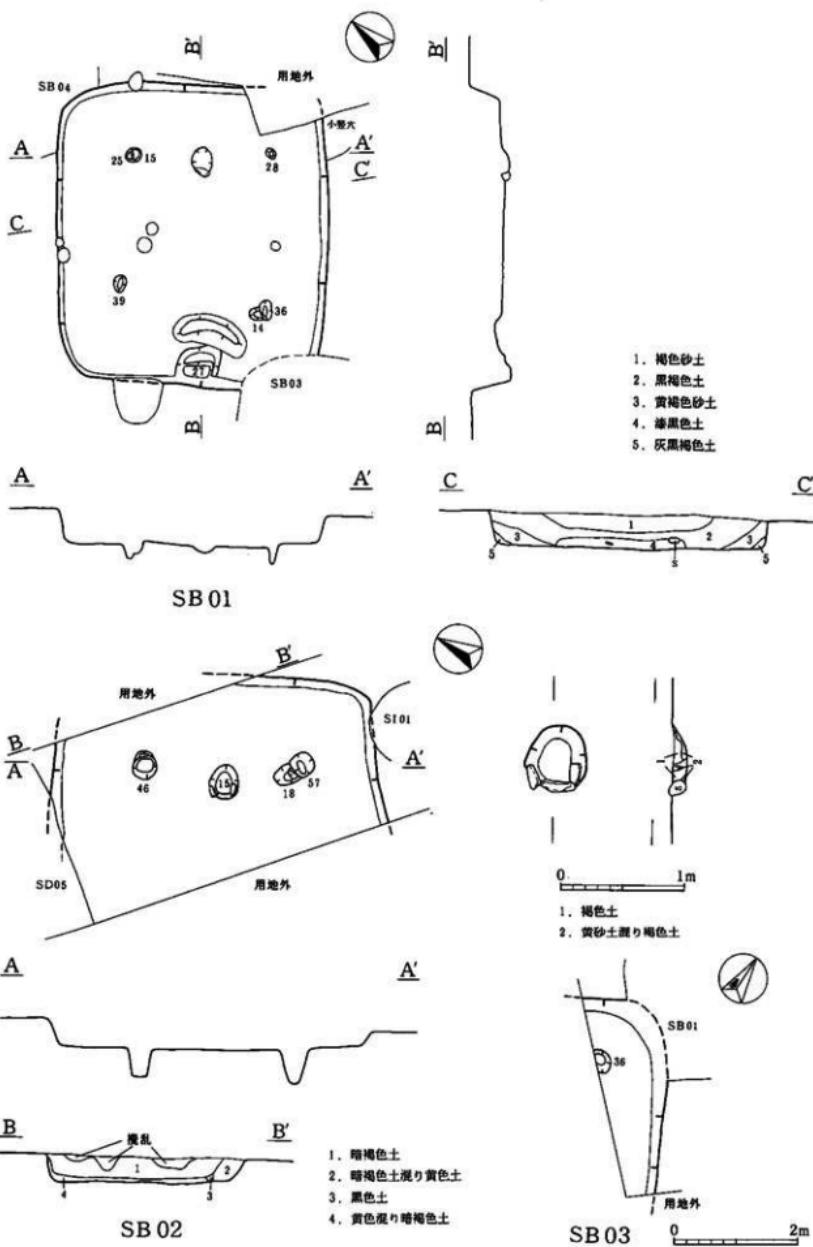


第8図 SD03, 31~33, 48~52

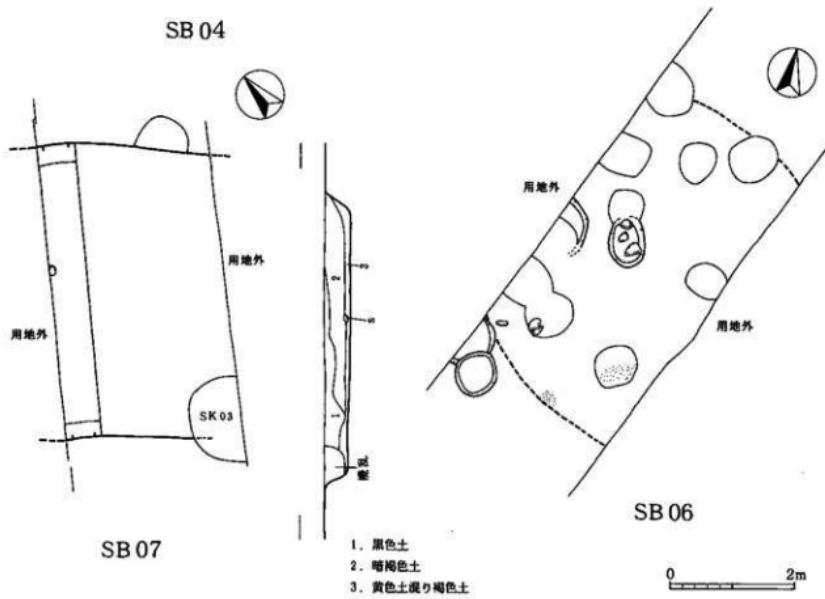
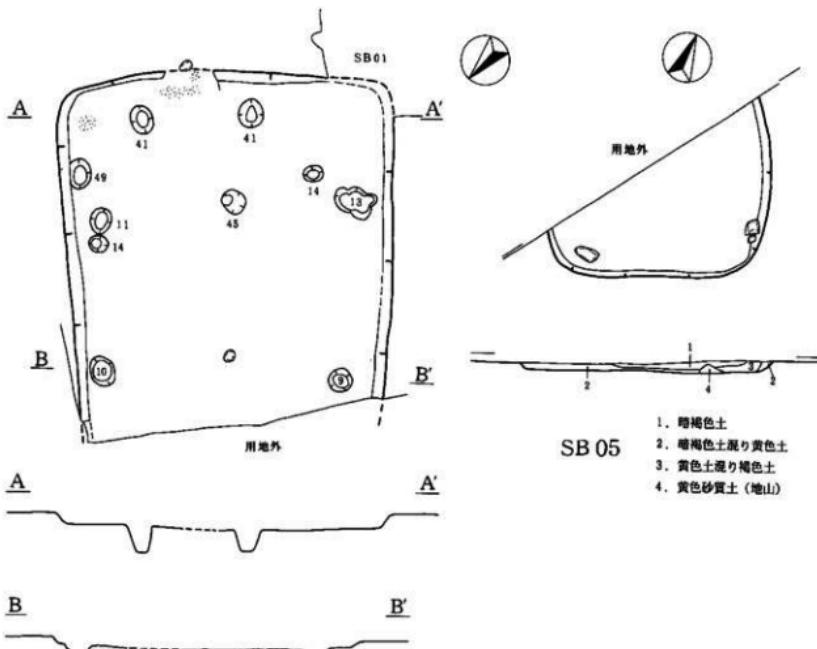


第9図 SD37

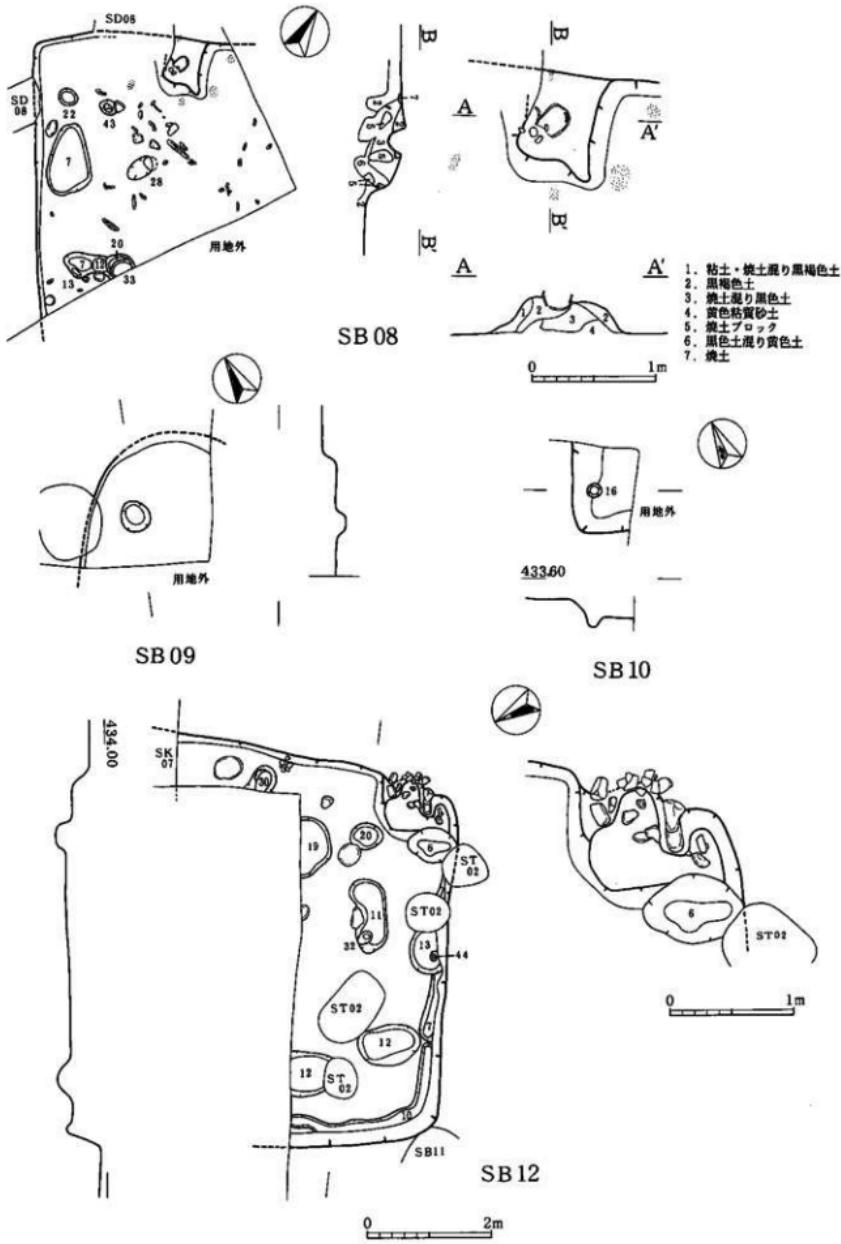
# **薬師垣外地籍遺構図**



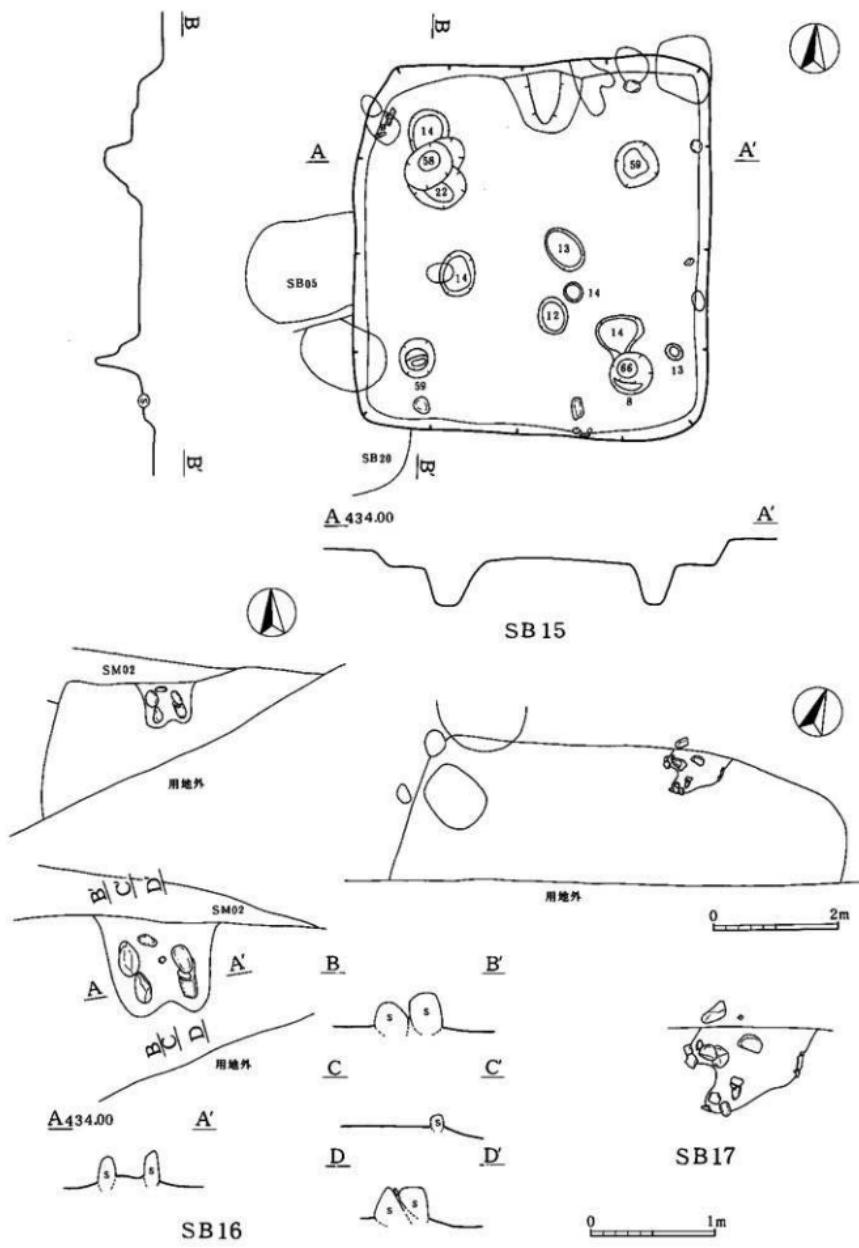
第10図 SB01, 02, 03



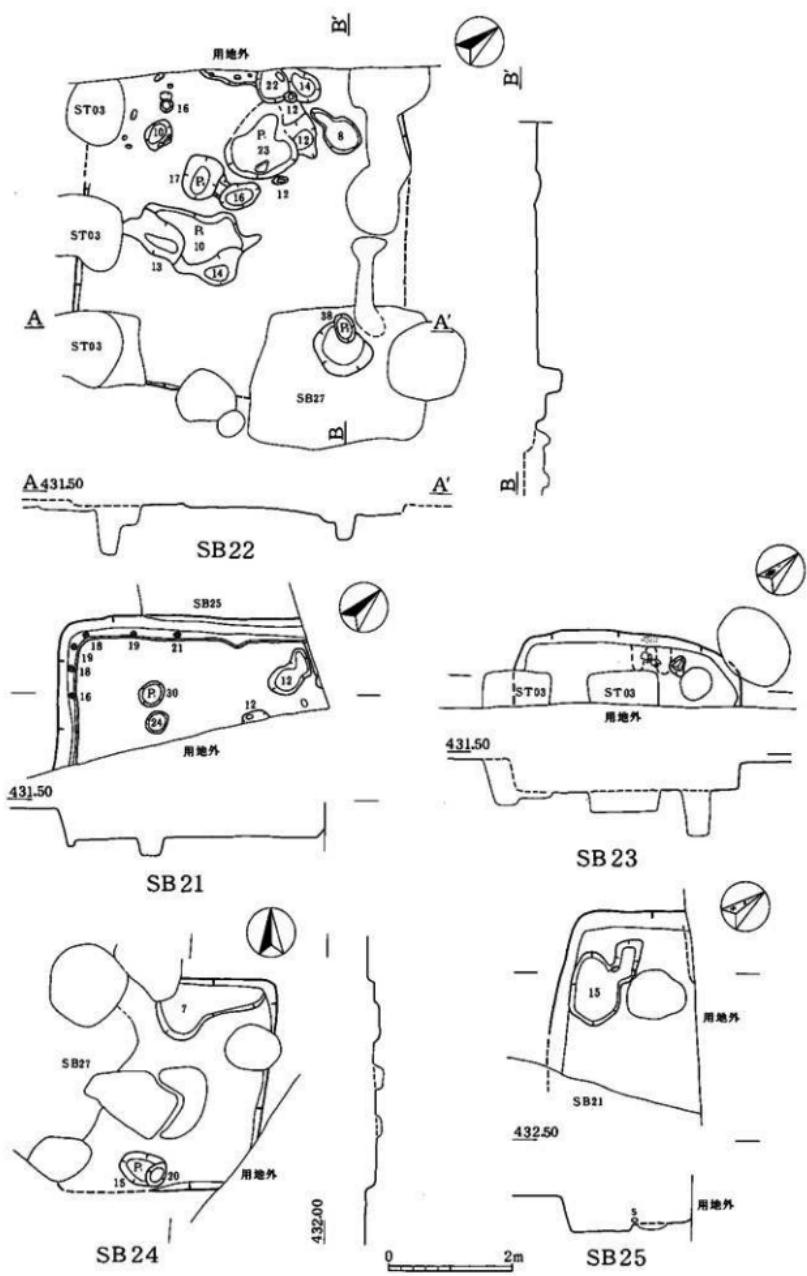
第11図 SB04, 05, 06, 07



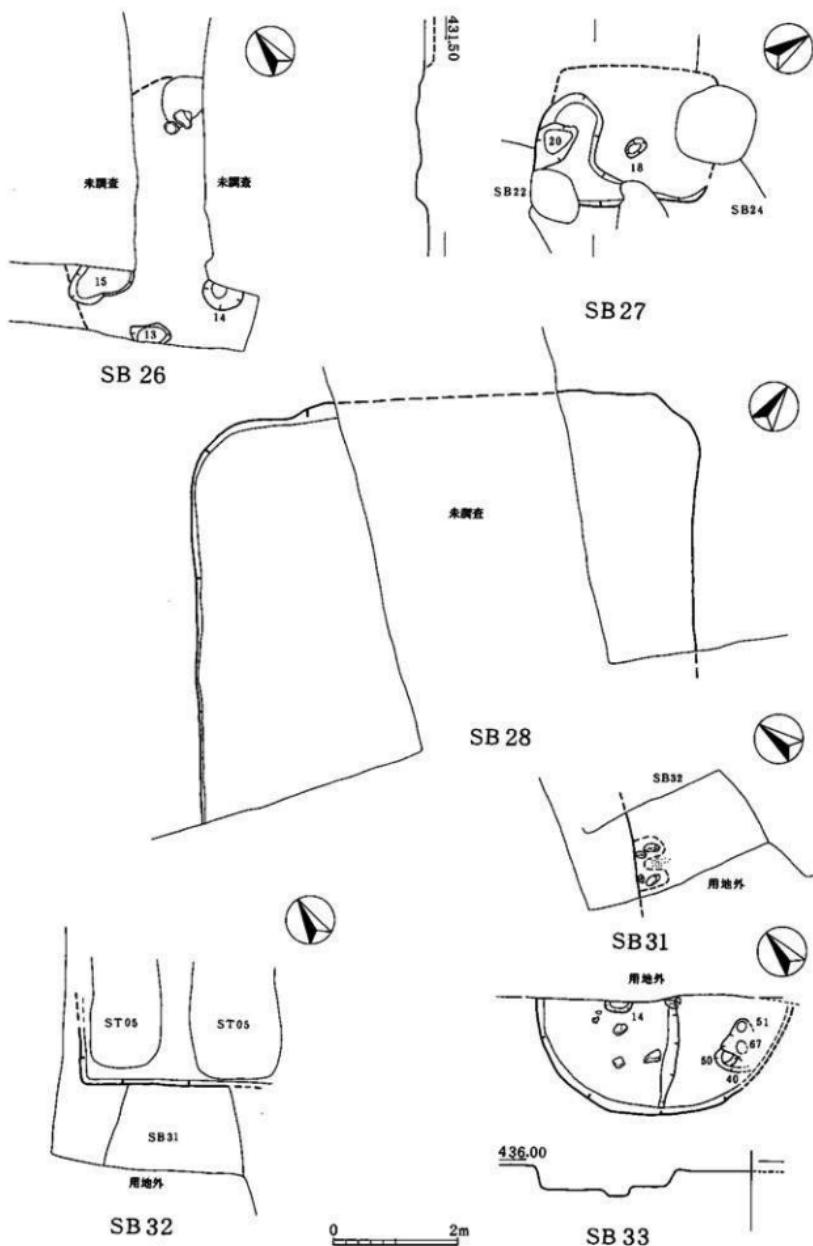
第12図 SB08, 09, 10, 12



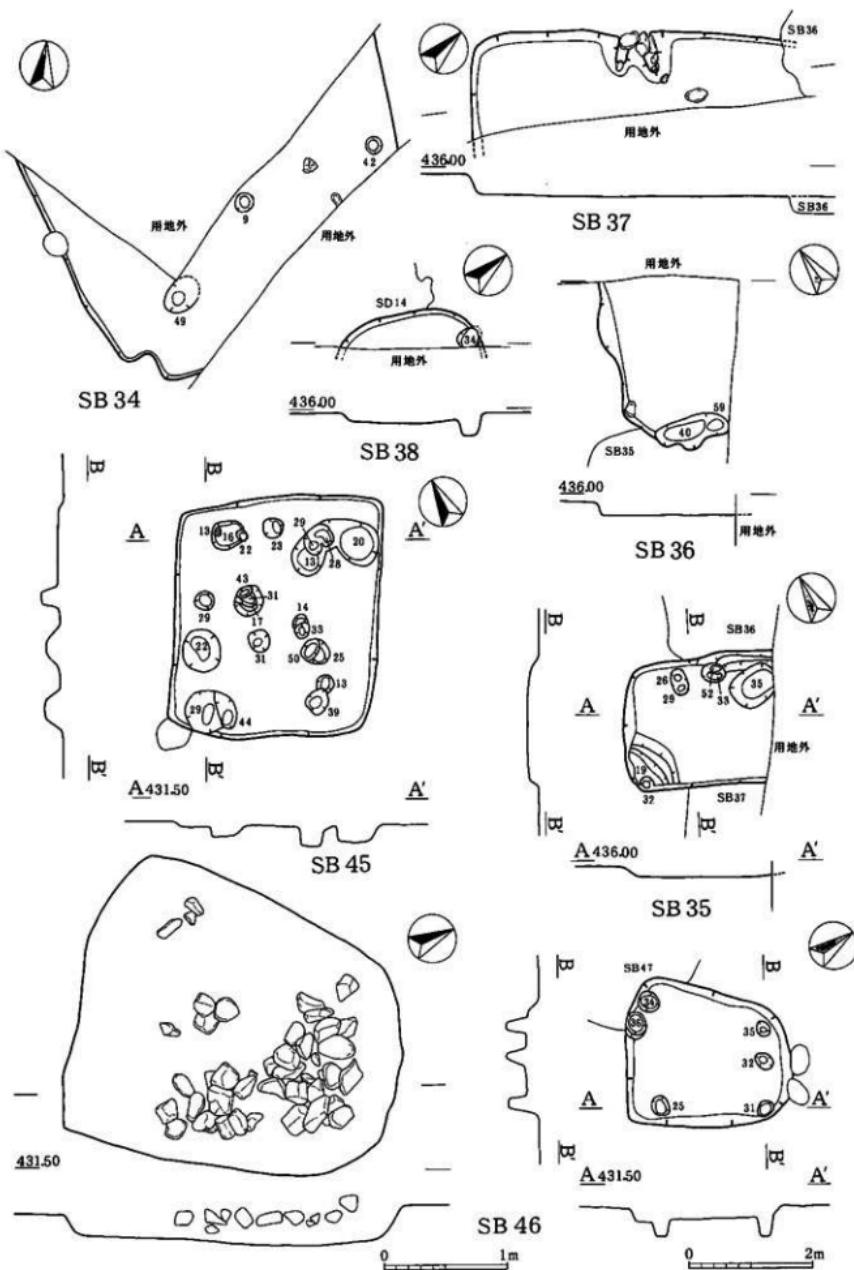
第13図 SB15, 16, 17



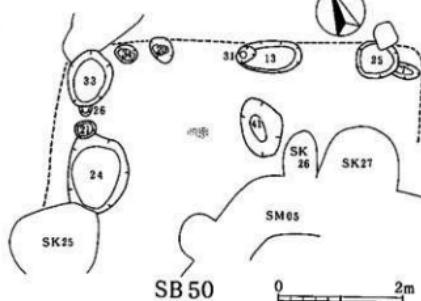
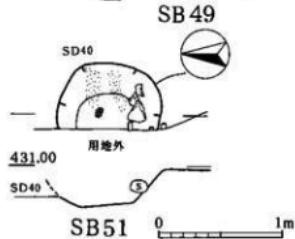
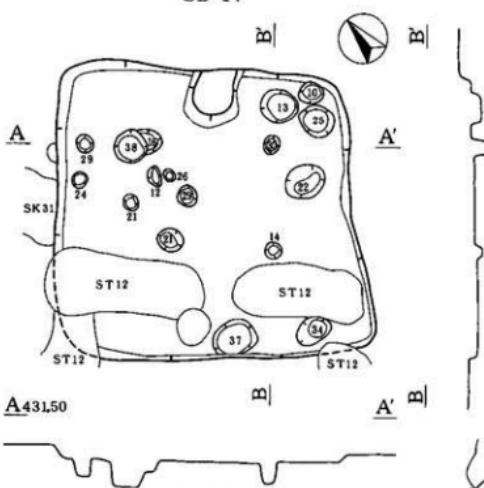
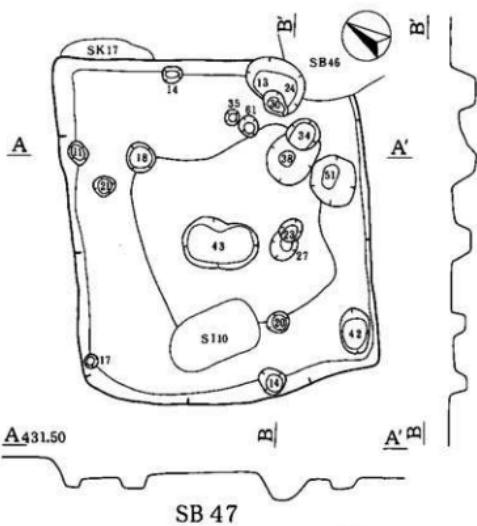
第14図 SB21, 22, 23, 24, 25



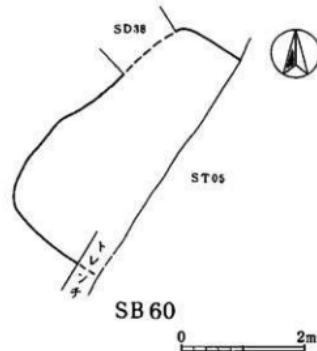
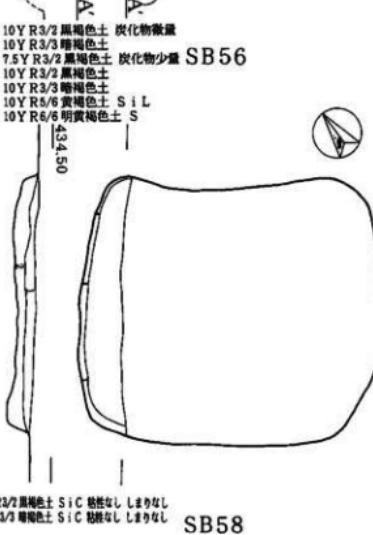
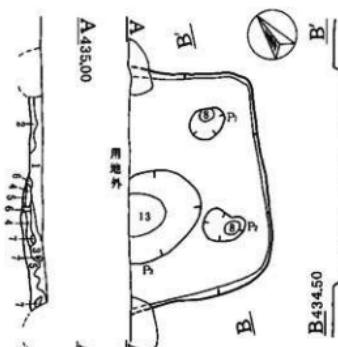
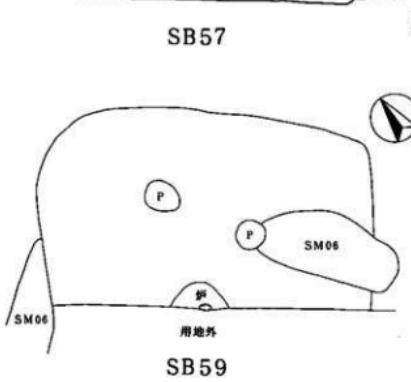
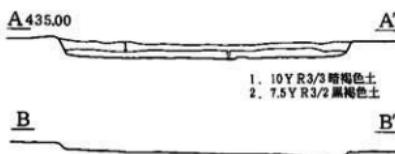
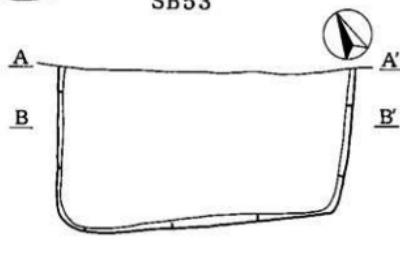
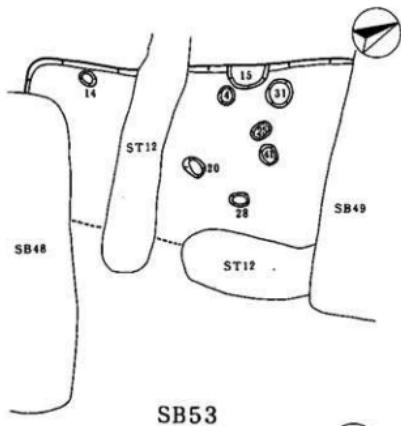
第15図 SB 26, 27, 28, 31, 32, 33



第16図 SB34, 35, 36, 37, 38, 45, 46

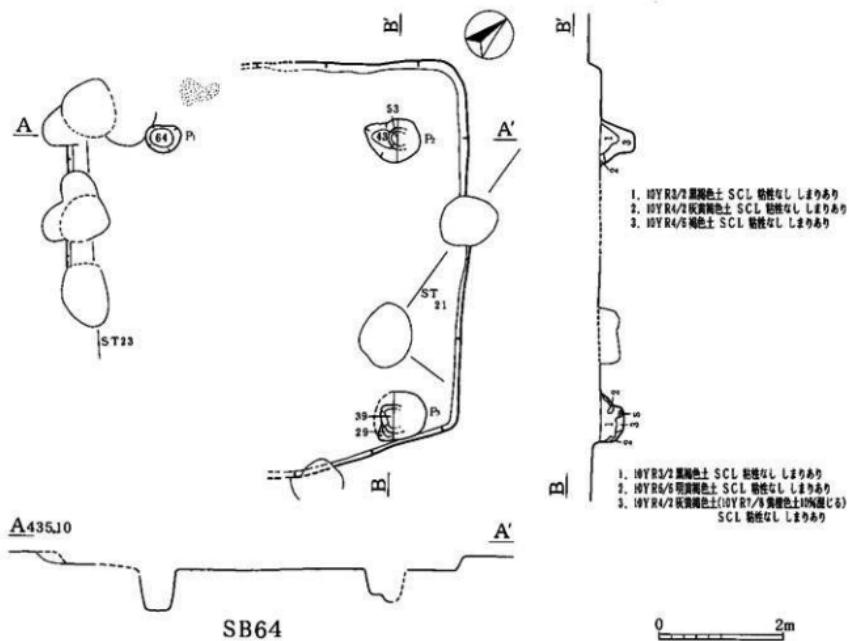
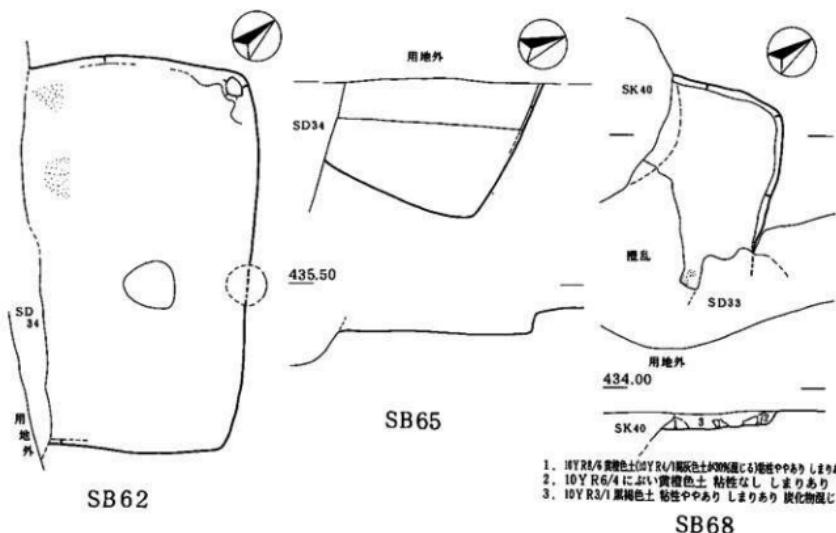


第17図 S B47. 48. 49. 50. 51. 52

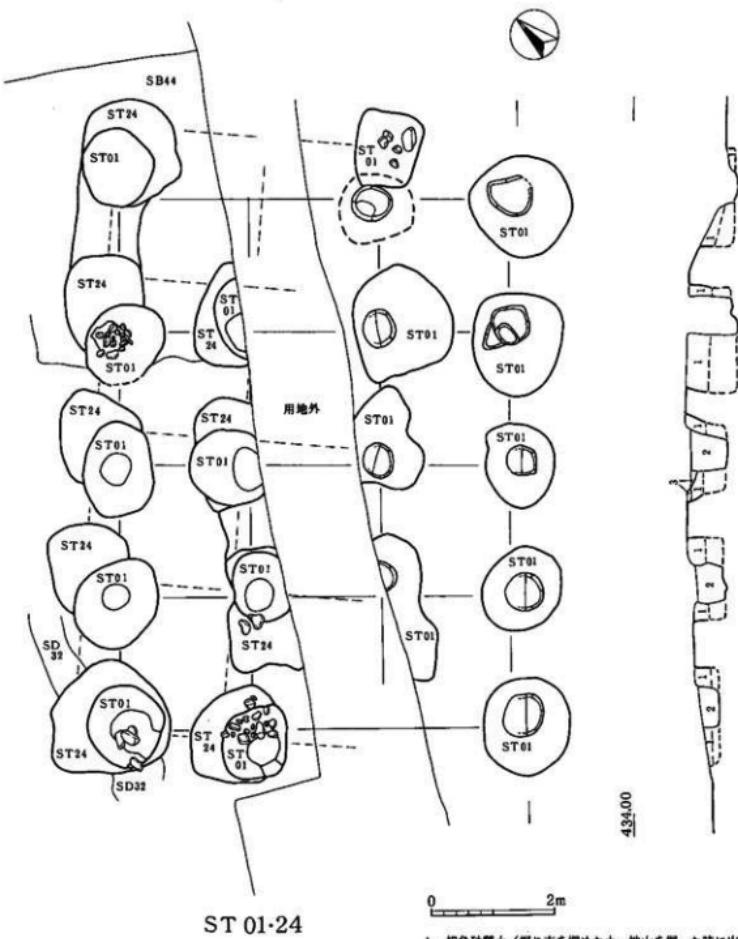


0 2m

第18図 SB53, 56, 57, 58, 59, 60

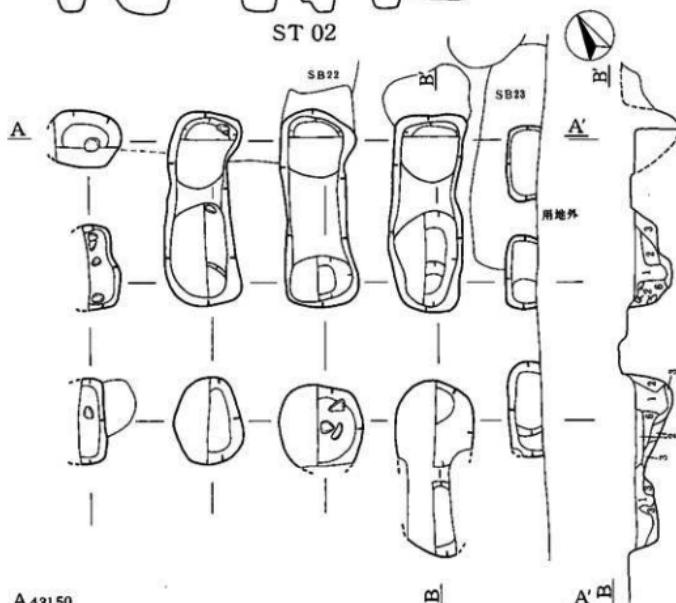
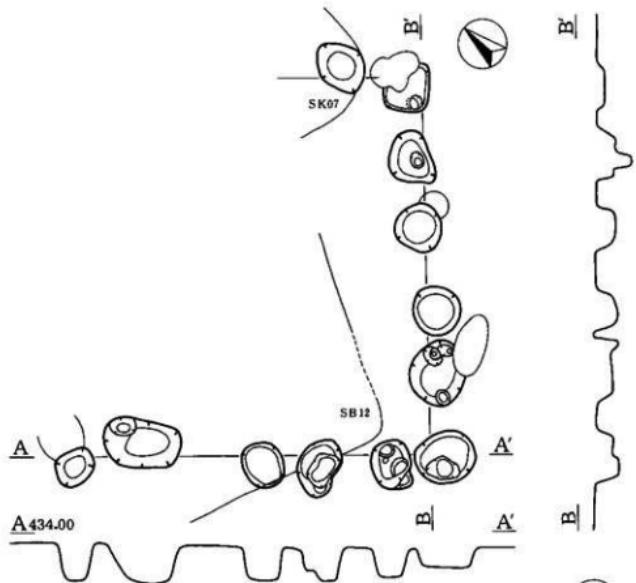


第19図 SB62, 64, 65, 68



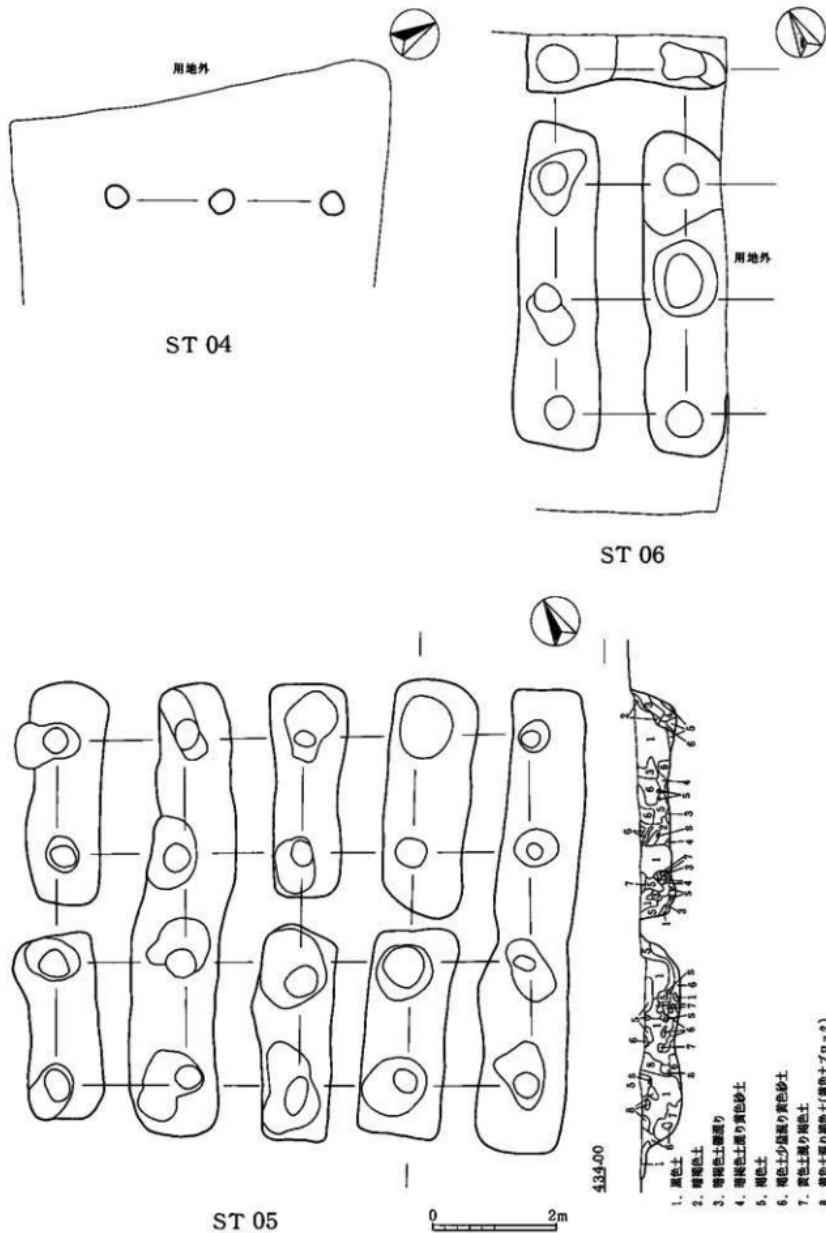
1. 暗赤色砂質土（振り方を埋めた土…地山を掘った時に出土）  
 2. 喀褐色土（住居）  
 3. 喀褐色土に褐色砂土混じる

第20図 ST 01, 24

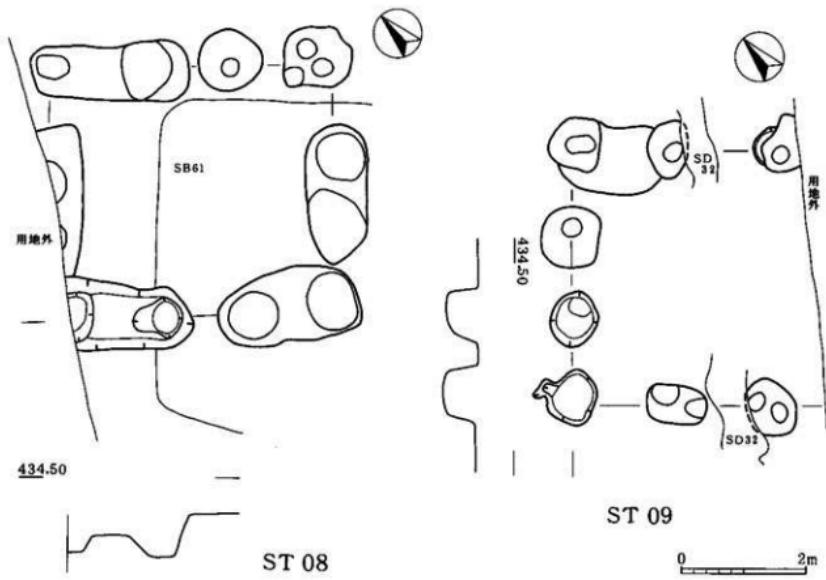
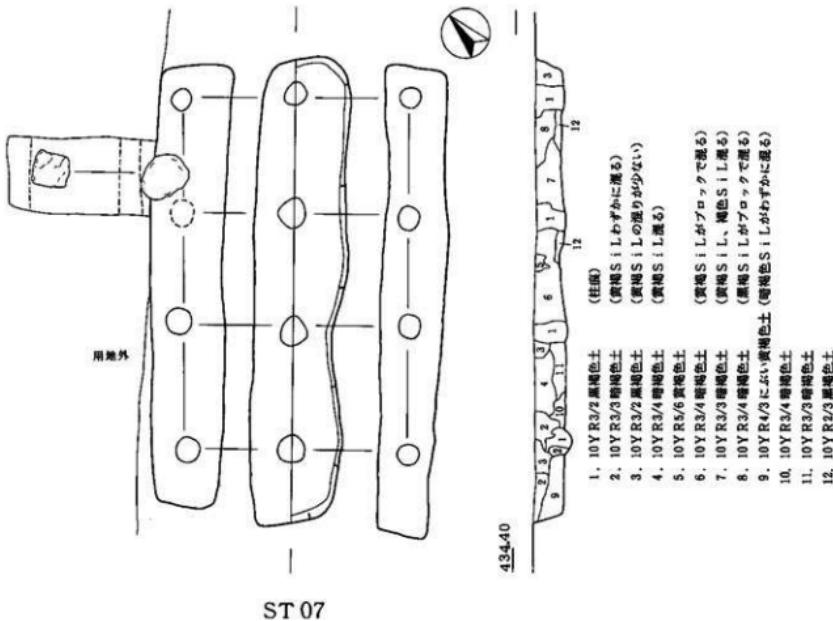


0 2m

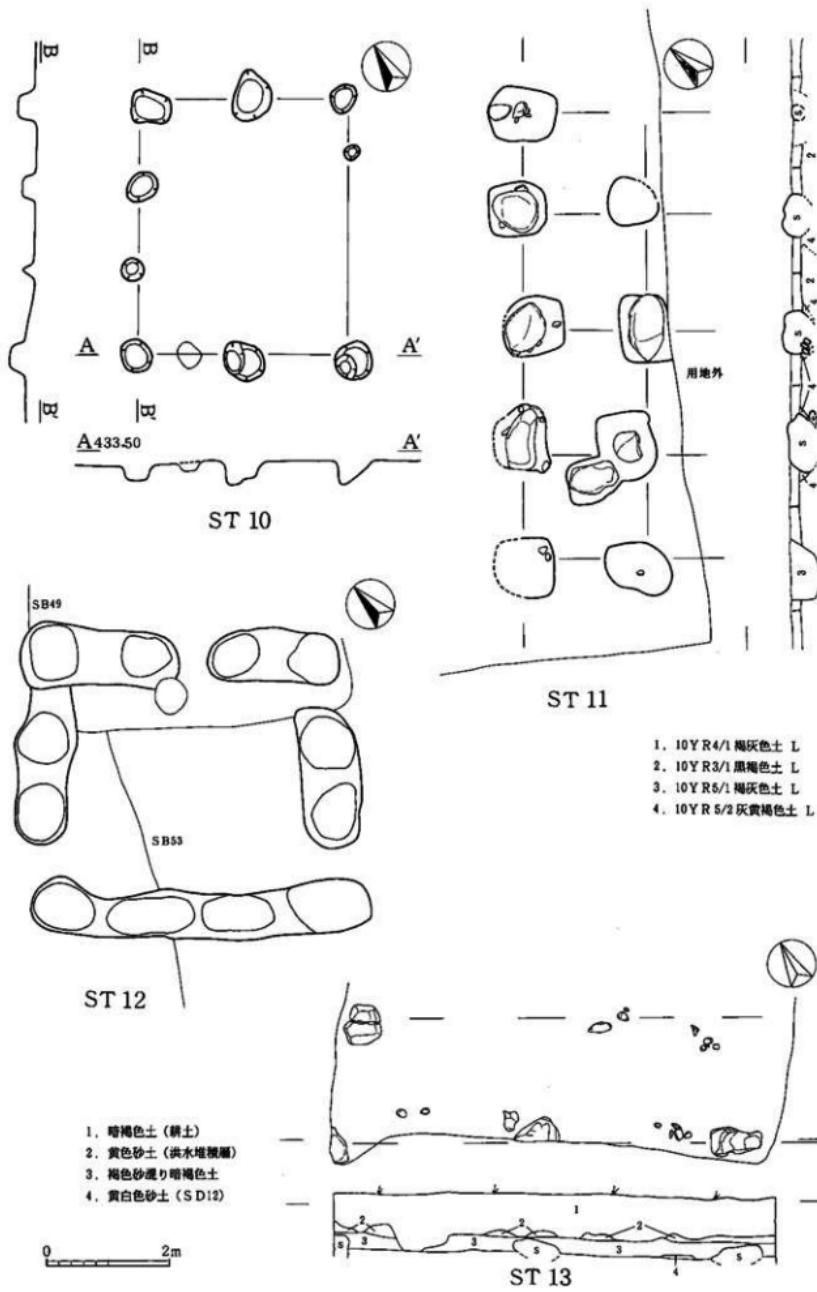
第21図 ST 02, 03



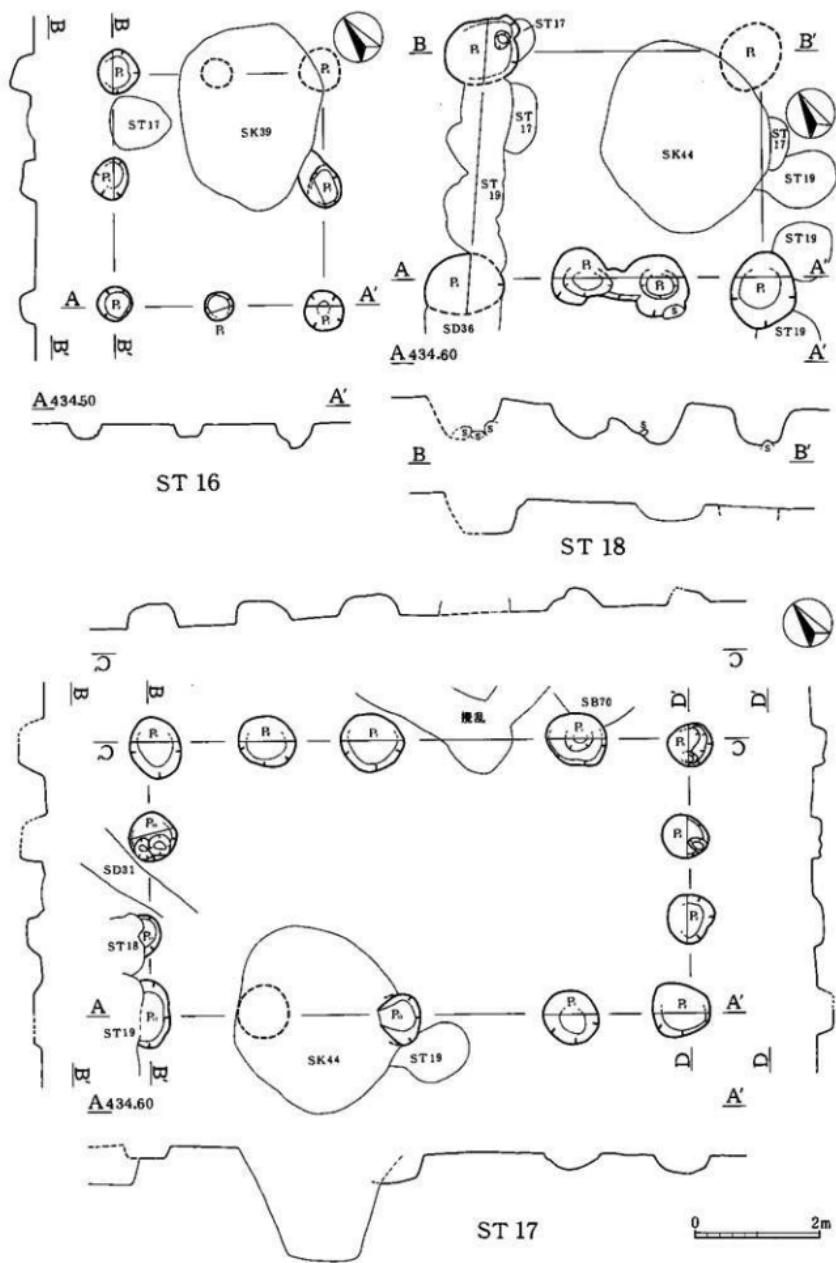
第22図 ST 04, 05, 06



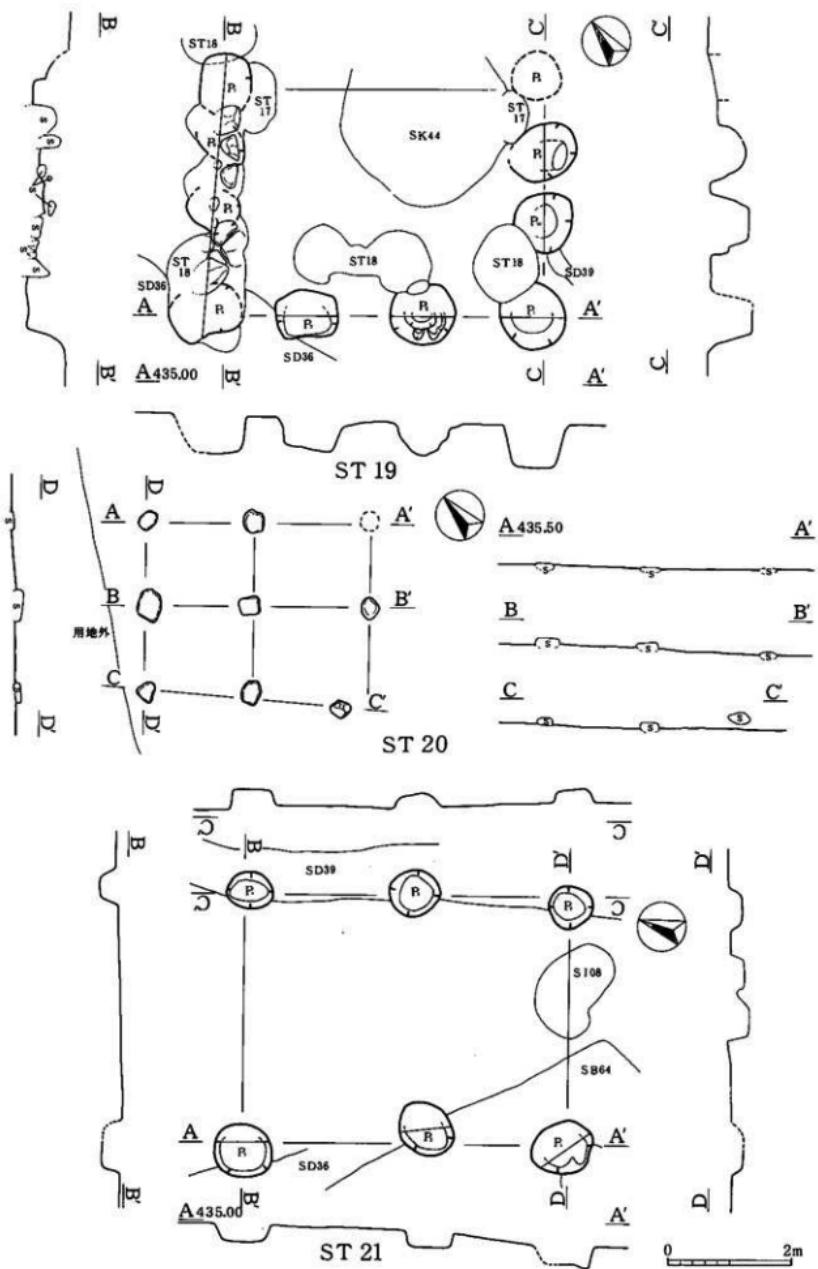
第23図 ST07, 08, 09



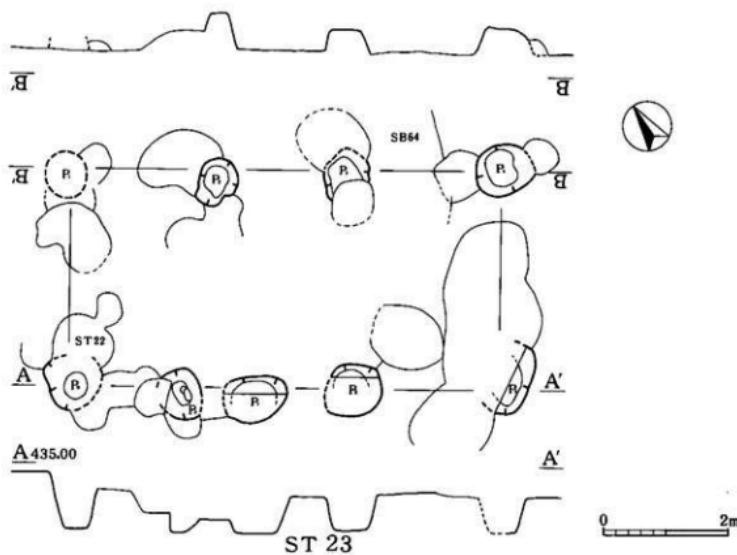
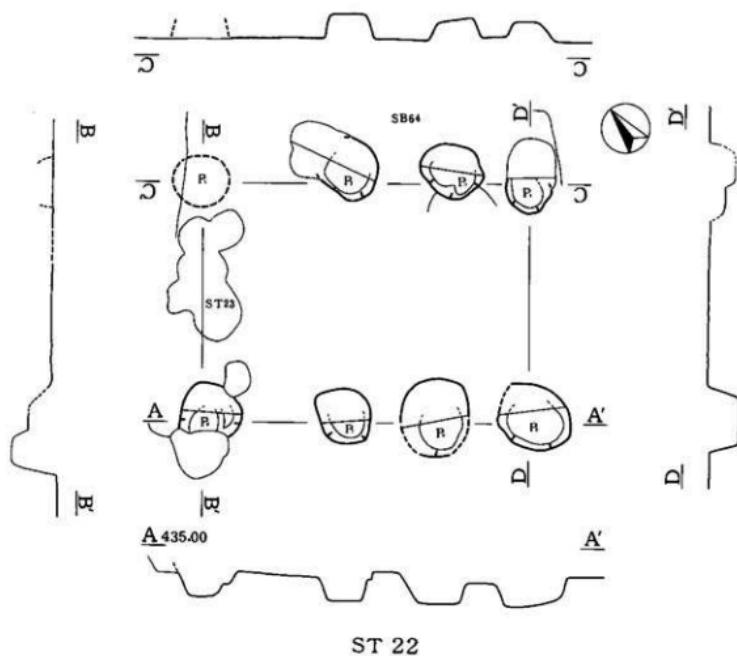
第24図 ST 10, 11, 12, 13



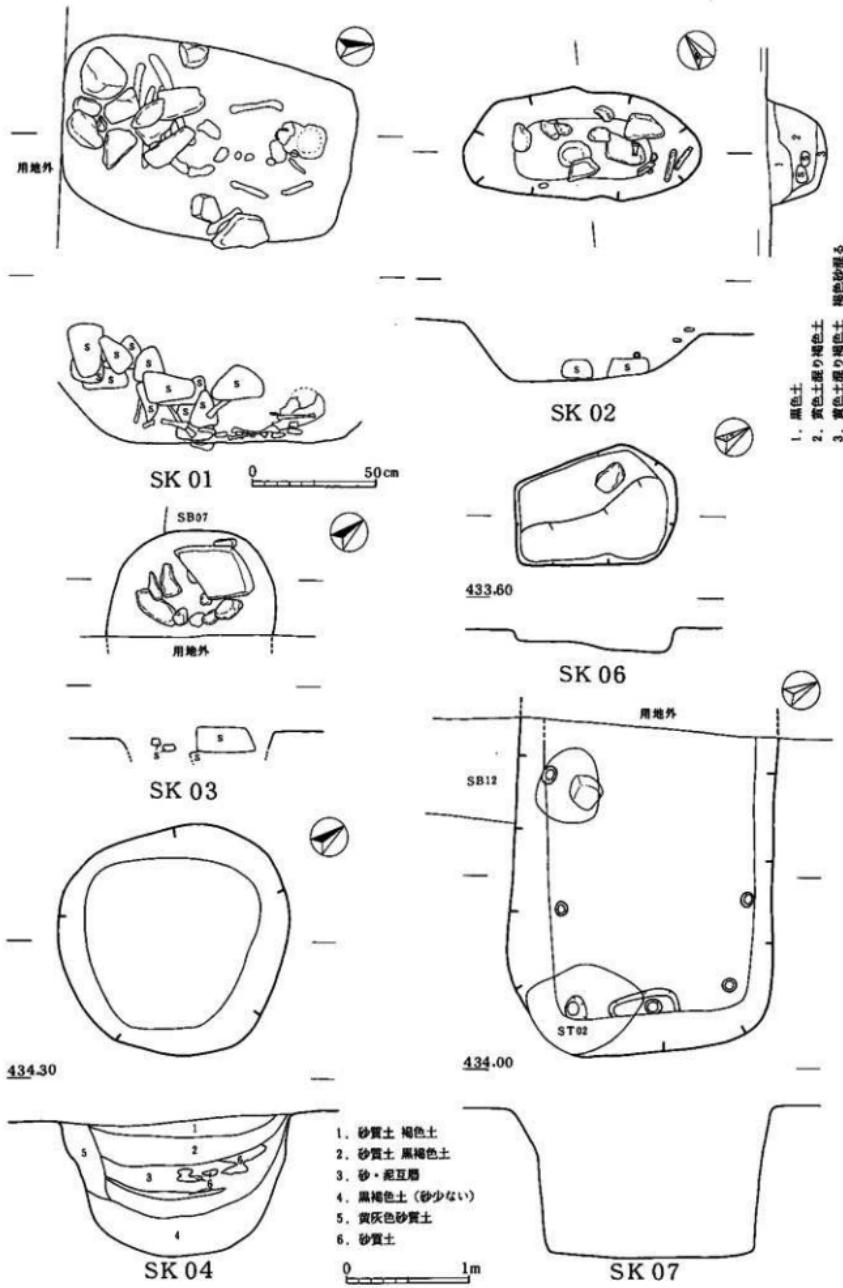
第25図 ST 16, 17, 18



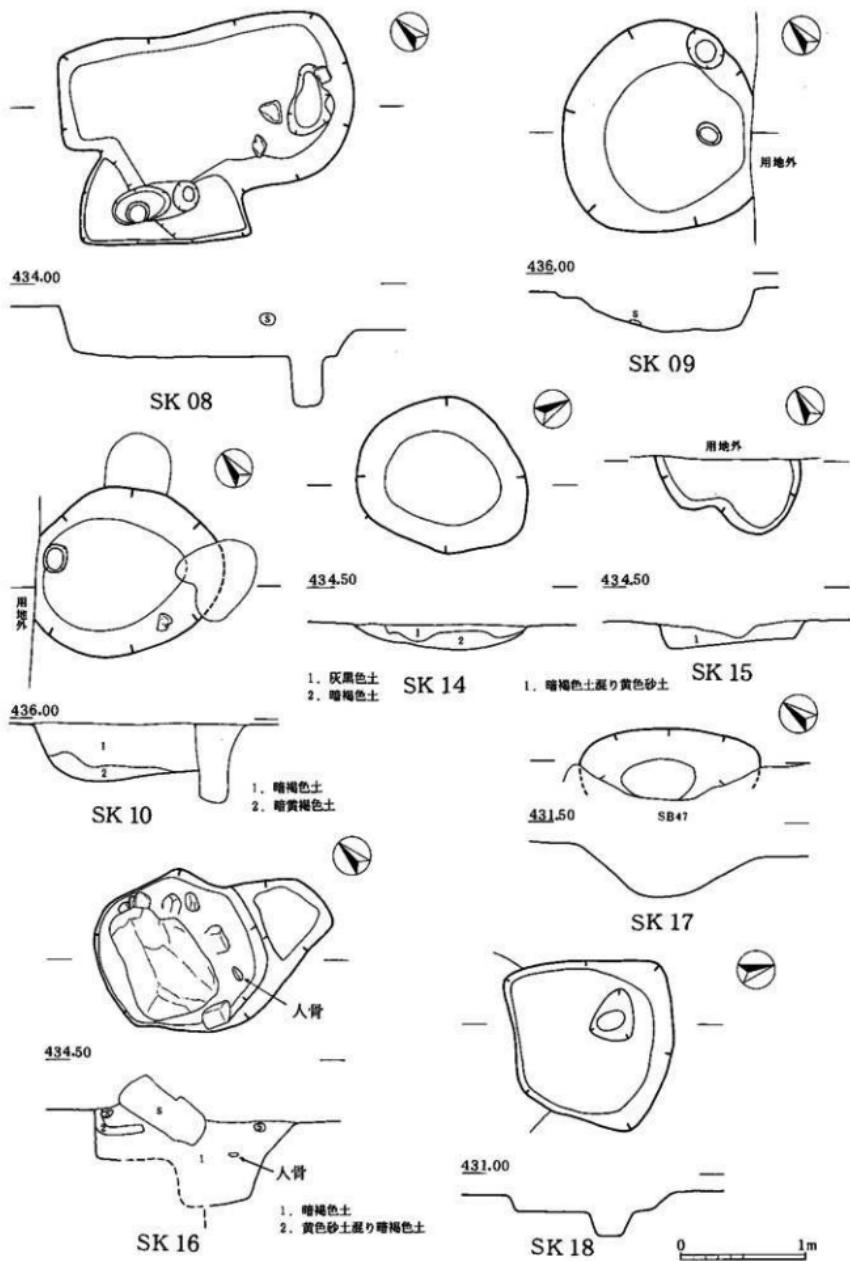
第26図 ST 19, 20, 21



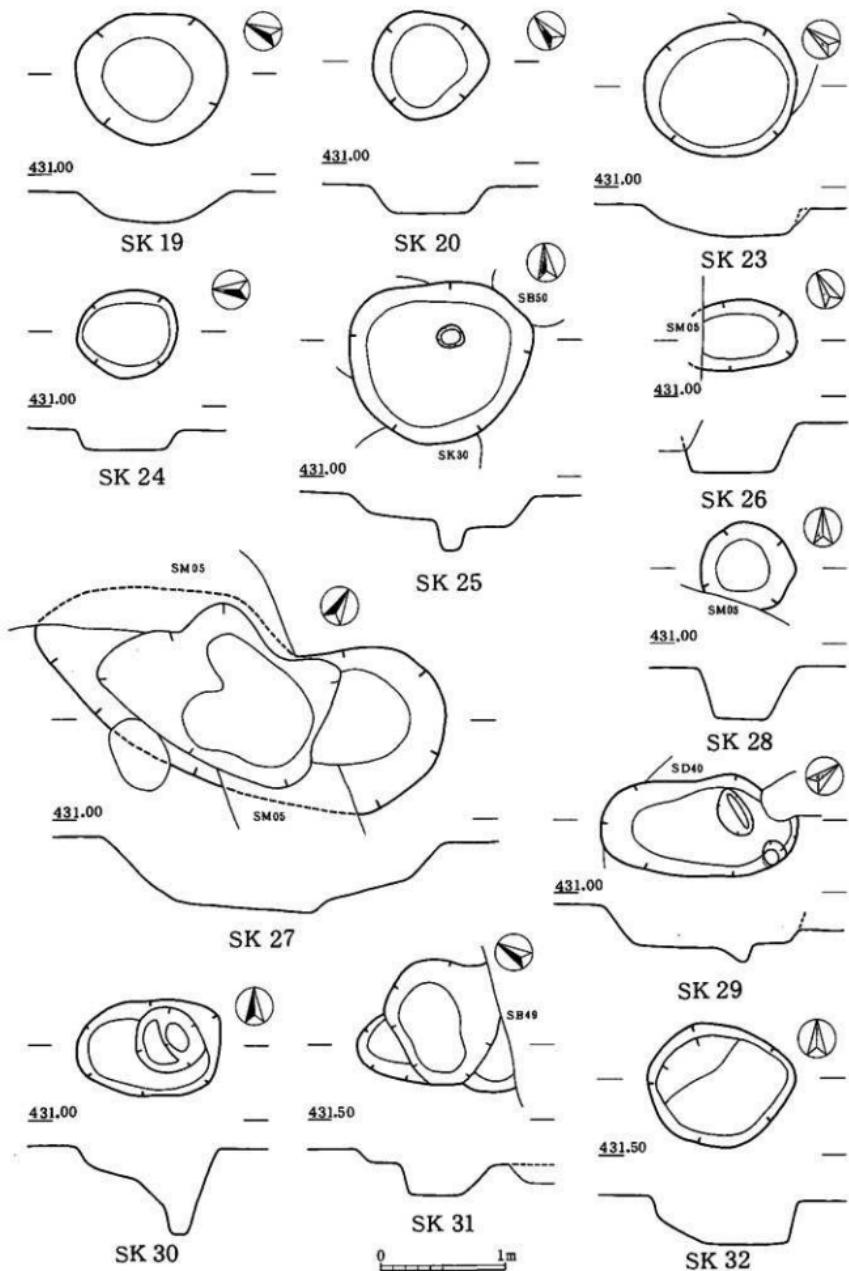
第27図 ST 22, 23



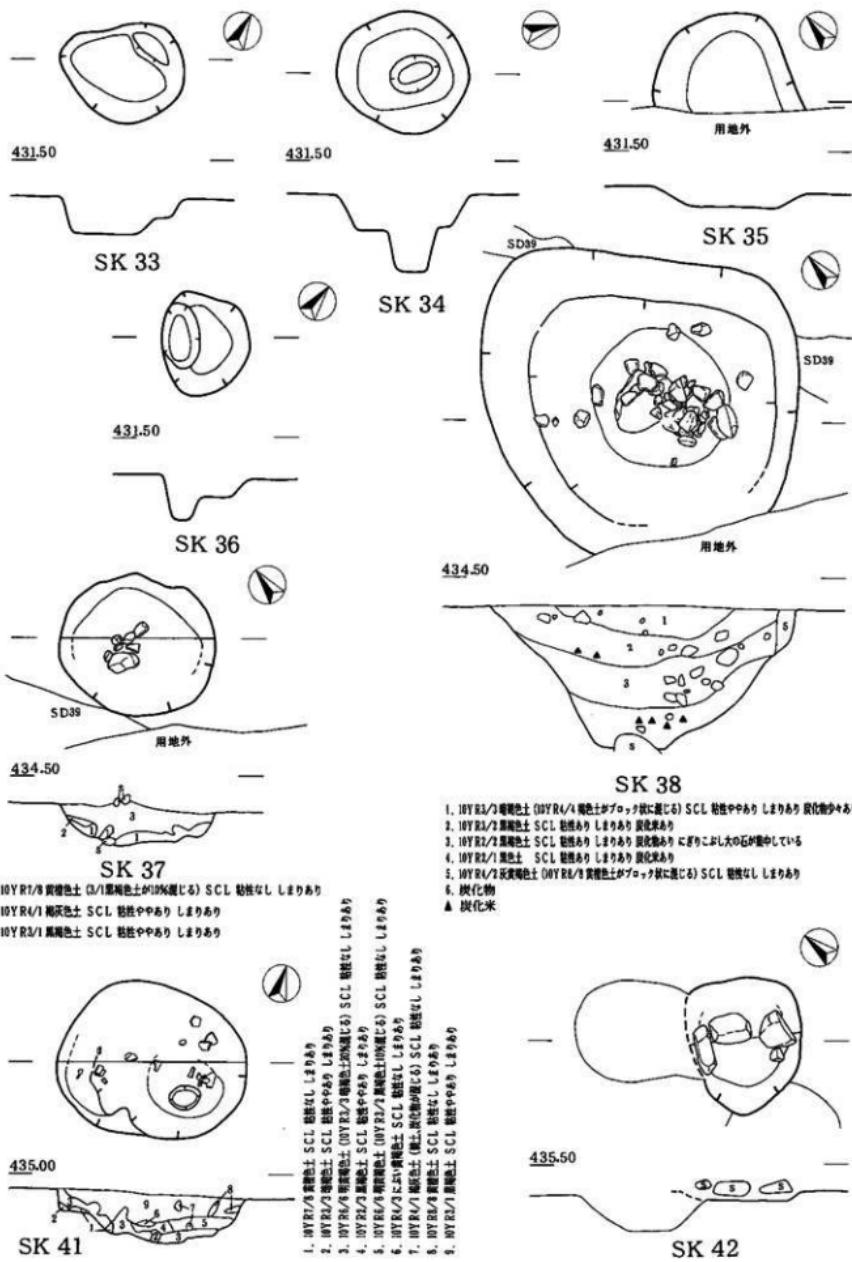
第28図 SK 01~04, 06, 07



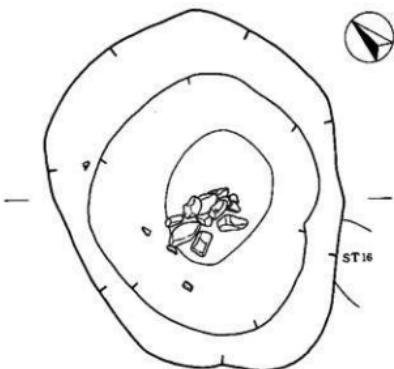
第29図 SK 08~10, 14~18



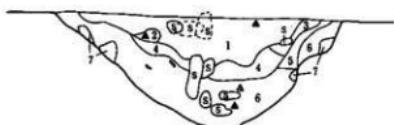
第30図 SK 19, 20, 23~32



第31図 SK33~38, 41, 42

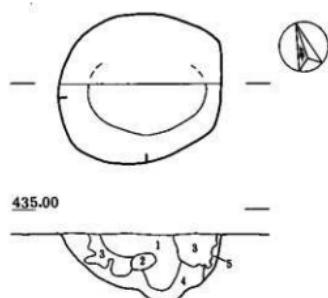


435.00



SK 39

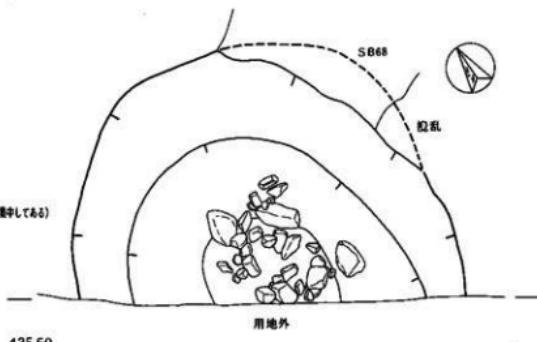
1. 10YR5/6 黒褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 腐化物あり
  2. 10YR4/3 に bei 黒褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 腐化物あり
  3. 10YR4/5 黑褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 腐化物少々あり
  4. 10YR4/4 黑褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり 腐化物少々あり
  5. 10YR1/1 黑褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
  6. 10YR1/2 黑褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり 腐化物全体にあり (変化木,木棗中してある)
  7. 10YR1/3 黑褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
- ▲ 炭化木



435.00

SK 43

1. 10YR3/2 黑褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
2. 10YR3/1 黑褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
3. 10YR3/3 黑褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
4. 10YR4/4 黑褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
5. 10YR5/6 黑褐色土 SCL 粘性なし しまりあり



用地外

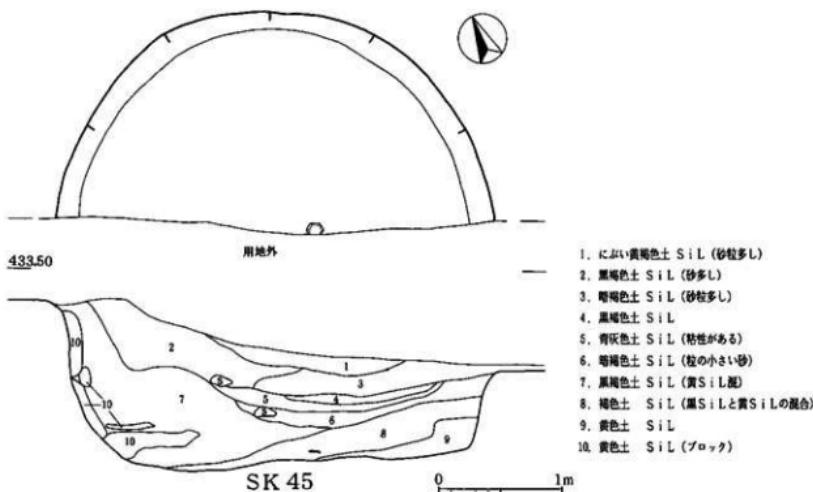
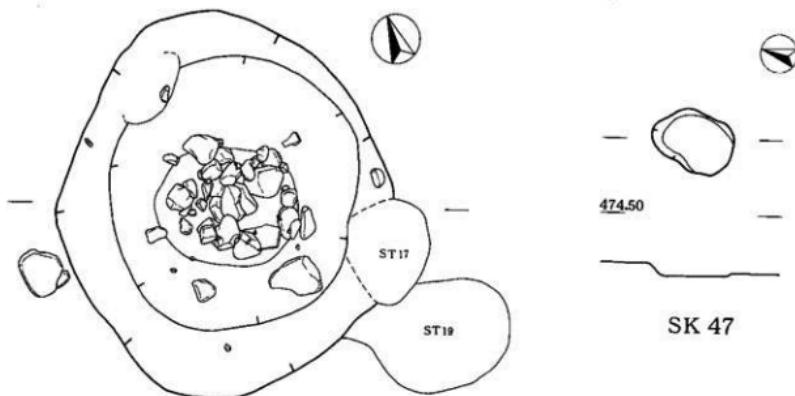
435.50

- I. 10YR4/1 喜灰褐色土(耕土)
  - II. 10YR3/2 黑褐色土
  - III. 10YR4/3 に bei 黄褐色砂質土(未調水)
  1. 10YR4/3 に bei 黄色土
  2. 10YR4/3 に bei 黄色土、黒色(10YR1.7/1)混り
  3. 10YR4/4 暗色砂質土
  4. 10YR3/4 喜灰褐色土
  5. 10YR2/3 黑褐色土
  6. 10YR2/2 黑褐色土
  7. 10YR4/6 暗色土
  8. 10YR3/3 喜灰褐色土 (SB68覆土)
- ▲ 炭化木

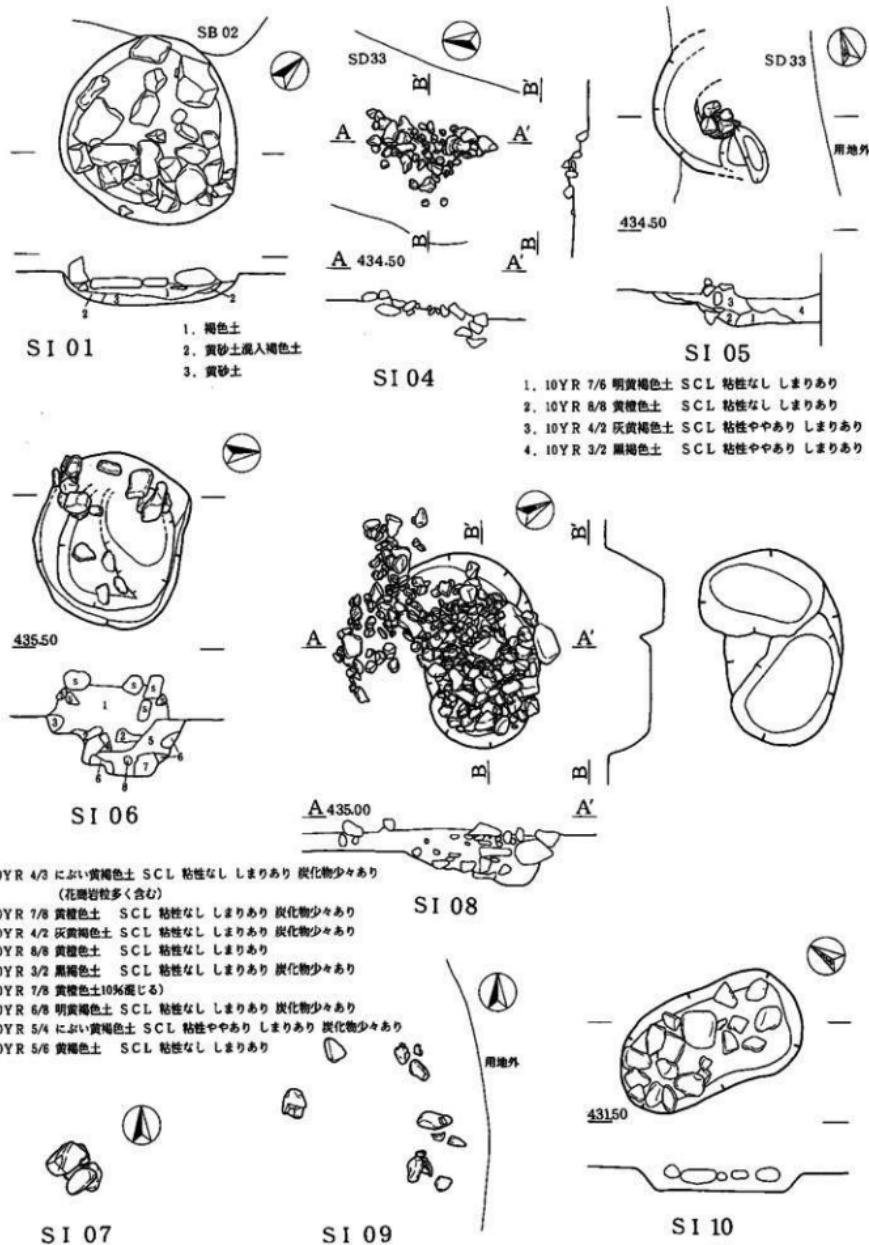
第32図 SK 39, 40, 43

第32図 SK 39, 40, 43

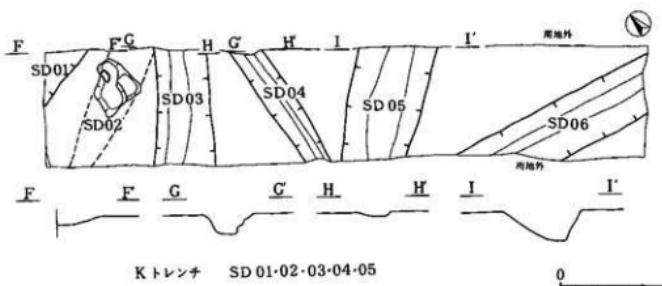
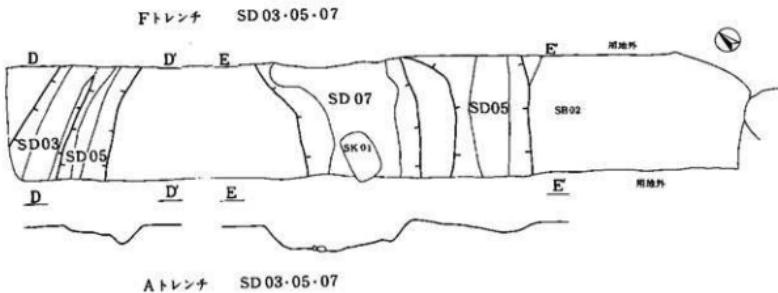
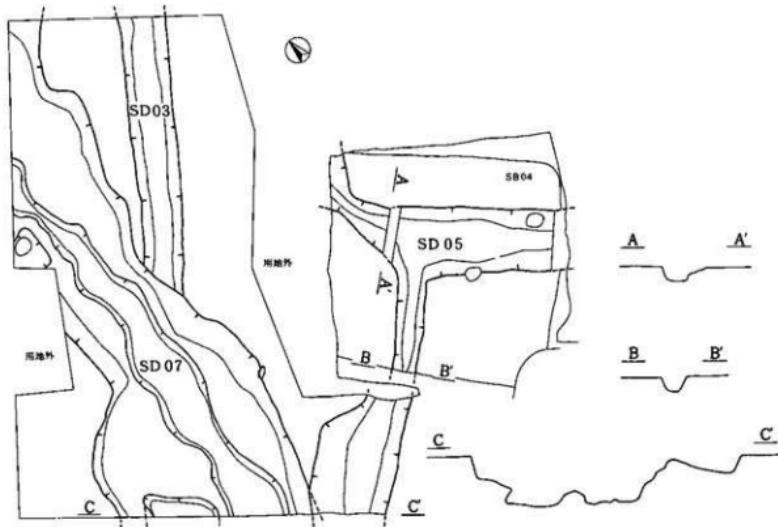
SK 40 0 1m



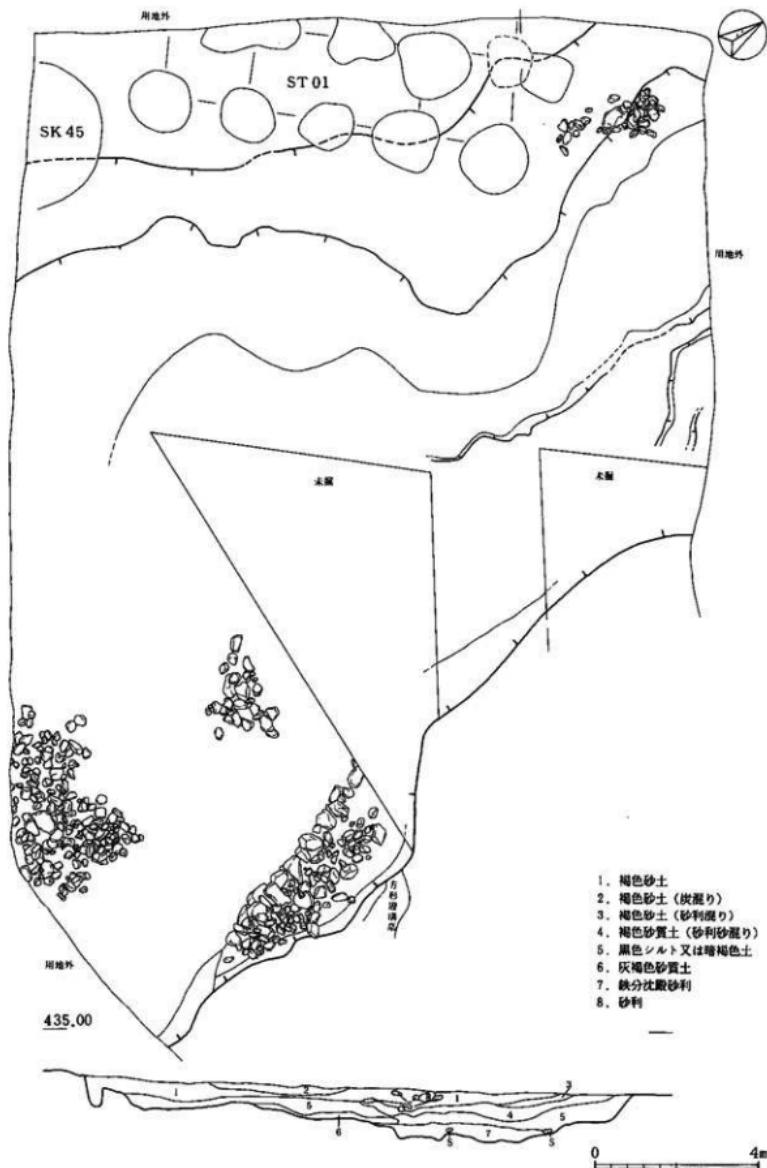
第33図 SK 44, 45, 47



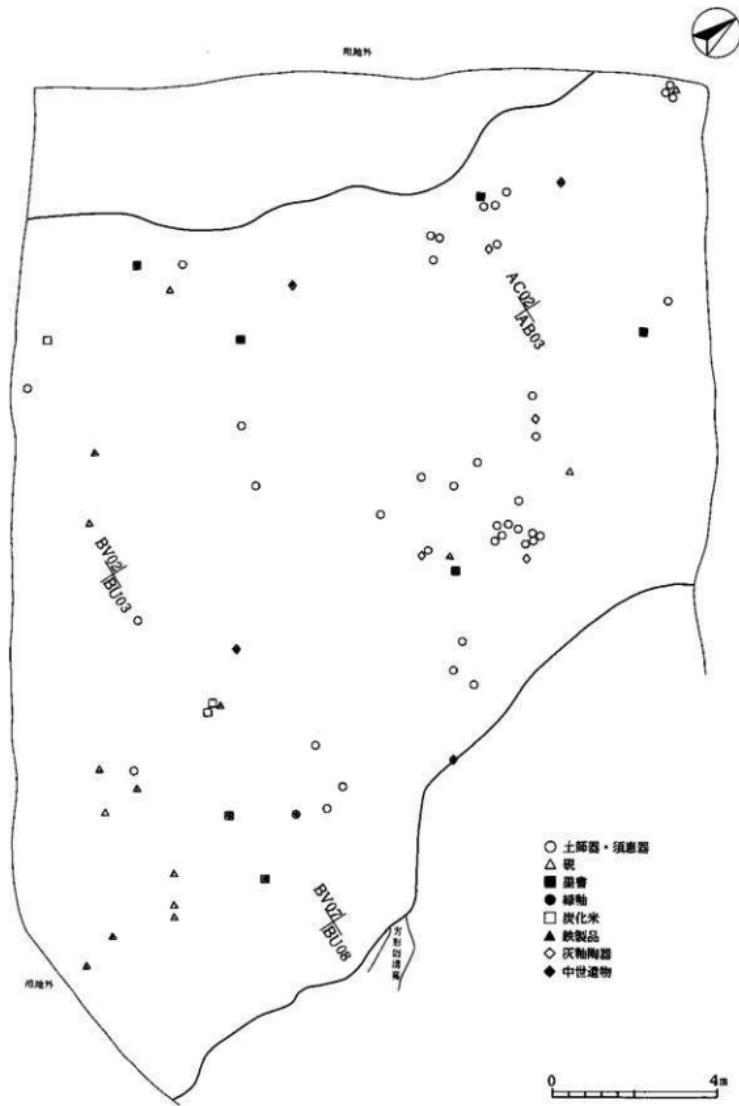
第34図 SI 01, 04~10



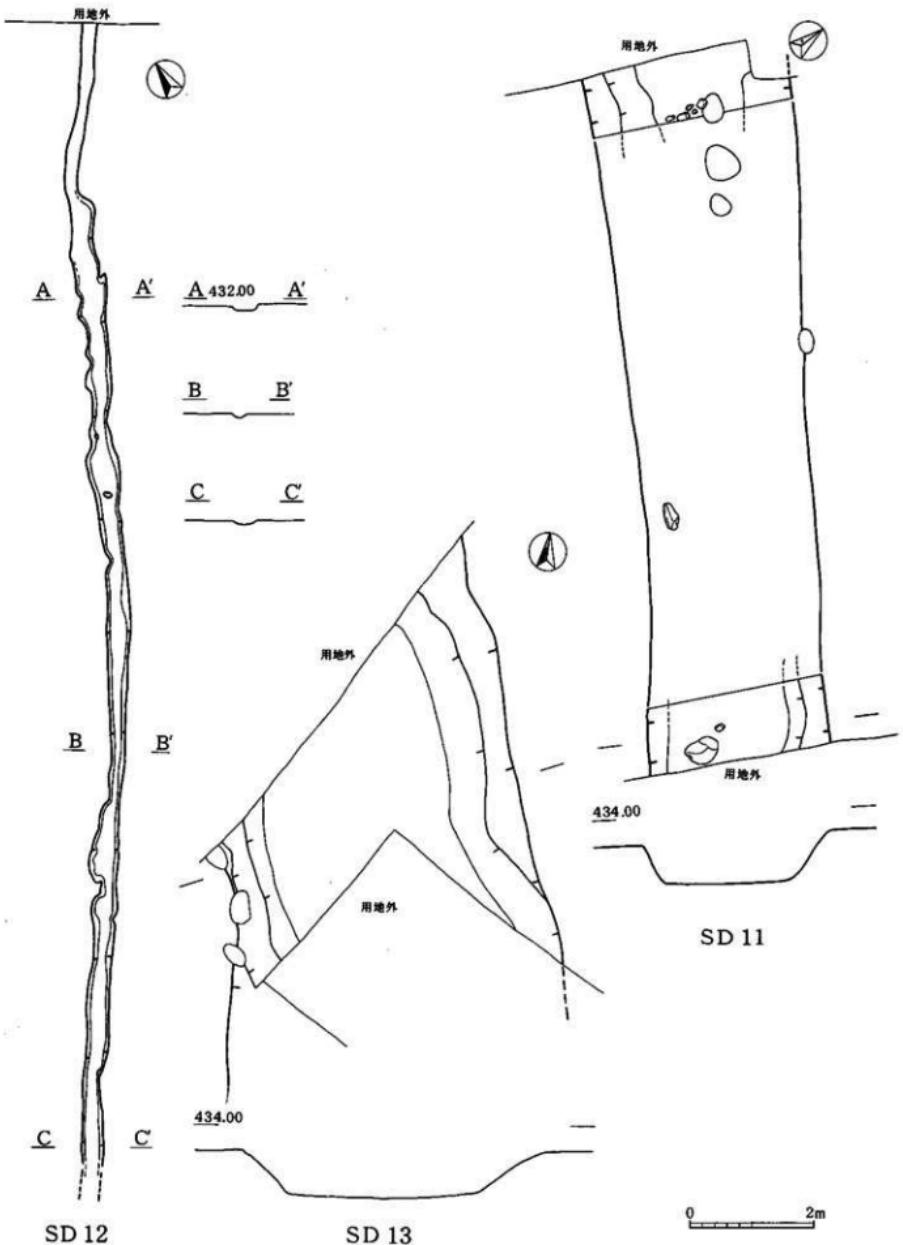
第35図 SD01, 02, 03, 04, 05, 07



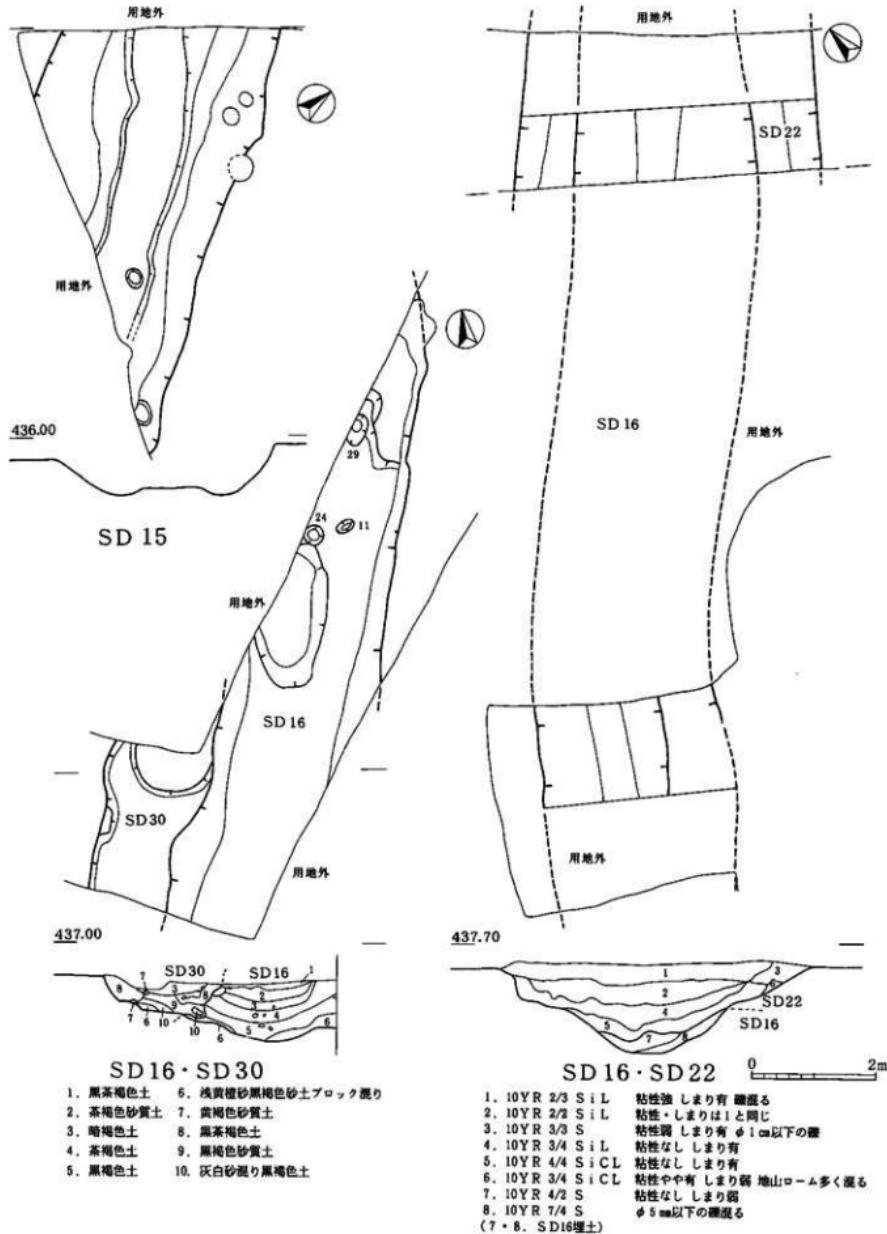
第36図 SD10



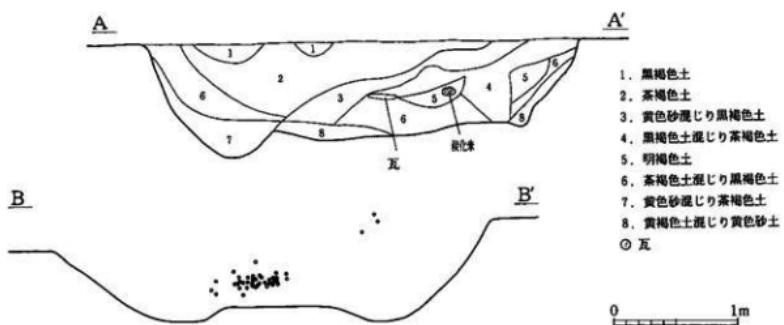
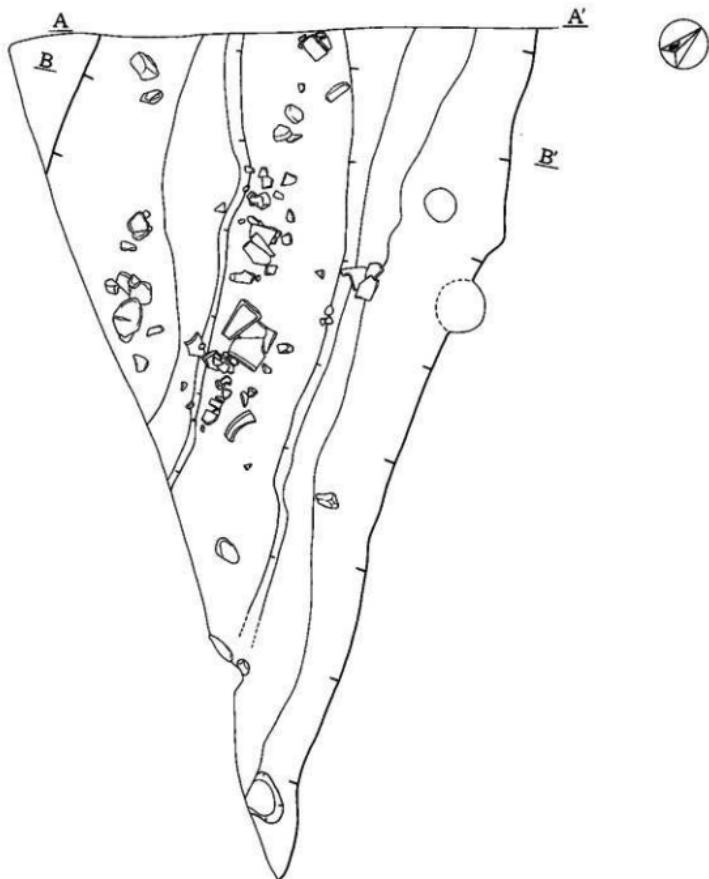
第37図 SD10 遺物分布図



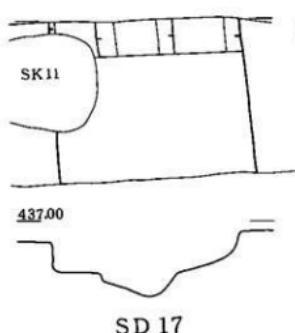
第38図 SD11, 12, 13



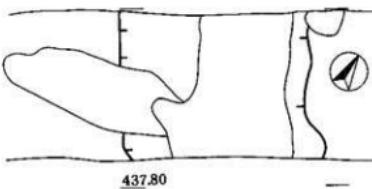
第39図 SD 15, 16, 22, 30



第40図 SD15 遺物（瓦）分布図

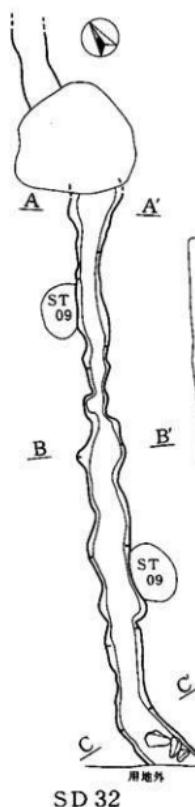


SD 17

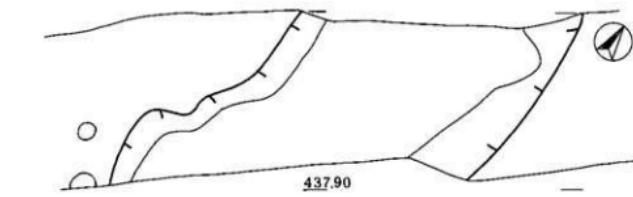


SD 21

1. 10YR 5/6 黄褐色土 S I L
2. 10YR 5/2 灰黄褐色土 S I L  
φ 1cm位の粘土ブロック入る 粘性やや有
3. 10YR 2/1 黑色土 S I L  
少量の炭化物混る 粘性やや有
4. 10YR 6/6 明黄褐色土 S L  
大型の礫混る

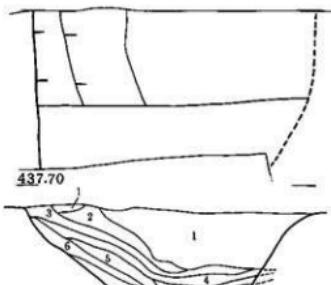


SD 32



SD 20

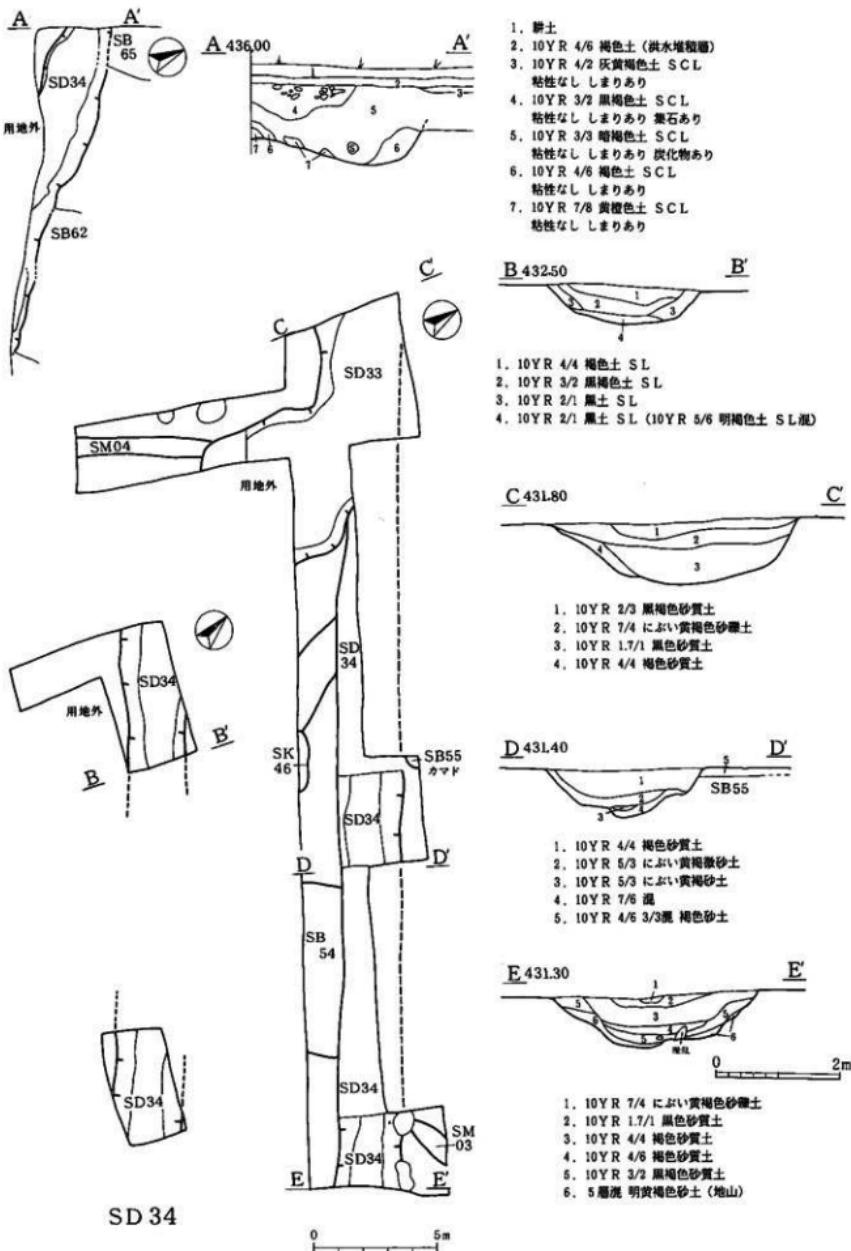
- |                        |                                    |
|------------------------|------------------------------------|
| 1. 10YR 7/4 にぼい黄褐色土 LS | 4. 10YR 6/4 にぼい黄褐色土 LS             |
| 2. 10YR 8/1 灰白色土 S     | 5. 10YR 3/1 黑褐色土 S L<br>φ 5cm位の礫混入 |
| 3. 10YR 7/6 明黄褐色土 S    | 6. 10YR 2/1 黑色土 S L                |



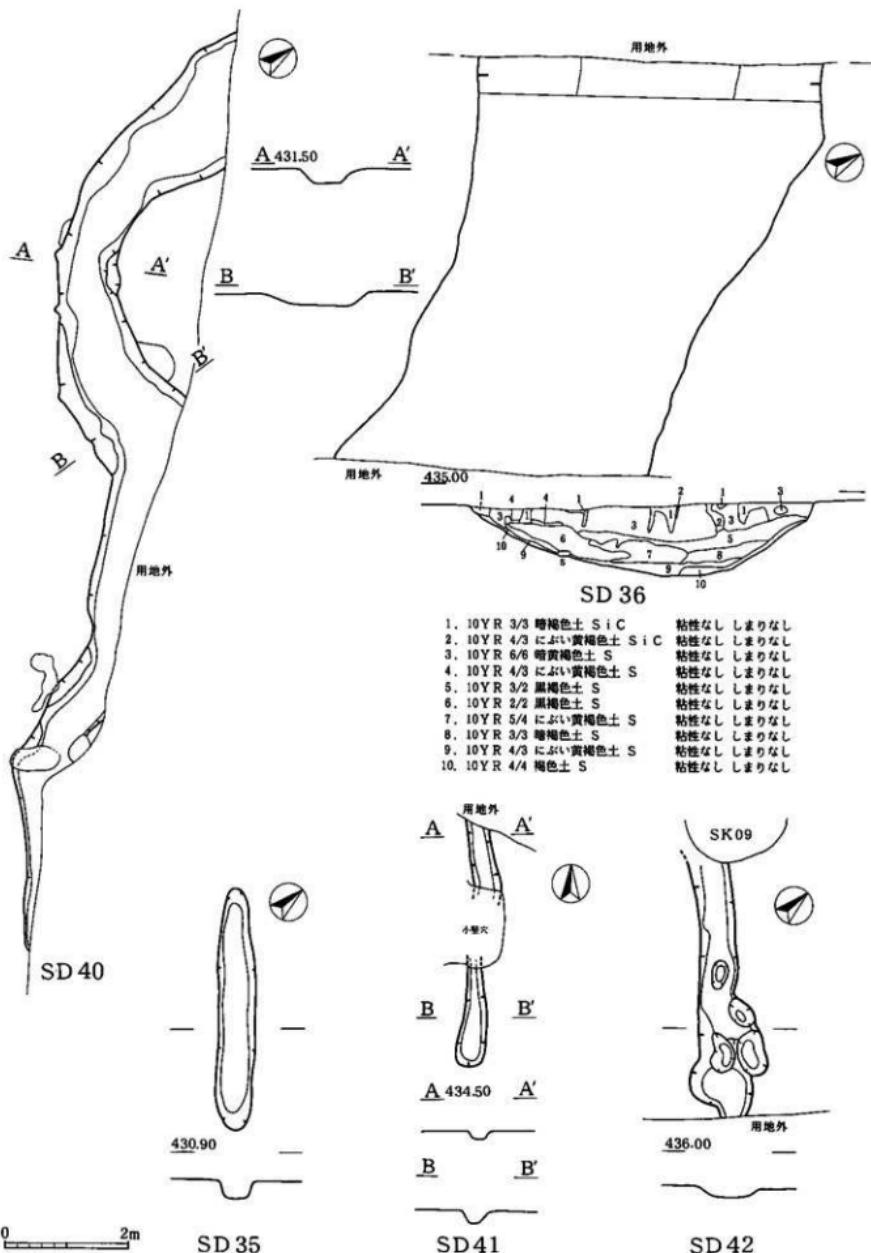
SD 24

- |  |                            |
|--|----------------------------|
| 1. 10YR 4/4 S<br>部分的に<br>(10YR5/2 S<br>(10YR3/3 S<br>混る) | 4. 10YR 3/1 S I L          |
| 2. 10YR 4/4 S I L<br>φ 5cmほどの礫多く含む                       | 5. 10YR 2/1 S I L<br>炭化物混入 |
| 3. 10YR 1.7/1 S I L                                      | 6. 10YR 3/1 S I C          |
|  | 7. 10YR 3/4 S I CL         |
|  | 8. 10YR 4/4 S              |

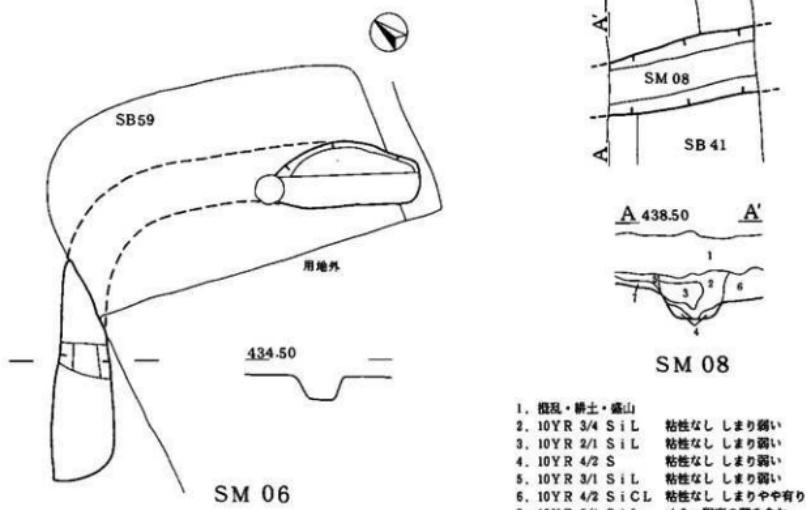
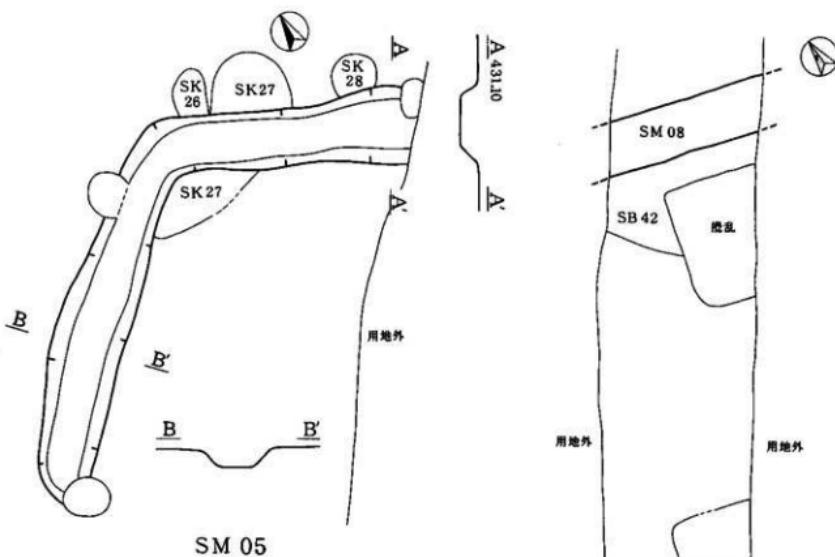
第41図 SD 17, 20, 21, 24, 32



第42図 SD 34



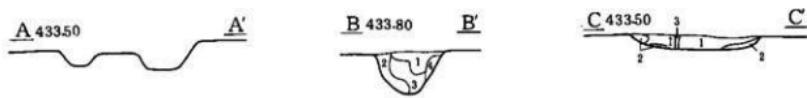
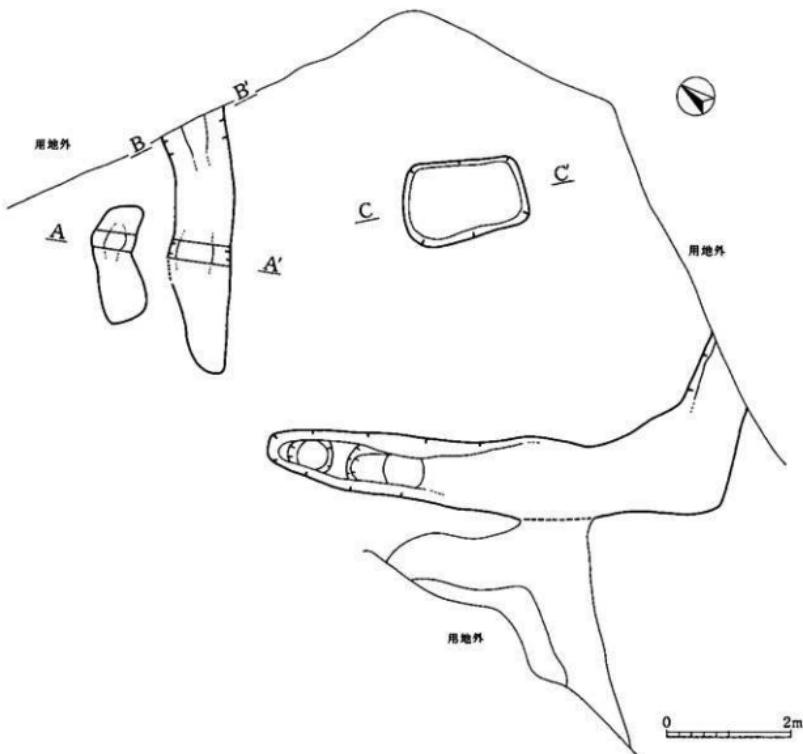
第43図 SD 35, 36, 40, 41, 42



- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 混乱・耕土・盛山         | 粘性なし しまり弱い                |
| 2. 10YR 3/4 S I L   | 粘性なし しまり弱い                |
| 3. 10YR 2/1 S I L   | 粘性なし しまり弱い                |
| 4. 10YR 4/2 S       | 粘性なし しまり弱い                |
| 5. 10YR 3/1 S I L   | 粘性なし しまり弱い                |
| 6. 10YR 4/2 S I C L | 粘性なし しまりやや有り              |
| 7. 10YR 5/4 S I L   | $\phi 3\text{mm}$ 程度の礫を含む |

0 2m

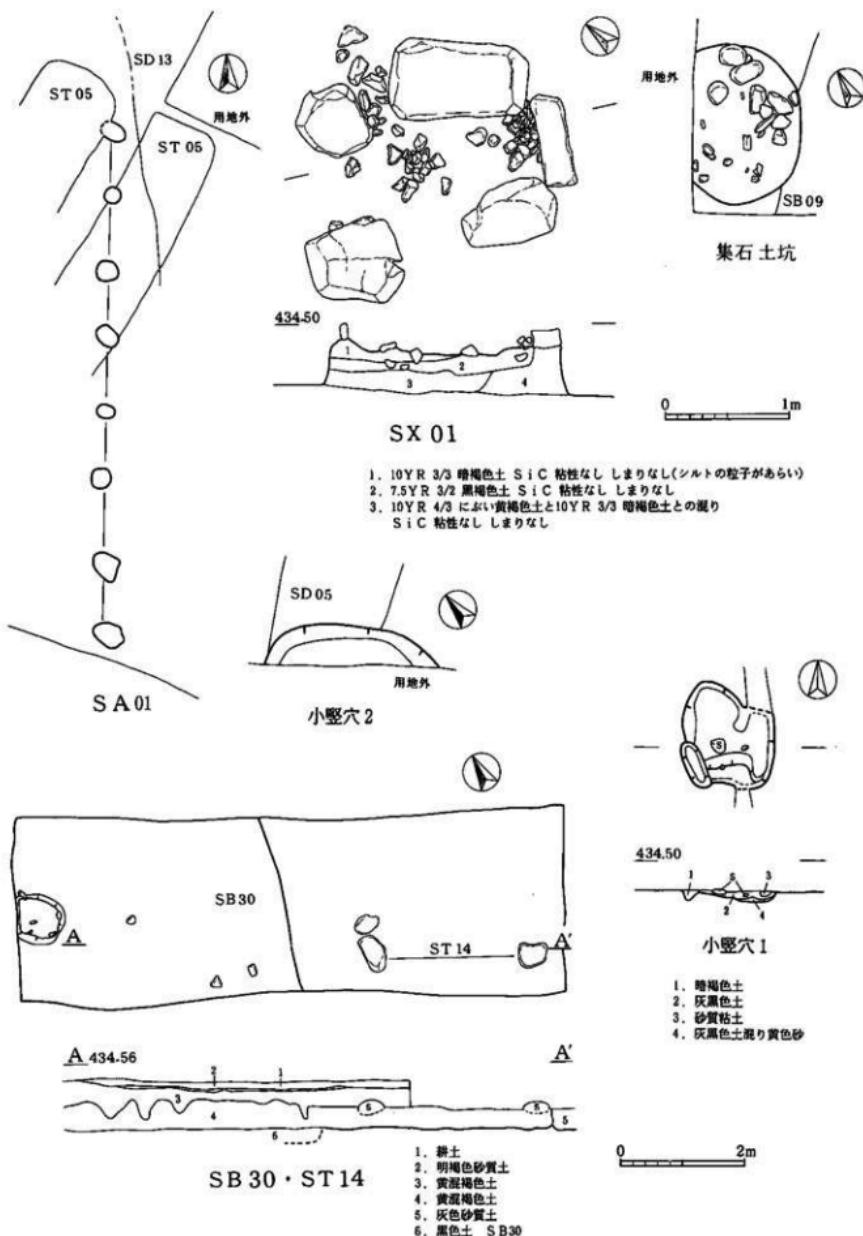
第44図 SM 05, 06, 08



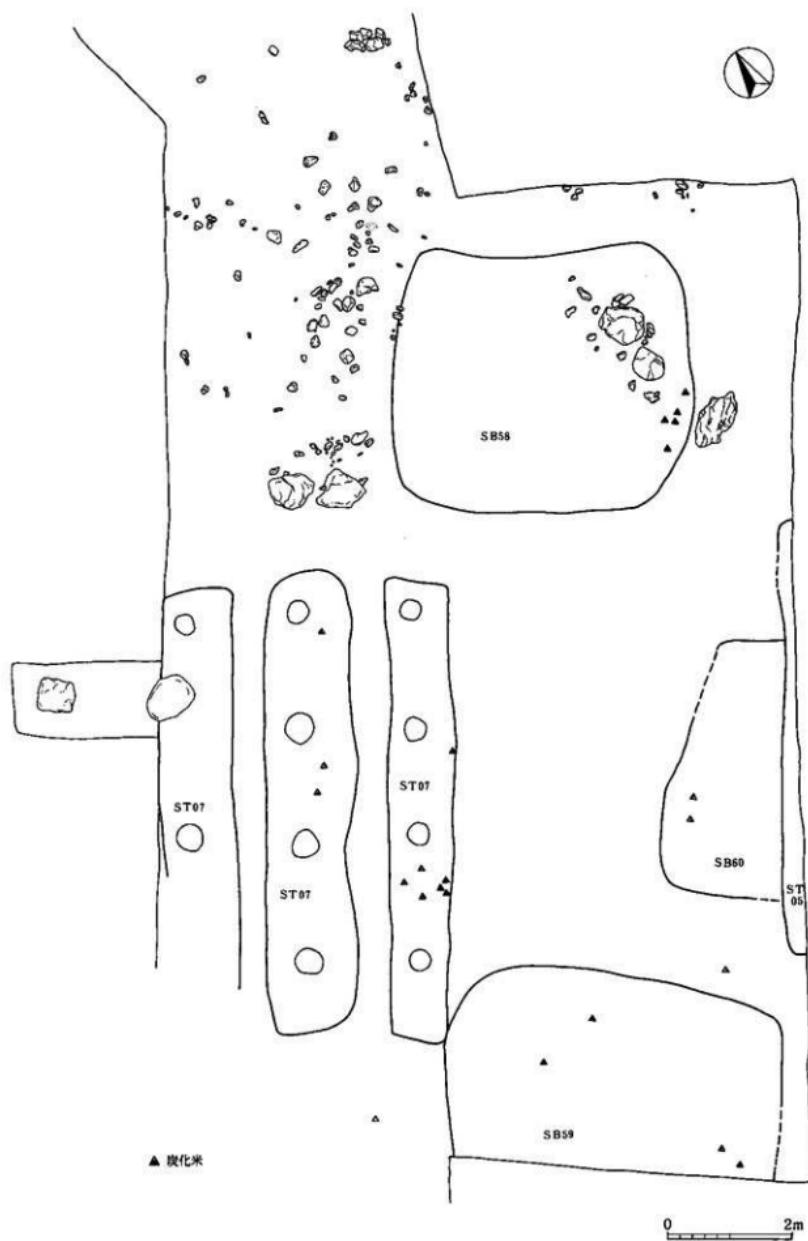
- A 433.50                    A'                    B 433.80                    B'
1. 深黑色土  
2. 褐色土  
(深黑色土、ブロック混り)  
3. 黄褐色土  
(深黑色土、黄色土ブロック混り)  
4. 灰褐色土

- C 433.50                    3                    C  
1. 茶褐色土  
2. 黄色土混り茶褐色土  
3. 黄色土

第45図 SM07



第46図 SA01, SX01 集石土坑, 小窓穴 1, 2, SB30, ST14



第47図 炭化米分布、石配置図



# 写 真 図 版

新屋敷地籍 (ARY)

薬師垣外地籍 (YKS)





恒川遺跡群



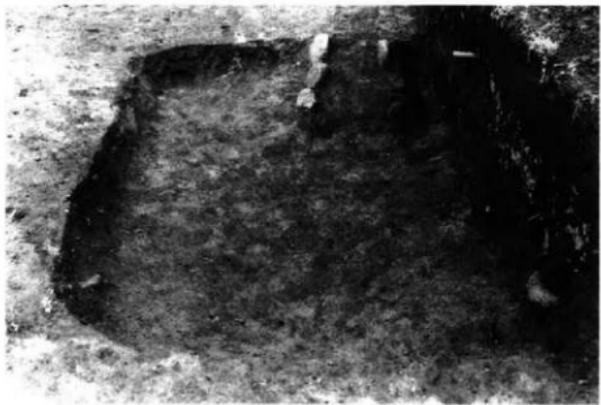
ARY 4762



ARY 4946



S B 61・64



S B 62



S B 168



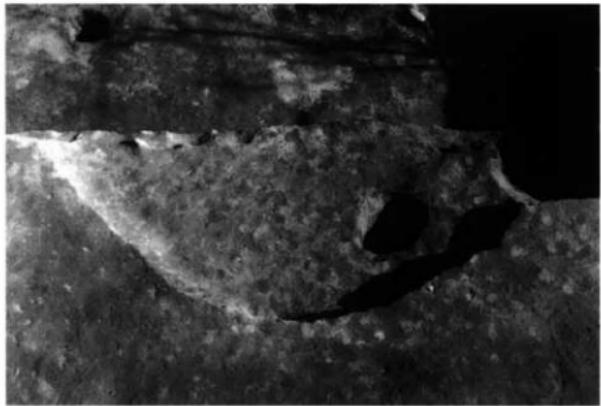
S B 169



S B 169 カマド



S B 170



S B171



S B172



S B180



S T 23



S T 65



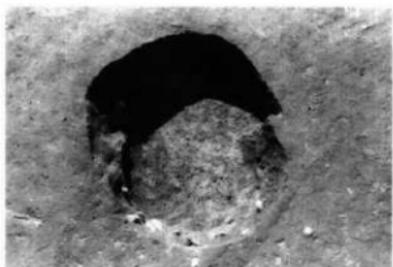
S T 62



S K 28 + 29



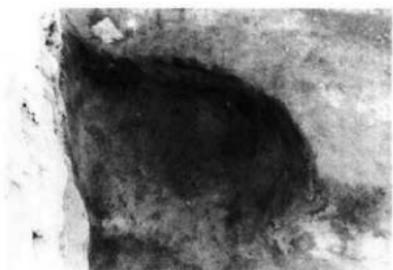
S I 11



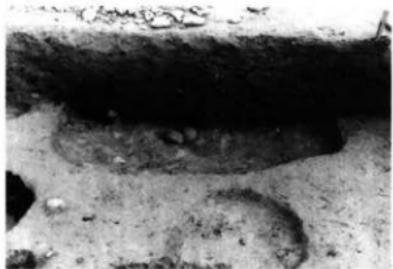
S I 11



小竪穴14



S I 13



小竪穴16



SD 09 (4767-8)



SD 09 (4824-2)



SD 09 (4824-2)



Y K S 4687



Y K S 4733



YKS 4746-1



YKS 4745-4



YKS 4693-1



YKS 4755



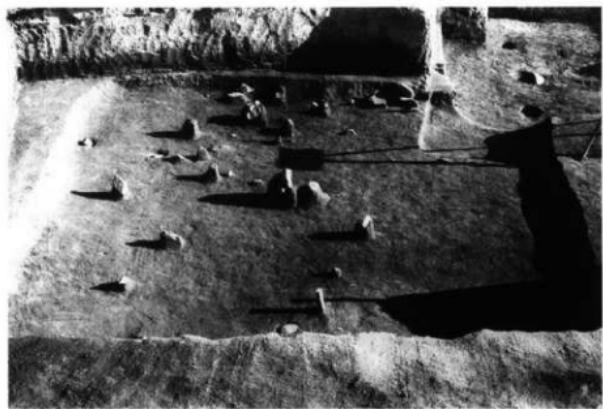
S B01



S B02



S B02 炉





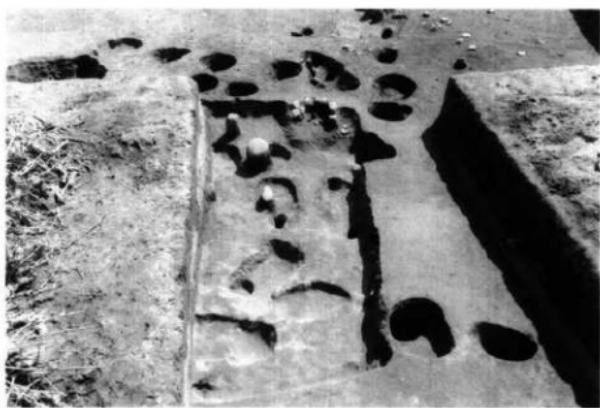
S B08



S B08 カマド



S B09

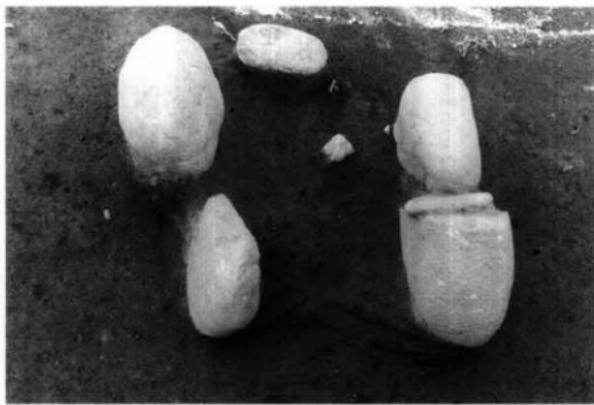




S B15



S B15 カマド



S B16



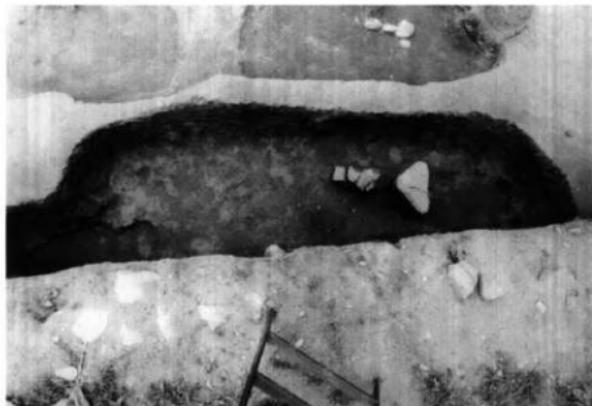
S B17 カマド



S B21



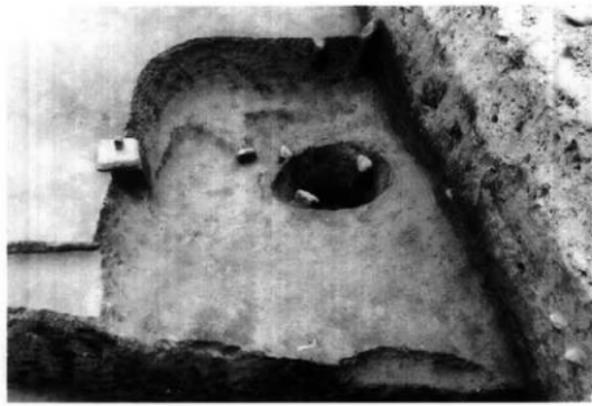
S B22



S B23



S B24



S B25



S B33



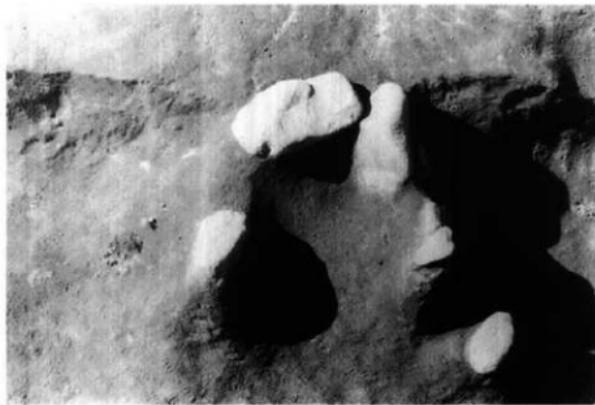
S B35



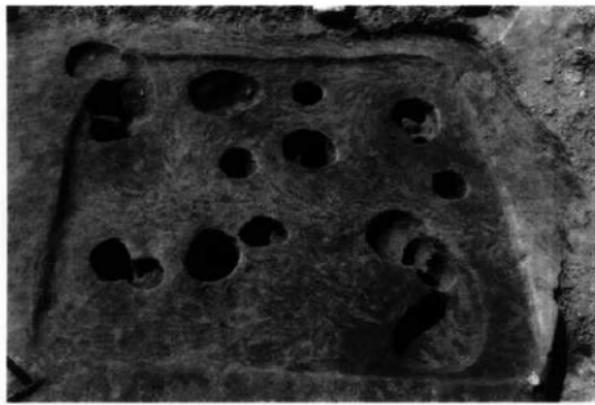
S B36



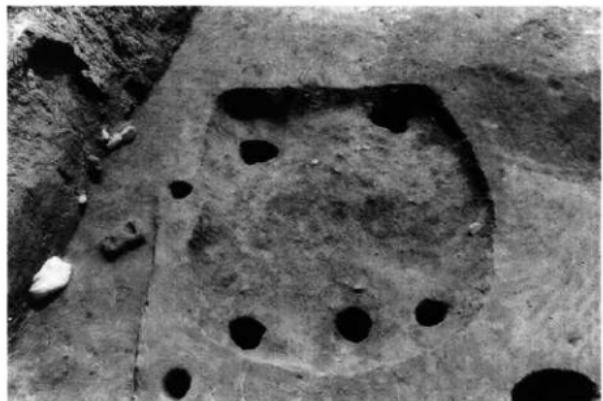
S B37



S B37 カマド



S B45

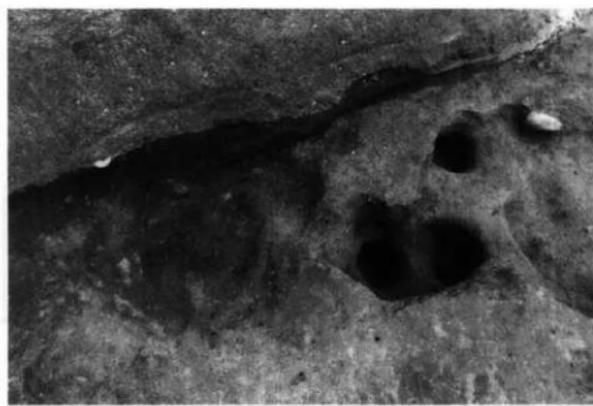




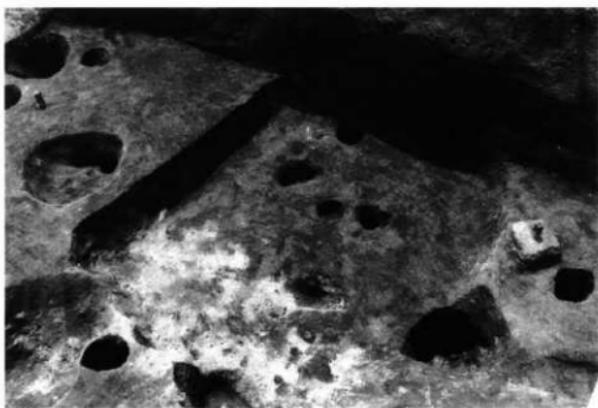
S B49



S B49 カマド



S B51



S B52



S B53



S B56



S B57



S B62



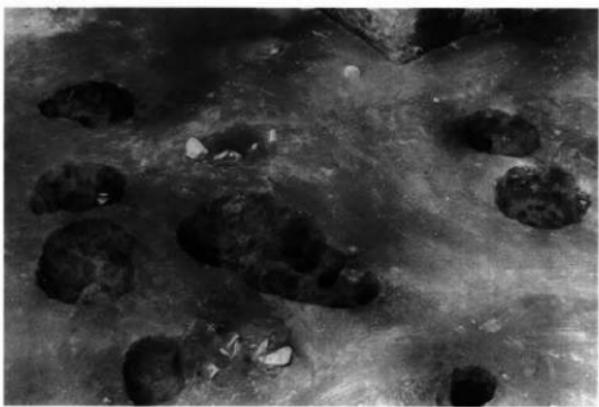
S B68



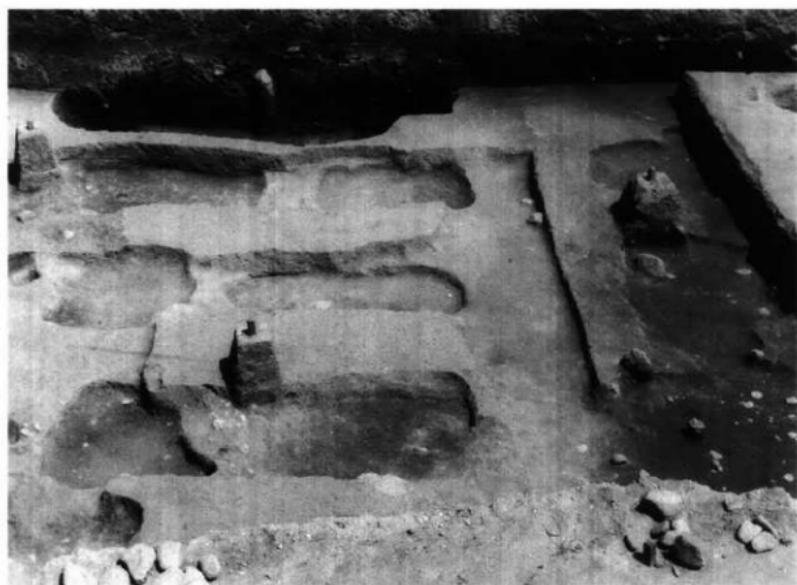
S T 01 • 24 (4753)



S T 01 (4758)



S T 02



S T 03



S T 03



S T 05



S T 05



S T 06



S T 05 (奥) · S T 06 (手前)



S T 07



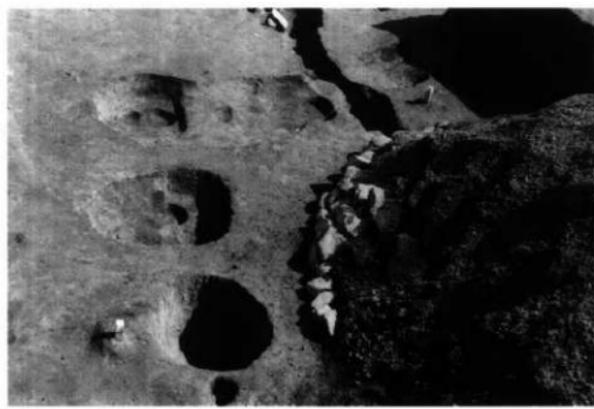
S T 07



S T 07



S T 08



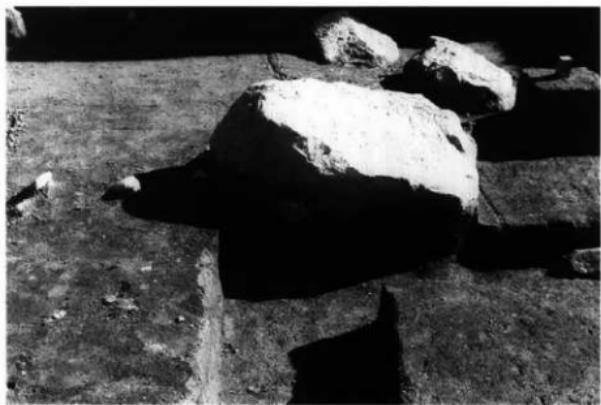
S T 09



S T 10



S T 11 磐石



S T 11 磐石



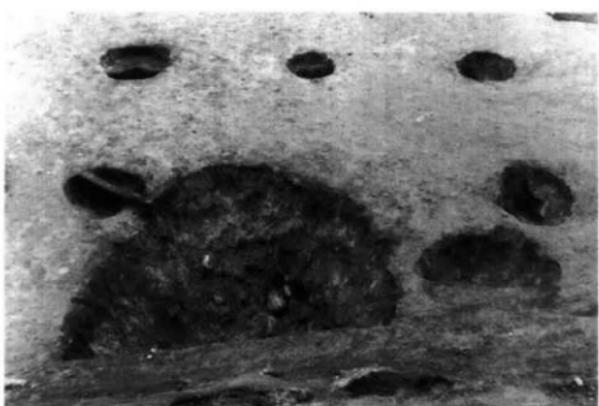
S T 11



S T 12



S T 13



S T 16



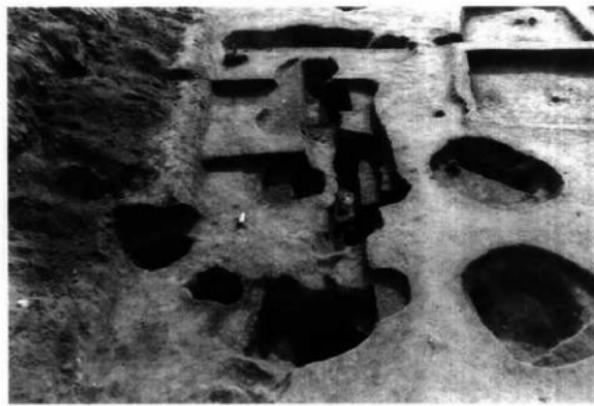
S T 17



S T 18 · 19 · S K 44



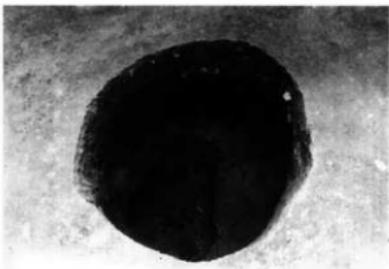
S T 20



S T 22 · 23 · S B 64



SK01



SK04



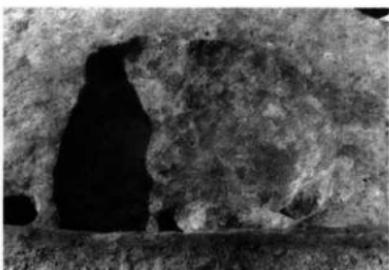
SK02



SK07



SK02



SK09



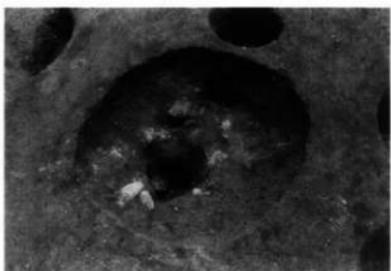
SK03



SK14



S K 15



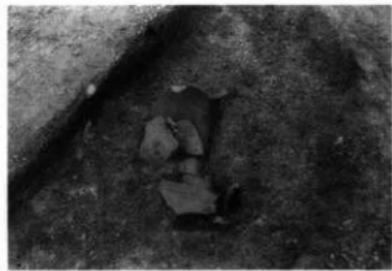
S K 34



S K 16



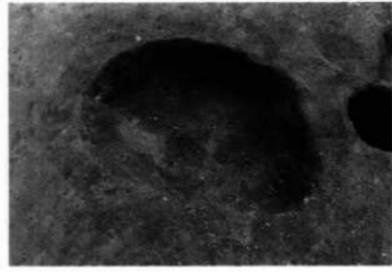
S K 35



S K 23



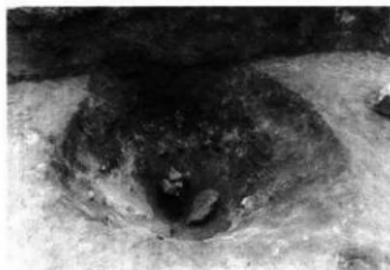
S K 36



S K 33



S K 37



S K 38



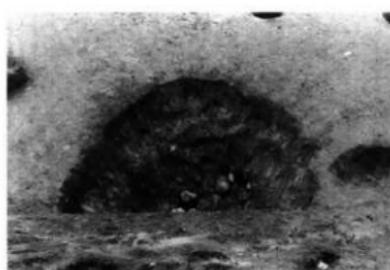
S K 41



S K 38



S K 42



S K 39



S K 44



S K 40



S K 45



S I 01



S I 07



S I 04



S I 08



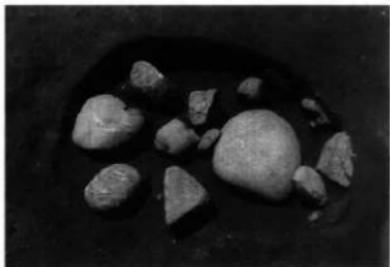
S I 05



S I 09



S I 06



S I 10





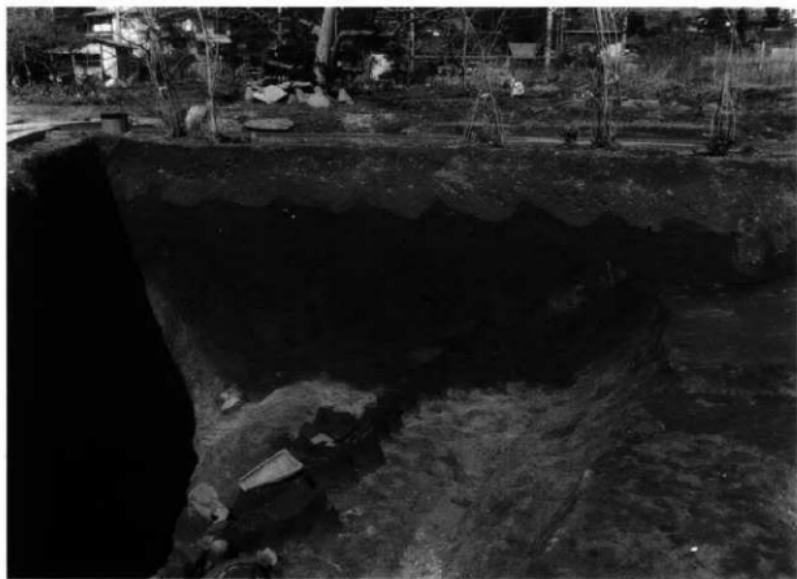
S D 10



S D 15



S D 15 瓦出土狀況



S D 15



S D 16



S D 17



S D 20



S D21



S D24



S D32



SD 33



SD 40



SD 34